

官報

號外 昭和十二年三月三十日

第七十四回貴族院議事速記錄第二十七號

昭和十二年三月二十九日(月曜日)午前十時
二十一分開議

議事日程 第二十八號

昭和十二年三月二十九日

午前十時開議

第一 昭和十二年度歳入歳出總豫算案

並昭和十二年度各特別會計歳入歳出

豫算案 會議(委員長報告)

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契

約ヲ爲スヲ要スル件 會議(委員長報告)

第三 昭和十二年度歳入歳出總豫算追

加案(第一號) 會議(委員長報告)

第四 昭和十二年度各特別會計歳入歳

出豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)

第五 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契

約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會議(委員長報告)

第六 昭和十二年度一般會計歳入ノ財

源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案(政府提出、衆議院送付)

第七 昭和七年法律第一號中改正法律

案(政府提出、衆議院送付)

第八 昭和七年法律第十二號中改正法

律案(政府提出、衆議院送付)

第九 日本銀行條例中改正法律案(政

府提出、衆議院送付)

第十 日本銀行參與會法廢止法律案

(政府提出、衆議院送付)

第十一 東京農業教育專門學校創設ニ

伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書

館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

(政府提出、衆議院送付)

第十二 帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法

權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權

ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタ

ル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル

法律案(政府提出、衆議院送付)

第十三 議院法中改正法律案(政府提

出、衆議院送付)

第十四 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第十五 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第十六 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第十七 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第十八 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第十九 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第二十 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第二十一 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第二十二 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第二十三 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第二十四 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第二十五 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第二十六 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第二十七 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第二十八 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第二十九 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第三十 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第三十一 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第三十二 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第三十三 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第三十四 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

第三十五 日本通運株式會社法案(政府

提出、衆議院送付)

第三十六 小運送業法案(政府提出、衆議

院送付)

アルコール專賣法案

揮發油及アルコール混用法案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第

一號)昭和十二年度各特別會計歳入歳出

豫算追加案(特第一號)豫算外國庫ノ負

擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追

第一號)可決報告書

議院法中改正法律案修正報告書

小運送業法案可決報告書

日本通運株式會社法案可決報告書

○議長(公野近衛文麿君) 是ヨリ本日ノ會

議ヲ開キマス、日程第一、昭和十二年度歳入

歳出總豫算案並昭和十二年度各特別會計歳

入歳出豫算案、日程第二、豫算外國庫ノ負

擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、日程

第三、昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案、

第一號、日程第四、昭和十二年度各特別會

計歳入歳出豫算追加案、特第一號、日程第

五、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件、追第一號、會議、委員長報

告、是等ノ五案ハ一括シテ議題ト爲スコト

ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公野近衛文麿君) 御異議ナシト認

メマス、豫算委員長林伯爵

一昭和十二年度歳入歳出總豫算案

一昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算

案

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總

テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ

ト議決セリ依テ及報告候也

昭和十二年三月二十七日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公野近衛文麿殿

一昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案

(第一號)

一昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算

追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總

テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ

ト議決セリ依テ及報告候也

昭和十二年三月二十八日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公野近衛文麿殿

○伯爵林博太郎君演壇ニ登ル

總豫算案、昭和十二年度各特別會計歳入歳

出豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契

約ヲ爲スヲ要スル件、並昭和十二年度一

般會計歳入歳出總豫算追加第一號、昭和十

二年度特別會計歳入歳出豫算追加特第一

號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件、追第一號、右總豫算案、及

ビ追加豫算案ノ委員會ニ於ケル經過並ニ結

果ノ大要ヲ御報告致シマス、此ノ總豫算ハ

三月九日午前ヨリ豫算總會ニテ慎重ニ審議

ヲ致シマシタ、質問ニ移リマシテ、三月二

十三日ヨリ同ジク二十七日午前ニ互リマシ

テ各分科會ニ於テ審議ヲ致シマシタ、同日

午後總會ヲ開キ、質問討論ヲ經テ全會一致

ヲ以テ可決ニ相成リマシタ、又十二年度追

加豫算案ハ三月二十八日午前分科會ヲ審議

ヲ致シマシテ、同日午後總會ニ付議シ、質

問討論ヲ經テ全會一致可決ト相成リマシ

タ、先ヅ總豫算ノ内容ニ付キマシテ簡單ニ御

説明ヲ致シマス、當初政府カラ衆議院ニ出

サレマシタ昭和十二年度歳入歳出豫算ノ金

額ハ歳入歳出共ニ三十億三千八百五十餘萬

圓デアリマシタ、然ルニ現政府ニ於キマシ

テ二回ニ互ツテ修正ヲシテ、衆議院ニ於テ可

決ニ相成リマシタ

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

貴族院議長公野近衛文麿殿

官報號外

昭和十二年三月三十日

貴族院議事速記錄第二十七號

昭和十二年度歳入歳出總豫算案並昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算案外四件 會議三四一

決シテ本院ニ送付セラレマシタ昭和十二年度歲入歲出總預算ノ金額ハ、歲入歲出共ニ二十八億一千三百九十餘萬圓デアリマス、當初衆議院ニ提出サレタモノニ比シマシテ、歲入歲出共ニ二億二千四百六十餘萬圓ノ減額トナツテ居リマス、之ヲ前年度ノ實行豫算ノ金額ニ比ベマスレバ、歲入ニ於テ五億八百三十餘萬圓、歲出ニ於テ五億二千四百四十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマス、先ヅ歲入豫算ニ付テ大體ヲ申シマス、普通歲入ハ經常部ニ於テ十八億一千四百六十餘萬圓、臨時部ニ於テ三億二千八百四十餘萬圓、合計二十億四千三百四十餘萬圓トナリマシテ前内閣ノ編成シマシタ豫算ニ比シ、經常部ニ於テ二億三十餘萬圓ヲ減少シテアリマス、臨時部ニ於テ七億二千三百餘萬圓ヲ増加シテアリマス、差引一億九千三百餘萬圓ノ減少トナリマスガ、之ヲ前年度實行豫算ニ比較シマスレバ、經常部ニ於テ三億六千四百六十餘萬圓、臨時部ニ於テ七千六百七十餘萬圓、合計四億四千三百三十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマス、此ノ増加ハ主トシテ臨時租稅増徴、新稅創設、其ノ他ノ增收計畫ニ基クモノデアリマス、臨時租稅増徴並ニ新稅創設ニ依ル増加ニ六千九百五十餘萬圓、製造煙草賣渡價格ノ改定ニ依ル増加ニ二千五百四十餘萬圓、特別會計ヨリ一般財源受入六千七百八十餘萬圓、合計三億六千二百九十餘萬圓、此ノ外關稅改正等ニ依ル増加ニ二千二百五十餘萬圓デアリマス、尙公債金收入ハ七億七千八百八十餘萬圓デアリマシテ、前内閣ノ豫定額ニ比シ三千六百六十餘萬圓ノ減少トナリマスガ、前年度實行豫算額ニ比較致シマスと六千六百九十餘萬圓ノ増加デアリマス、次ニ歲出豫算ニ付テ簡單ニ申上ゲマス、歲出豫算ハ經常部十四億六千二百七十餘萬圓、臨時部十三億五千二百二十餘萬圓、合計二十八億二千三百九十餘萬圓デアリマシテ、前内閣ノ編成セル豫算ニ比ベマス

ト、經常部ニ於テ二億三千八百四十餘萬圓減少、臨時部ニ於テ二千三百五十餘萬圓ヲ増シテ居リマスノデ、差引二億二千四百六十餘萬圓ノ減少トナリマス、前年度實行豫算額ニ比ベマスレバ、經常部ニ於テ一億九百九十餘萬圓、臨時部ニ於テ四億四十餘萬圓、合計五億二百四十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマス、政府ハ今回ノ豫算ノ修正ニ當リマシテハ、最近ニ於ケル物價騰貴ノ情勢ニ鑑ミマシテ、政府ノ物資需要ノ増加ヲ抑制シ、之ニ伴フ民間物資ノ需要ヲ緩和スルト云フ趣旨ニ依リマシテ、其ノ歲出豫算ニ付テ再檢討ヲ爲スト共ニ産業ノ振興、國民生活ノ安定ニ關スル事項ニ付テハ、出來ルダケ其ノ趣旨ヲ尊重スル方針ヲ執ツタト申シテ居リマス、地方財政ニ關シマシテハ、中央地方ヲ通ズル稅制並ニ財政ノ全般ニ互リマシテ更ニ檢討考究スル必要ガアリト致シ、前内閣ノ計畫シタ地方財政調整金ハ之ヲ此ノ際取止メマシテ、別ニ農山漁村ノ負擔輕減ノ爲ニ應急ノ措置トシテ、本豫算中ニ臨時地方財政補助金七千萬圓ヲ計上シテアリマス、尙陸海軍兩省所管ノ經費ニ付テハ、前内閣ノ編成シタモノニ對シ何等ノ修正ヲ致シテハアリマセヌケレドモ、政府ノ說明ニ依リマスと、其ノ實行ニ當リ各、二千三百萬圓ヲ下ラザル金額ノ使用ヲ見合セムトスル決心デアルトノコトデアリマス、次ニ各特別會計ニ於ケル公債ノ發行豫定額ハ一億四千三百萬圓デアリマシテ、前内閣ノ豫定額ニ比シ、千二百萬圓ノ減少トナリマスガ、前年度實行豫算ノ豫定額ニ比シ、五千九百三十餘萬圓ノ増加ニナツテ居リマス、今一般會計及特別會計ヲ通ジテ申上ゲマスト、昭和十二年度ノ公債發行豫定額九億三千三百八十餘萬圓、前内閣ニ於ケル豫定額九億五千七百四十餘萬圓ニ比ベ、四千三百六十餘萬圓ノ減少ト相成ツテ居リマスガ、之ヲ前年度實行豫算ノ豫定額ニ比較シマスレバ、

一億二千六百三十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマス、尙昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算、並ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ内容ニ付テハ説明ヲ省略致シマス、是ヨリ質問應答ノ大要ヲ申上ゲマス、第一、庶政一新、人心ノ不安ハ誠ニ今日ヨリ甚ダシキモノハナイノデアール、特ニ下剋上ト云フコトガ流行シテ居ルノデアリマシテ、從テ國民ハ國民禮法ト云フモノヲ兎角辨ヘナイ嫌ガアル、政府ハ國民禮法ヲ規定スル意思ハナイカ、斯ウ云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ首相ハ申サレマシタ、第一、國防ノ充實、國防ノ充實トハ之ヲ甲、乙、丙、丁ニ分ケマスト云フト、甲ハ軍備ノ充實、乙ハ國家總動員ノ準備、丙ハ國民生活ノ安定、丁ハ國民精神ノ昂揚、是ガ第一、國防ノ充實デアール、第二ニハ、國防ノ發展、第三ニハ、國體ノ眞素顯現、此ノ三者ヲ原則トシテ大イニ我々ハヤラナケレバナライモノデアリマス、之ヲ原則トシテ、庶政一新、行政機構ノ形式ヲ考ヘマス、併シナガラ未ダ結論ニハ達シテ居リマセス、是ハ篤ト研究シテ其ノ實現ヲ期スル積リデアルト云フ答辯デアリマス、又國民ニ對シマシテ國防ト申シマスト云フト、兎角此ノ軍備ノ整備ト云フヤウナ意味ニ於ケル物質的國防ヲ謂フノデアルガ、實ハ其ノ前ニ精神の國防ト云フモノガナケレバナライ、狹義ノ國防、即チ軍備ノ國防ニ對シマシテ精神の國防ト云フノハ何デアルカ、ト云フト即チ軍民一致、官民一致、此ノ非常時ヲ克服スル所ノ愛國的精神ニ滿チテ、五ニ對立ヲ克服シテ行カナケレバナライ所ノ精神の統一ガ必要デアール、然ルニ不祥事ノ續發ハドウデアリマスカ、是等ハ悉ク精神の國防ノ缺陷ヨリ生ズルモノデアル、而モ此ノ缺陷アルニ乘ジマシテ、或ハ愛國ノ假面ヲ被ッテ、益、反國體的思想ガ横行スルト云フヤウナ機會ヲ與ヘツ、アルノ

ハ誠ニ奇怪デアール、之ニ對シテ政府ノ所信ハドウデアルカ、先ヅ陸相ヨリ答ヘラレマシタ、軍ニ於キマシテハ、日夜御勅語、御勅諭ヲ奉體サセルノデアール、之ニ依ッテ、入ッテハ良兵トナリ、出デテハ良民トナル所ノ教育ニ努メテ居リマス、海相ハ曰ク、軍隊ヲ教育スルニ當リテハ、寧ロ明カニ今日迄ノ「コシミニズム」ノ概要ヲ寧ロ話シテ、以テ益、我が國體ノ精華ヲ體得セシムルト云フコトニ努メテ居リマス、此ノ故ニ海軍ニ於キマシテハ、何等此ノ點ニ付テビク、スル所ノ必要ハナイト云フ確信ヲ持ツテ居ルトノコトデアリマス、首相ハ申サレマシタ、精神の國防ハ誠ニ是ハ必要ナコトデアール、是ガ今日此ノ點ニ於テ缺陷アルハ頗ル寒心ニ堪ヘナイ、又遺憾ニ堪ヘナイ次第デアール、我が國ノ特色ヲ十分確保セシムルコトハ此ノ際必要ナコトデアール、之ニ依ッテ外來思想ニ機サレザルヤウ大イニ國民ヲ戒メナケレバナライ、特ニ滿洲事變ヲ以テ侵略デアルト云ウヤフナコトハ、是ハ我が國ノ道義の皇道ヲ知ラナイ爲ニ起ツテ來ルノデアール、口舌ノ論デナク、實ニ依ッテ現シテ行クナラバ、世界ハ我が皇道精神ノ尊ブベキコトヲ知ル時ガ必ズ來ルデアラウト云フ答辯デアリマス、肅軍ノコトニ付キマシテ質問ガアリマシタ、海相ヨリ之ニ答ヘラレテ居ル所ヲ申シマス、軍紀ト云フモノハ、是ハ軍ニハ必要ナモノデアール、軍紀ノ紀ト云フノハ、是ハ織物デアッテ、織物ハ縦ト横トノ絲ノ調和ニ依ッテ出來ルモノデアール、畏レ多クモ、大元帥陛下ノ聖旨ヲ奉戴シ、サウシテ之ヲ尊重スルコトハ緯デアール、職責尊重ハ經デアール、此ノ經緯ガ聚ツテ軍紀ノ紀ヲ爲ス所以デアリマス、斯ウ云フ答辯デアリマス、又軍民一致ト云フコトハ極メテ必要デアールガ、兎角此ノ頃ハ下剋上ト云フ噂ガアル、是ハ國防ニ對シテ大ナル支障ヲ及スモノデアールガ、此ノ所信ハドウデアアルカ、陸相ハ答ヘラレマシタ、軍

民ガ不一致トハ考ヘテ居リマセス、軍民不
一致ト云フコトヲ世間デハ故意ニ言フ者ガ
アルノハ、是ハ國家ノ爲ニ誠ニ憂フベキコト
デアル、有識者ハ此ノ點ニ付テ誠ニ憂ヘテ
下サルノハ感謝スル所デアリマス、益々軍民
一體ノ實ヲ擧ゲテ時難ヲ克服スベキ秋デア
リマス、軍ハ此ノ信念ヲ以テ指導ヲ致シテ
居ル、臆測トカ誤解トカアルナラバ之ヲ一
掃シテ、折角御骨折ヲ願フテ、名實共ニ堅實
ナル一致一體トナッテ邦家ノ爲ニ盡サウト
思フ、ソレカラ又、我が國體カラ觀マシテ、
官國幣社ノ御社殿ノ整備ニ遺漏ガアルヤウ
ニ思フガ、此ノ點ヲ整備スル意思ナキヤ、
是ハ國民ノ敬神崇祖ノ念ヲ涵養スル上カラ
大事ナコトデアアル、大イニ研究考慮シマス
ト云フ内相ノ答辯デアリマス、地方ノ財政
ニ關スル内務大臣、大藏大臣ノ監督上ノ處
分ト云フモノガ兎角煩瑣重複ヲ果テ居ル
カラ、之ニ一ツ簡易有效ニスル意思ハナイ
ノデアアルカ、内務大臣ガ答ヘテ申シマスノ
ニ、庶政一新ハ是ハ必ズシモ大問題ニハ限
リマセス、高キニ上ルニハ低キヨリシナケ
レバナライ、能ク御趣旨ヲ尊重シテ其ノ
點ニ付テ努力ヲスルト云フコトデアアリマ
ス、地方行政機構ヲ改善シテ、全國畫一ノ
弊ト中央集權、此ノ兩者ノ弊ヲ矯正スル
必要ハナイカ、之ニ對シマシテハ内務大臣
ハ、地方制度調査會ヲ設ケルコトニナッテ居
ル、自治ト云フコトハ形式のデナクシテ、
實質のカラモ發達ヲサセナケレバナライ
客觀的ニ形式的ニ議決シタモノヲ、直グ正
シト云フコトニシナイデ、自治體ノ意思
表示自體ガ主觀的精神的ニ正當デアアルヤウ
ニ指導シタイト思ッテ居ル、中央、地方ハ
相並ビ、何事モ中央ニ依存スルト云フ風ヲ
矯正シテ行カナケレバ自治體ハ發展ヲシ
ナイ、斯クノ如クニシテ堅實ニ自治體ヲ發
展サセタイノデアアル、首相ハ之ニ對シマシ
テ内相ト同様ノ意見ヲ持ッテ居ル、地方ノ

特色ハ十分ニ考ヘテ之ヲ發揮シナケレバナ
ライ、是ト同時ニ地方ト中央トノ平衡ヲ
保ツコトニ努メル、第二内政、之ニ付キマ
シテ治山、治水ト云フ問題ガ縱横ニ論ゼラ
レマシタ、山中ノ賊ヲ平グルハ易ク、心中
ノ賊ヲ平グルハ難シト云フ古語ガアル、國
防問題ヲ山中ノ賊トスレバ天災ハ心中ノ賊
デアアル、天災ハ豫知スルコトガ出來ナイ所
ニ特色ガアル、明日起ルカモ知レナイ、昭
和九年、十年ノ風水害ノ時ニハ十億圓モ掛ッ
テ居ル、内務當局モ、農林當局モ未流ヲ治
ムルニ止ッテ、肝腎ナル上流ノ砂防工事ヲ
等閑ニ視スルト云フノハ如何ナルコトデア
リマスカ、今日ノヤウナ政府ノ施設ヲ待ッ
テ居ッテハ、百年河清ヲ待ツモノデアアル、昨
年ノ第三分科ノ希望決議ヲ承知シテ居ルカ
ト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府
ハ、現内閣ノ先ヅ爲スベキコトハ人心ノ安
定ト云フコトガ第一デアアル、人心ガ安定ス
ルノニハ物價ノ騰貴ヲ抑ヘナケレバナライ
イ、ソレデアリマスルカラ大局上カラ豫算
ノ減額ヲシナケレバナライナクナツタ、デ農相
モ之ニ對シマシテ、大局上節減シタ次第デ
アツテ、先ヅ急ヲ要スルモノニ先ヅ差向ケ
テ、其ノ外ハ繰延ベルト云フコトカラ一億
圓ヲ希望シタケレドモ、トウ／＼八千萬圓
デ折合ツタコトニナツタシタト云フヤウナ質
問應答ガアリマシタ、併シ是ハ十分ニ政府
ニ於テモ將來考ヘルト云フコトデアアリマシ
タ、尙上流ニ於ケル砂防工事ニ止ラズ下流
ニ於ケル河川改修工事ニ付テモ色々ノ質問
應答ガアリマシタガ、是ハ省略ヲ致シマス、
次ニ政府ノ東北振興策ハ頗ル手緩イ、積極
的ニモット熱心ニ遂行スル意思ハナイカ、之
ニ對シテ政府ノ答辯ハ次ノ如クデアリマス、
東北振興ハ昭和九年ニ内務省ノ重要國策ニ
數ヘラレタノデアアル、現内閣ニ於テモ其ノ
方針ニ變リハナイ、第一ニ綜合計畫ハ全面
的ニハ認メルガ、豫算ノ上ニハ幾ラカ變ッテ

居ルカモ知レマセス、出來ルダケ尊重シテ
重大ノコトデアアルカラ盡シテ見タイ、東北
興業株式會社、電力株式會社ハ政府ノ施設
ト相俟ッテ盡シテ戴キタイト思フ、此ノ第一
期綜合計畫トシテ六千萬圓ガ調査會デ決定
ヲサレタノデアアル、其ノコトハ政府ハ能ク
知ッテ居リマス、尙十分之ヲ尊重スルノデ
アリマスガ、國防充實デ國費龐大ヲ來シタ
今日、前内閣ノ時不本意ナガラ二千三百七
十萬圓ニ削減シタ、然ルニ現内閣ハ更ニ三
百萬圓ヲ繰延ベルトコトニシタノハ、現在ノ
經濟力ニ副ハスモノガアルカラ、又物價騰
貴ノ惡影響ヲ來シマス爲ニ、已ムヲ得ズ不
本意ナガラ繰延ヲシタ次第デアツテ、決シテ
忽セニスル意思ハナイノデアアル、ト云フ
コトヲ懇ニ述ベラレマシタ、其ノ外紀元二
千六百年祝典評議員會ノ件、私設社會事業
ノ統制助成ノ件、公娼問題ノ件等ニ付キマ
シテ色々質問應答ガアリマシタガ、是ハ省
略ヲ致シマス、第三、外交、對支外交ハ廣
田首相ガ岡田内閣以來局ニ當ッテ、所謂三
大原則ヲ立テタノデアアル、我々ハ之ニ期待
シテ居ル、然ルニ派生的ニ色々ナ事柄ガ發
生シテ來マシテ、外交失敗ノ聲ヲ近頃ハ聞
クノデアアル、此ノ外交ハ精神ハ良カッタガ、
運用ガ惡カッタ爲ニ、斯クノ如キ狀態ニナッ
タノデアアル、今日外交方針ハ如何ナルモノ
デアアルカ、又外交一元化ト云フコトヲ今日
言フガ、ソレハドウ云フコトデアアラウカト
云フコトニ付キマシテ、質問應答ガアリマ
シタ、支那ノ現情ハドウデアアル、新聞ニ依
ルト、或ハ司令官ガ外交ニ聲明ヲ爲シタ
リ、軍事ノ機關デ外交ニ當ッテ居ルヤウニ
モ見エルノデアアル、外交ハ總テ外務省ガ
一元的ニヤッタラドウデアアルカ、之ニ對シ
テ外相ノ答辯ハ關係各省ト十分協議ヲシ
テ、一度其ノ方針ガ一決シタ場合ニハ之
ヲ以テ外務省ガ終始スル、現内閣當初ノ聲
明通り舉國一致ノ外交政策ニ依ッテ外交當

局デヤルコトニナッテ居リマス、國際關係ノ
緩和ト云ッテモ内閣閣僚ノ同心一體ガ其ノ
前ニ必要ダト思フガ、其ノ首相ノ御考ハド
ウデアアルカ、ソレニ對シマシテ、二月八日
ノ政綱發表、先ヅ國際正義ニ則ル、而シテ
其ノ後ニ國防、軍備ノコトヲ言フノデアアル、
國防第一トハ申サナイ、何モ拔身ヲ突キ付
ケルコトハ面白クナイ、デアアルカラ「萬邦
ノ共榮ヲ具現セシムル」目的ヲ以テ舉國一
致ノ外交國策ヲ遂行シ、國際關係ヲ明暢ナ
ラシムルコトヲ期ス」ト斯ウ申シタノデア
アル、是レ我が外交ノ精神デナケレバナライ
イ、國防ノ充實ハ好戰的意思ヲ持ッテ居リマ
セス、帝國ノ安泰ヲ圖ルガ爲ノミデアアル、世
間ガ之ヲ好戰的ニ解釋スルコトガ誠ニ不
思議デアアル、斯ウ云フ風ニ答辯ヲサレタノデ
アリマス、又陸相ノ答辯ガアリマシタ、舉
國一致ノ外交ト云フコトニ付テハ陸軍モ異
存ガナイ、唯一言シタイコトガアル、最近
數年間ノ支那ハ誠ニ混沌狀態ニアル、色々
ノ計畫ノ實行ニ伴ヒマシテ、協定ガ出來タ、
梅津、何應欽協定ト云フヤウナ協定モアル、
是等ノ協定ノ實行ニ當リマシテハ、情況ニ
依ッテハ直接局ニ當ル者ガ處置ヲ執ルト云
フコトハ實ニ今日ノ場合ニハ得ナイ、或
ハ外務省ニ託シ、或ハ兩方デヤルコトモア
リマス、ガ併シ今日ハ斯ウ云フ機宜ノ處置
モ已ムヲ得ナイノデアアル、勿論軍司令官自
體單獨ニヤルノデアアリマセス、重要問題
ニ付テハ出先ニ於テモ中央當局ノ承認ヲ經
テ實行ヲスルコトニナッテ居リマス、是ダケ
ハ御承知ヲ願ヒタイ、支那側デ十分此ノ協
定ニ從ヒ、忠實ニ實行シサヘルナラバ、
其ノ存在ハ消滅スルモノト考ヘル、今日ソ
コ迄行カナイノガ誠ニ遺憾デアルト云フコ
トデアリマシタ、ソレカラ「ソ」聯ノ關係ニ付
テ質問ガアリマシタ、之ニ付キマシテハ誤
解ヲ一掃シ、懸案ガアレバ解決シ、兩國交
ノ調節、現下ノ不安狀態ヲ除クコトニ努メ

ルト云フコトデアリマシタ、第四、教育問題、明治以來教育ハ山村僻地迄普及シテ居リマシタ、但シ他面ヨリ見マスルト云フト、先年教育癡癡ガ起ツタ、百五十名モ檢舉サレタガ、兵庫縣ノ視學ノ如キハ殆ド全滅ヲシタ状態デアッタ、其ノ他教育界ノ腐敗ハ屢々新聞ニ於テ耳ニスルノデアリマス、又赤化事件モアル、政府ハ當初ニ於テ政綱ヲ立派ニ發表サレタノデアアル、其ノ中ニ施政方針ニ於テ教育問題ガ少シモ書イテナイノハドウデアアルカ、首相ハ之ニ答ヘテ申サレルノニハ、政綱ノ全幅悉ク教育デアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、併シアレハ誠ニ今日ノ場合ドウシテモアノ項目ダケハ實行シナケレバナライ、之ニ付テハ國民一致シテ其ノ教ヲ自ラシテ行カナクテハナライ、是レ悉ク教育デアアル、專任文相ヲ置クカ置カナイカ、文相ハ非常ニ重要ナ位置デアリマス、現内閣ノ生命トモ謂フベキモノデアアル、目下慎重ニ人選ヲシナケレバナライ、已ムヲ得ナケレバ自分ガ續イテ勤メテモ至當デアリカト考ヘテ居ルト云フ首相兼文相ノ答辯デアリマス、義務教育延長ハ如何、是ハ義務教育延長ハ大體適當デアルト思フ、唯延長ニ付キマシテハ相當研究ノ必要ガアル、又此ノ機會ニ教育改善ノ、義務教育以外ノ方面ヲモ同時ニ考慮スル必要ガアルト云フ答辯デアリマス、平生前文相ガ職ヲ賭シテ迄義務教育八年制ヲ計畫シ、而モ十三年度ヨリ實施スル爲ニ若干ヲ計上シタ、ソレヲ今度削除シテシマツタ、義務教育延長ハ明治初年以來ノ教育ノ沿革ニ依リマシテモ、一等國ノ現情ヨリ見マシテモ必要ナコトデアアル、又他ノ學校制度ノ改善ト同時ニ行ハナケレバナライト云フモノデアハナイ、普通教育ハ普通教育、高等普通教育ハ高等普通教育、專門教育ハ專門教育、各、其ノ間ニ獨立性ガアツテ、相連絡スルノガ教育

ノ本體デアアル、ソレダカラ差當リ義務教育ノ延長ヲ單獨ニヤツテモ何等不都合ハナイ、管デアアル、義務教育ト云フコトハ憲法上ノ立法事項デアハナイ、勅令規定シテモ出來ルノダ、其ノ點ハドウデアアルカ、政府ノ申サレルノニハ、勅令ニ依ルカ法律ニ依ルカハ目下研究中デアリマス、併シナガラ義務教育延長ハ大體賛成シテ居リマス、次ノ議會迄ニ提出シタイ、其ノ外師範教育ノ改善ニ付テモ同時ニ考ヘタイノデアアル、又陸相カラモ教育ガ徹底シテ行クト云フコトハ軍ニモ有利デアアルカラ、義務教育ヲ八年制ニスルコトハ軍ハ賛成デアアル、其ノ外教育ニ付キマシテハ、官廳教育ニ付テ詳細ナル質疑應答ガアリマシタガ、是ハ省略致シマス、第五財政、財政ハ色々問題ガアリマシタガ、其ノ主ナモノダケヲ申上ゲルニ止メマス、總理ハ此ノ財政時局ヲドウ見テ居ルノデアアルカ、日本ハ慢性赤字病ニ罹ッテ居ル、其ノ慢性赤字病モトウ、赤字ヲ出スコトガ出來ナクナツテ、民間航空力何カ富強ヲヤラウト云フコトマデ賛成シヨウトシテ居ル、窮狀モ甚ニ至ッテ極限リト謂フベキデアアル、内閣ハ此ノ時局ヲドウ一體認識シテ居ルノカ、此ノ先ハドウナルカト言ッテモ答辯ハ出來ナイダラウ、其ノ點ハドウデアアルカ、首相ハ答ヘテ言ハレルニハ、時局ハ洵ニ重大デアリマス、負擔モ累年増加スル傾向ニアリ、此ノ難局ヲ打開スルト云フコトニ我々ハ努メナケレバナラス、國際的情勢ガ漸次緩和スレバ、時局モ緩和スルと思ヒマス、民力、生産力ガ増進發展ノ緒ニ就イタナラバ、自然ト國民ノ負擔モ其ノ間ニ於テ緩和スル方法モアルダラウト思フ、重大時局ト考ヘマスガ、日本ノ發展性等ニ鑑ミテ見マス、日本ノ財政ハ只今直チニ覆滅スルト云フガ如キ貧弱ナモノデアイト考ヘマス、ソレカラ又對支經濟外交上ノ金融機關ト云フヤウナモノハナイノデアアルカドウデアアルカ、正金銀行ガ爲

替ヲ主トシテヤツテ居ルガ金融ト云フヤウナコトニ付テハ大キナ力ヲ爲シ得ル力ガナイ、微力デアアル、何カ金融機關ヲ彼ノ地ニ設ケテハドウデアアルカ、之ニ對シマシテハ此ノ經濟提携ニハ根本的ニ金融機關ヲ必要トスルコトハ同感デアリマス、從來ノ金融機關ハ特殊のデアツテ、不十分デアッタト云フコトモ認メテ居リマス、今後有エル方面ニ活動シ得ル機關ノ設置ニ付キマシテハ十分ニ協議シテ考ヘマス、云フコトデアリマス、地方財政調整交付金、此ノ問題ガ又或ハ内務省ニ關シ或ハ農林省ニ關シ其ノ他ニ關シ色々質問ガ出タノデアリマス、政府ハ地方財政ニ付キマシテハ、中央ノ財政ヨリモ改革ニ迫ラレテ居ルト云フコトヲ認メテ居ル、今日ノ所相當ノ交付金ヲ致スコトハ必要デアラウト云フコトカラ、七千萬圓ヲ計上シマシタ、尙各方面ノ御説ヲ承リマシテ、都市ト農村ノ負擔均衡ノ上カラ、更ニ追加豫算デ以テ三千萬圓ヲ増額致シタノデアリマス、兎角論ニナツテ居ル所ノ戶數割ノ廢止問題ニ付キマシテハ、是非ノ議論ガ一定シテ居ラナイ、地方税制ヲ大キク一般の見カラ新シク改革スル場合ニ於テ是ハ考ヘルコトトシテ、此ノ際ハ見合セタノデアアル、即チ之ヲ廢メテシマフカ、殘スカタ云フコトハ、次ノ大キナ税制ヲ考ヘル時ニ同時ニ考ヘタイト思フ、内務大臣ハ言ハレルノニ、戶數割ノ如キモノ一面ニハ弊ガアリマス、又他方面カラ見レバ洵ニ融通性ニ富シテ居ル、又地方自治體ノ基礎ヲ爲スモノデアリマス、此ノ故ニ來年度中央、地方ノ稅制財政ノ根本方策ヲ立テル時ニ確定案ヲ決メヨウト思ッテ居ル、戶數割等モサウ輕輕ニ廢止スベキモノデアハナイデアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、次ニ重大問題ノ一ツトシマシテ、金ノ現送ニ付テノ質問ガアリマシタ、是ハ政府ハ心配ガナイト云フノデアリマス、思惑輸入ガ今殺到シ

テ居ルモノダカラ、是ガ爲替ニ變動ヲ來シテ、一時的ニ弱含ミニナツテ居ルノデ心配シテ、今日ハ強含ミニナツテ居ルノデ心配ハナイト思フ、或正貨ヲ外國ニ於テ決済ニ充テルト云フコトハ差支ナイ、而モ年産一億數千萬圓ノ金ガ出マスガ、之ヲ此ノ中カラ賄ヒ得ル程度ト今日ハ考ヘテ居ル、此ノ故ニ正貨準備ニハ觸ラナイ、又兌換ニハ影響シナイト云フ考デアリマス、第六、拓務行政、拓務行政ノ重要性ニ鑑ミマシテ、拓務省ノ擴大ヲ圖ルヤ否ヤ、政府ハ之ニ對シマシテ、申サレルノニハ、其ノ任務ハ頗ル重大デアアル、拓務省ヲ擴大スルト云フコトハ、十分ニ考ヘテ檢討スベキモノデアルト考ヘル、拓務行政ノ強化ハ考ヘルガ、今ノ儘ニ擴大スルカ、其ノ形ヲ變ヘルカト云フコトハ、今日明答ハ出來マセヌ、斯ウ云フ話デアリマス、滿洲問題、移民ノ問題ニ付キマシテハ著々トシテ今日好イ結果ヲ聞クノデアアルガ、將來ニ付テノ政府ノ所見ハドウデアアルカ、前内閣ハ重要國策トシテ滿洲ノ移民ヲ計畫シテ、二十年間ニ百萬戶、其ノ第一歩トシテ五箇年間ニ十萬戶ト云フコトヲ計畫シタ、現内閣ニ於テモ大體之ヲ踏襲シタイノデアリマス、昭和十二年度ニハ集團移民五千戶、自由移民一千戶トシテ本豫算ニ計上シタノデアアル、其ノ實行方法ハ今迄通りヤルノデアアル、先ヅ内地デ訓練ヲシマシテ滿洲ニ送ル、滿洲デハ滿洲國政府ト滿洲拓殖會社トノ間ニ連絡ヲ能ク取ツテ、其ノ世話ヲスルコトニナツテ居ル、滿洲ニ千五百萬圓デ、サウ云フ行届イタ世話ガ出來ルカドウカ、政府ノ申シマスニハ、之ヲ日滿合辦ノ會社トシテ、増資ヲシナケレバイカマセヌ、改組後ノ滿洲會社ハ移民國策ノ代行機關トナリマシテ、形式ハ株式會社デ營利的デアリマスケレドモ、其ノ實質ニ於テハ營利的デアハナイ、資金融通モ長期低利トシテ、全ク其ノ國家的の見地カラ活動スル

國策會社アル、移民犠牲者ノ慰安方法ヲ

會ガアル、日米ノ國交上ニモ是ハ重大ナル

原因ヲ爲スベキ契約等ヲ絕對ニ爲サザル意

員ノ覺悟ヲ以テ時艱ヲ克服スベキヲ思ヒ、

モウ少シ考ヘタラドウデアルカ、軍隊ニハ

關係ガアルノデアリマスカラ、之ニ加盟スル

味ナリヤトノ御趣旨ノ質問ニ對スルモノデ

豫算各案ニ對シテ賛成ノ意思ヲ表示シマス、

犠牲ニナツタ者ニ對シテハ國家ハ色々之ニ

ト共ニ、其ノ經費モ恥シクナイヤウニ、又

アリマス、政府ガ前内閣ノ編成シテ豫算ニ

斯ウ云フ發表ガアリマシタ、總テ採決ニ入

對シテ慰安ヲシテ居ル、然ルニ軍ニ屬セザ

付キ之ニ變更ヲ加ヘル必要ヲ認メタノハ、

經財界ノ情況殊ニ物價騰貴ノ趨勢ニ鑑ミマ

リマシタル所、全會一致ヲ以テ豫算案全部、

ル者デ以テ、軍人同様ノ犠牲トナツタ者ガア

シテ、政府支出ノ減少ニ依ツテ直接間接ニ

トスルコトガ重要ナル目的デアリマスカラ、

尙次ノ希望決議モ、全會一致ヲ以テ可決致

少シ慰安ノ方法ヲ考ヘタラドウデアルカト

陸海軍ニ於テモ困難ヲ忍ビ此ノ目的ノ達

成ニ努メタ次第デアリマシテ、陸海軍兩省

ノ經費ハ、金額ハ多額ニ上ルト雖モ、今日ノ

云フコトデアリマス、之ニ付テハ質疑應答

ノ經費ハ、金額ハ多額ニ上ルト雖モ、今日ノ

國際情勢、國防上ノ必要ヨリ見マスナラバ、

各款項トモ極メテ切詰メタモノデアリマシ

ガアツテ、當局ニ於テハ十分ニ考慮スルト云

フコトデアリマス、以上ハ質問ニ付テハ概

略ヲ述ベタノデアリマシテ、此ノ外ノ質問

モ決シテ輕々シイモノデアルト云フ私ノ考

デハアリマセス、何レモ重要ナル質問デア

リマスガ、此ノ際ハ速記録ニ御譲リ致シタ

イト思ヒマス、三月二十二日ノ午後、大體

質問ガ済ミマシテ、二十三日ヨリ各分科會

ニ於テ審査スルコト決定致シマシタ、又

不日昭和十二年度追加豫算ヲ受領スルコト

ニナツテ居リマスノデ、此ノ際ニハ之ヲ總會

ニ付セズ、直チニ各分科會デ審議スルト云

フコトヲ諮リマシタガ、異議ナク決シマシ

タ、三月二十三日ノ午前カラ同二十七日午

前ニ互ツテ分科會ヲ開イテ審議致シマシタ、

三月二十七日午後豫算委員會ヲ開イテ各分

科主査ヨリノ報告ヲ伺ヒマシタ、ソレカ

ラ質問ニ入リマシタ、此ノ質問ニ付テモ簡

單ニ申上ゲテ置キマス、先ツ對支問題ガ出

マシタ、次ニ治山治水ニ付テ更ニ前ヨリモ

突込シタル質問ガアリマシタ、ソレニ對シ

テ内務大臣ハ砂防ハ改修ト並行シテ完備ス

ルコトガ最も重要デアアル、砂防ニ付テハ十

二年度カラ二千五百萬圓デ繼續費トシテヤ

テ居リマスガ、是デハ十分デアリマス、

前回第三分科ノ希望決議ニ鑑ミマシテ、國

家財政ノ許ス限り、治山治水計畫ヲ擴大シ

テ遺憾ナキヲ期スルコトニ致シマス、首相

カラモ同様ノ考デアルト云フコトヲ申サ

レマシタ、ソレカラ昭和十四年ニ「ニュー

ヨーク」或ハ「サンフランシスコ」ニ世界博覽

會ガアル、日米ノ國交上ニモ是ハ重大ナル

關係ガアルノデアリマスカラ、之ニ加盟スル

ト共ニ、其ノ經費モ恥シクナイヤウニ、又

立運レヲシナイヤウニ、十分ニシタイト思

フノデアアルガ、政府ノ所見如何、商工大臣

ハ我が文化産業ノ現情ヲ宣傳スル爲ニ是非

參加シタイ、又出來ル限り一日モ早く其ノ

準備ヲ促進スル考デアアル、外務大臣ヨリモ

同様ノ言明ガアリマシタ、茲ニ一ツ重要ナ

ル御話ヲ申シ上ゲル問題ガアリマス、所謂

實際豫算ニ關スル問題デアリマス、最後ニ

一委員カラ是非確メテ置キタイト云フノ

デ、此ノ實際豫算ト云フコトニ付テハ質問

ガアリマシタ、一、陸海軍兩省所管ニ關

スル所謂實際豫算、其ノ意義ハ何デアルカ、

二、若シ實際ニ使用スル豫算ナリトセバ、

其ノ使用スルト云フコトハドウ云フ意味デ

アルカ、三、豫算ノ使用ハ契約、處分、命

令等ニ始リ現金ノ支拂ニ終ル、物品ノ購入、

工事ノ契約等ガアルナラバ、現金ノ支拂ナ

キモ既ニ豫算ノ實行ガアル、之ヲ豫算ノ實

際使用ト見ザルカ、四、斯カル契約モ爲サ

ナイ、命令モ行ハナイトスレバ、何ノ必要

アツテ之ヲ豫算ニ計上スルカ、斯ウ云フ質問

ガ出タノデアリマス、之ニ對シマシテ政府

ガ答辯ヲ致シマシタ、是ハ間違フトイケナ

イカラ政府ノ言ツタ儘ヲ朗讀ヲ致シマス、所

謂實際豫算額ト云フノハ法律上ノ用語デハ

アリマセス、政府ハ經濟界ノ事情ニ適應ス

ル爲メ豫算ノ實行上使用ヲ見合サムトスル

金額ニ付キマシテ、使ハナイト云フ決心ヲ

シタカラ法律上即チ形式上豫算額ヨリ之ヲ

差引イタモノヲ斯ク稱シタモノデアリマシ

テ、之ヲ發表スルコトガ適當デアルト認メ

タ次第デアリマス、是ハ所謂實際豫算額ノ

意味如何ト云フコトニ對スルモノデアリマ

ス、第二ハ使用見合セノ意味ハドウデア

カト云フノデアアルガ、使用見合セノ金額ニ

付キマシテハ、本年度内ニ於テ將來支出ノ

原因ヲ爲スベキ契約等ヲ絕對ニ爲サザル意

味ナリヤトノ御趣旨ノ質問ニ對スルモノデ

アリマス、政府ガ前内閣ノ編成シテ豫算ニ

付キ之ニ變更ヲ加ヘル必要ヲ認メタノハ、

經財界ノ情況殊ニ物價騰貴ノ趨勢ニ鑑ミマ

シテ、政府支出ノ減少ニ依ツテ直接間接ニ

トスルコトガ重要ナル目的デアリマスカラ、

陸海軍ニ於テモ困難ヲ忍ビ此ノ目的ノ達

成ニ努メタ次第デアリマシテ、陸海軍兩省

ノ經費ハ、金額ハ多額ニ上ルト雖モ、今日ノ

國際情勢、國防上ノ必要ヨリ見マスナラバ、

各款項トモ極メテ切詰メタモノデアリマシ

テ、到底此ノ際何レノ款項ニ於テモ之ヲ修

正スルコトガ出來マセス、提案額ニ付キ協

賛ヲ求ムルコトヲ必要トスルモノデアツテ、

今後實行上苦シキヲ忍ビ、有ラヌル努力ヲ

爲シテ實行上年度内支出ヲ見合セムトスル

モノデアリマシテ、元來ノ趣旨ガ物資ノ需

要減少ニ依ルノデアツテ、年度内ニ於テ支拂

ヲ爲サザルハ固ヨリ、國防上忍ビ得ル限度

ニ於テ出來得ル限り物資購入等ノ契約ヲモ

成ルベク後ニ延バサムト努ムル方針デア

ル、即チ購買等ノ契約ノ遅ケレバ遅イ程物資需

要ノ急増ヲ防ギ得ルヲ以テデアリマス、右

約ヲモ出來得ルダケ後年度ニ延スベク努力

スル方針デアリマスガ、國防上絕對ニ忍ビ

難キヤウナル場合ニハ、年度内ニ契約スル

コトハ必ズシモナイト云フコトヲ保シナイ

ト云フ、斯ウ云フ答辯デアリマス、是ヨリ

討論ニ入リマシタ、一委員ヨリ豫算ノ提出

ニハ妥當ヲ缺ク點ガアルト思ヒマスガ、内

閣成立後ノ現勢カラ考ヘマス、是モ亦諒

トスベキ點ナキニモシモ非ズ、此ノ點ニ

付テハ只今敢テ追究シマセス、併シナガラ

ドウカハ前例ニナラナイコトヲ政府ニ警

告シマス、全幅ノ満足ヲ以テ贊成ハ出來ナ

イケレドモ、國家ノ現情ニ鑑ミ、國民總動

員ノ覺悟ヲ以テ時艱ヲ克服スベキヲ思ヒ、

豫算各案ニ對シテ賛成ノ意思ヲ表示シマス、

斯ウ云フ發表ガアリマシタ、總テ採決ニ入

リマシタル所、全會一致ヲ以テ豫算案全部、

各分科會主査報告通り可決ニ相成リマシタ、

尙次ノ希望決議モ、全會一致ヲ以テ可決致

シマシタ

第七十回議會豫算委員會希望決議

一政府ハ本豫算ヲ實施スルニ當リ經濟界

ニ急激ナル變動ヲ與ヘ國民生活ニ不安

ヲ生ゼシメザルヤウ深甚ノ注意ヲ拂ハ

レシコトヲ望ム

一今期議會ニ於ケル豫算提出ノ方法及其

ノ處置妥當ヲ缺クモノト認ム政府ハ將

來深ク注意スヘシ

前者ニ付テ簡單ニ申上ゲテ見レバ、今日ノ

今回提出サレマシタ所ノ豫算ト云フモノハ

全ク赤字豫算デアアル、増稅豫算デアアル、之

ニ依ツテ物價ガ上ツテ來タノハ當然デア

ル、又將來モ大イニ上ルデアラウ、從ツテ

此ノ民間ノ會社ニ於テハ、其ノ職員ノ俸給

ヲ増加スルト云フコトハ、之ハ出來ルコト

デアラウ、必ズ行クダラウ、然ルニ官吏ノ

如キニ至ツテハ、イツ迄モ同一ノ俸給デ

アツテ、之ヲ元ニ戻スト云フヤウナコトハ

容易ナコトデナカラウ、又一例ヲ舉ゲテ見

マス、東京市ノ一端ニ在ル所ノ川

口ニ於ケル鑛物工場ヲ見マス、鐵ガ定

價不足シテ、一向工場ヲ買ハウトシテモ買

フ物ガナイ、從ツテ仕事ヲ休マナケレバナ

ラス、休ムバ茲ニ職工ノ不安モ起ツテ來

ルデアアル、色々ノ事情ガ政府ニアルサウデ

アルガ、之ハ尤モデアアルト思フ、斯ウ云フ

風ナ工合ニ國民生活ニ不安ヲ生ゼシメルヤ

ウナコトガアツテハ甚ダイケナイガ、之ニ

付テハ將來大ニ注意ヲ拂ツテ貰ヒタイト云

フノデアリマス、又此ノ第二ニアリマシタ、

今期議會ニ於ケル豫算案提出ノ方法及其ノ

原因ヲ爲スベキ契約等ヲ絕對ニ爲サザル意

味ナリヤトノ御趣旨ノ質問ニ對スルモノデ

アリマス、政府ガ前内閣ノ編成シテ豫算ニ

處置妥當ヲ缺クモノガアルト云フコトニ付
テノ警告ハ、斯ウ云フ大體ノ意味デアリマ
ス、政府ノ答辯ニ依リマスレバ、所謂使用
見合セ額ナルモノハ、嚴格ニ申シマス、其
ノ實使用ヲ必要トスルモノデアッテ、其
ノ實行上見合セムトスルモノハ單ニ現金ノ
支拂ヲ猶豫スルノ意ニ過ギナイノデア
ル、斯カル事項ハ豫算トシテノ問題デハナイ、
經常臨時ノ區別サヘシナイ款項ノ區別ハ之
ヲ決定シナイ、斯ウ云フ豫算ト云フモノハ、
アルベキモノデナイ、憲法上ノ豫算デモナ
クレバ、行政法上ノ豫算トモ言ヘナイノデ
アル、實際豫算ト云フヤウナ言葉云々ス
ルノハモ更ニ不可解ノコトデア
ル、是ガ
爲メ實際使用ニ必要ノナイモノヲ豫算ニ計
上シタル如キ疑ヲ生ゼシメ、憲法上、會計
法上各種ノ紛議ヲ生ジタノハ頗ル遺憾ニ堪
ヘナイコトデアリマス、思フニ苟モ政府ガ
勅命ヲ奉ジ、帝國議會ニ提出シタル豫算ニ
懸値ヲスルトカ、或ハ不要ノ金額ヲ含マセ
ルト云フガ如キコトハ、許スベカラサル事
態デア
ル、我ガ陸海軍當局ガ、不必要ナル
豫算ヲ要求シタルコトハ斷ジテ信ズル
能ハザル所デア
ルガ、況ヤ今回ノ如キ其ノ
已ムベカラザル國防上ノ必要ノ爲ニ、重大
ナル負擔ヲ國民ニ課セムトスル場合ニ於テ
尙更然リト思フノデア
ル、然ルニ今回ノ事
タル陸海軍豫算ノ如キ、所謂實行上使用見
合セ額ト云フモノハ、他ノ各省豫算ニ於テ
修正減額セラレタモノト、其ノ關係ヲ全ク
異ニシテ居
リ、眞ニ國防上避クベカラザル經
費デア
ル、是ガ要求ヲ阻止スルコトガ出來
ナイ、唯兩省豫算ノ實行上、毎年度相當多
額ノ繰越ノアル實際ニ鑑ミテ他省ヲ協力シ
テ、其ノ財政上ノ重壓ヲ緩和スルガ爲、
各三千三百萬圓ノ程度ニ於テ、成ルベク
支拂ヲ猶豫セムコトヲ約束シタルモノデハナ
カラウカ、是ナラバ甚ダシク國防計畫ノ遂

行ヲ妨ゲルコトナクシテ實行シ得ルデア
ルカモ知レナイ、併シナガラ之ハ單ニ自然ニ
生ズベキ繰越ヲ見合セタ機宜ノ處置ニ過ギ
ナイノデア
リマシテ、斯ウ云フコトハ、軍
部當局ト財政當局トノ間ニ於ケル政府部内
ノ了解事項タルニ止リ、豫算案提出ニ關ス
ル對帝國議會ノ直接交渉事項デナイ、然ル
ニ政府ハ當初ヨリ正式ノ豫算ヲ提出スルト
同時ニ、實際豫算ナルモノヲ提出シテ、
兩々相對シテ恰モ不可分のニ形影相伴フ姿
ヲ成シ、人ヲシテ常ニ一ハ實際上ノ豫算、一
ハ假裝的ノ豫算デア
ルカノ如キ感ヲ懷カシ
メ、爲ニ疑惑ト議論ヲ生ゼシメタノハ、政府
ガ豫算ノ取扱ヲ誤リ、之ニ關スル説明ノ徹
底シナカッタ結果デア
ッテ、眞ニ遺憾デア
ルト云フノガ大體ノ意見デア
リマシテ、是ガ
即チ提出方法並ニ其ノ處置妥當ヲ缺クモノ
ト認ムト云フコトノ内容デア
リマス、次ニ
昭和十二年度追加豫算ニ付テ其ノ經過ヲ申
上ゲマス、本追加豫算案ハ三月二十七日午
後衆議院カラ本院ニ送付受テ致シマシタ、
茲ニ追加豫算案ノ大要ヲ簡單ニ述ベマス、
昭和十二年度一般會計歳入歳出總豫算追加
第一號、同じク特別會計歳入歳出總豫算追加
第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契
約ヲ爲スヲ要スルノ件追加第一號、甲、總豫
算追加第一號、歳入歳出ニ於テ五千八百十
餘萬圓、歳入ノ内譯ハ、一、普通歳入
ノ增加ガ六百五十餘萬圓、二、公債金ノ増
加五百六十餘萬圓、其ノ内譯金ノ現
送、在外資金充實ノ爲ニ伴フ貨幣交換差金
五百八十餘萬圓、此ノ五百八十餘萬圓ノ歳
入ト致シマシテ、交換差金ト云フハ金ハ
今日十三圓ナニガシデ以テ政府ガ買ッテ居
リマス、之ヲ外國ニ賣リマス云フ、十
四圓ナニガシデ一圓ノ其處ニ差額ガ出ル、
其ノ差額ノ合計ガ五百八十餘萬圓、歳入ト
ナッテ現レテ居ルト云フコトデア
リマス、

第二ハ歳入補填公債ノ増加ガ五千百十餘萬
圓、滿洲事件費公債ノ増加四十餘萬圓、歳
出ノ内譯ヲ申シマスレバ、第一ニハ臨時地
方財政補給金ノ増加三千萬圓、是ガ此ノ追
加豫算ノ大眼目デア
リマス、本豫算ノ七千
萬圓ヲ加ヘテ一億萬圓トナルコトハ御承知
ノ通りデア
リマス、第二、道縣災害土木費
補助等ノ増加ガ六百四十萬圓、九州地方其
ノ他各地風水害復舊施設費二百餘萬圓、是
ハ昭和十二年度カラ三年間ニ千六百十餘萬
圓ト云フモノガ出來テ居
リマス、其ノ中ノ
年度制デア
リマス、第四、英國皇帝陛下戴
冠式記念觀艦式參列軍艦派遣費八十餘萬
圓、第五、第十二回「オリムピック」大會費
補助七十餘萬圓、第六、北樺太石油資源開
發助成費ノ増加六十餘萬圓、第七、帝國燃
料興業株式會社設立費五百餘萬圓、第八、
紀元二千六百年記念萬國博覽會開催助成金
五十萬圓、第九、滿洲拓殖會社出資拂込金
九百萬圓デア
リマス、乙、特別會計ノ追加
豫算第一號、是ハ、國債整理基金、公債
金、關東局、帝國大學、同資金部、官立大
學資金部、朝鮮總督府ノ各特別會計ニ屬ス
ルモノデア
リマス、丙、豫算外國庫ノ負擔
トナルベキ契約ニ關スル件追加第一號、是ハ
道縣災害土木費補助、北樺太石油株式會社
ニ對スル助成金、同社ノ社債元利保證、滿
洲拓殖會社出資金並社債元利ノ保證等デア
リマス、是等ハ簡單ニソレダケノ説明ニ止
メテ置キマス、三月二十八日午前各分科會
ヲ開催致シマシテ、同日午後豫算委員會
ヲ開催致シマシテ、此處デ質問ニ入リマシ
テ、「オリムピック」大會ニ關スル質問ガア
リマシタ、「オリムピック」大會デ我が國ヲ
紹介スルノハ誠ニ結構デア
ルガ、我ガ青年
ニハ國際道德的訓練ガ足りナイ、從ッテ日本
精神ヲ動モスレバ誤解サレムトスル虞ガア
ル、然ルニ先般「ベルリン」デ行ハレマシタ

所ノ「オリムピック」ノ狀態ハドウデア
ルカ
ト云フト、「ナチス」ハ誠ニ能ク青年團ヲ訓練
シテ居
リマシテ、誠ニ此ノ「ナチス」ノ精神
ヲ能ク海外ニ發揚シタルデア
ル、我ガ當局
ニ於テハ今ヨリ此ノ點ニ付テ考慮シテ、サ
ウシテ我ガ日本ノ眞相ヲ紹介スルト云フコ
トニ遺憾ナキヲ期サナケレバナラナイガ、
文相ノ御感想ハドウデア
ルカ、首相兼文相
ハ之ニ對シテ申サレマシタ、日本精神ハ誠
ニ崇高ナモノデア
ッテ、徒ニ口舌ヲ以テ宣傳
スベキモノデナイ、不言實行、以心傳心、
這ノ間ニ外國ノ青年ヲシテ直感シテ嘆美サ
セルト云フコトガ必要デア
ル、公明ナル態
度、信義ヲ重ンズル態度、淡泊、洒落ノ氣
分等ノ日本精神ノ善點ヲ、言ハズ語ラズノ
間ニ彼等ニ直感サセル、自然ニ是ガ發現ス
レバ、其ノ結果トシテハ自分カラ外容ヲ感
動セシムルモノ深イモノデア
ルト考ヘル、
先ヅ監督者自身ガ反省ヲシテ、然ル後青年
ヲ能ク訓練スルヤウニシタイト思フ、此ノ
點ハ十分ニ今日ヨリ準備スルト云フ答デア
リマス、聽テ討論ニ入リマシテ採決ニ移リ
マシタル所、本追加豫算案ハ、各分科主査
ノ報告通り、全會一致ヲ以テ可決ニ相成リ
マシタ、以上ヲ以テマシテ昭和十二年度ノ
總豫算案並ニ追加豫算案ニ關スル豫算委員
會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマシテ、之
ヲ以テ報告ヲ終リマス
○議長(公費近衛文磨君) 質疑ノ通告ガゴ
ザイマスカラ、順次之ヲ許シマス、關屋貞
三郎君
(關屋貞三郎君演壇ニ登ル)
○關屋貞三郎君 會期切迫ノ今日、多クノ
質問ハ政府ニ於テモ、同僚諸君ニ於テモ御
迷惑トハ思ヒマスルガ、私ハ國防充實ト共
ニ、政府ノ大イニ力ヲ用ヒラレテ居ル國民
生活安定ニ最モ關係深キ、社會事業施設助
成ノ問題ニ付キ、政府ノ所見ヲ質シタイト

思フノデアリマス、本件ニ付キマシテハ本
議會ニ於テ、衆議院ニ於テ建議モアリ、又
我々ト志ヲ同ジウスル同僚ヨリ、豫算總會
ニ於テモ簡單ニ質問ガアリマシタガ、今日
ハ幸ニ總理大臣ヲ初メ關係各大臣御揃ヒノ
好機會デアリマスルカラ、茲ニ御質問ヲ申
上ゲルノデアリマス、成ルベク極メテ簡單
ニ申述ベマスルカラ、暫時御靜聽ヲ願ヒマ
ス、近來社會事業ガ社會現實ノ狀況ニ直面
シ其ノ必要ニ迫ラレ、中央地方トモ其ノ規
模ヲ擴張シ、又施設ヲ新タニシ、其ノ數ヲ
増加シツ、アルコトハ事實デアリマス、從ッ
テ中央政府ノ豫算モ地方公共團體ノ豫算モ
自ラ増加シ來ツタコトハ當然ナ事デアリマ
ス、殊ニ今議會ニ於テ政府ハ救護法、軍事
救護法及結核豫防法ノ改正、母子保護法、
國民健康保險法、保健所法等ノ諸案ヲ提出
セラル、一方、之ニ伴ヒ其ノ豫算ヲ増加計
上セラレマシタコトニ付テハ、其ノ法規ノ
内容若シクハ豫算ニ付キマシテハ未ダ以テ
十分ナリトハ致サナイモノガアリマシテ
モ、是等ニ依リ施設ナリ經費ナリガ國民生
活ノ安定ニ資スルモノデアルコトハ疑ナ
シデアリマス、私ハ此ノ點ニ於テ政府ノ努
力ヲ多トスルモノデアリマス、又政府ガ濟
生會ヲ初メ特殊ノ團體ニ對シ補助金ヲ支出
セラレテ居ルコト、及ビ預金部資金、簡易
生命保險積立金等ヨリ低利資金ヲ社會事業
ノ爲ニ融通セラレテ居ルコトモ承ツテ居
マス、唯茲ニ一ツ取殘サレテ居ルモノデ、
而モ多年希望セラレテ居ルモノモ拘ラズ其ノ
儘ニ相成ツテ居ルモノガアリマス、ソレハ一
般社會事業施設ニ對スル助成ノ問題デアリ
マス、御話ヲ簡明ニスル爲ニ少シク數字ヲ
申上ゲマス、社會事業施設ノ數ハ約一萬二
千、其ノ中三分ノ二ハ民間ノ事業デアリマ
ス、經常費ハ一箇年約五千萬圓、之ニ對シ
テ政府ノ獎勵助成費一箇年、昭和十一年度

デアリマスガ二十數萬圓、是ハ獎勵助成ノ
意味ヲ以テ數百ノ優良團體ニ下付セラル、
モノデアツテ、其ノ恩惠ハ一般ニハ及ビマセ
ス、社會施設一年ノ經常費五千萬圓ニ對シ
二十數萬圓ハ、先ヅ二分ノ一位ノモノデア
リマセウ、以上ノ事ハ勿論所管大臣タル
內務大臣及司法大臣、外地ノ方面デハ拓務
大臣モアリマスガ、御關係ノ大臣ハ夙ニ御
承知ノコトト思フノデアリマスルガ、總理
大臣、大藏大臣ハ恐ラクハ或ハ初メテ此ノ
事實ヲ御聞キニナルコトカト思フノデアリ
マス、生活安定ヲ希望セラル、他ノ關係諸
公ニ於カセラレテモ、之ヲ聞イテ意外ノ感
ヲ御起シニナルコトト信ジマス、而シテ此
ノ獎勵助成ハ紀元節當日ニ宮内省ノ御下賜
金ト共ニ下付セラル、モノデ、大正十年以
來實行セラレ今日ニ及ンデ居ルモノデアリ
マス、宮内省御下賜金ハ全ク斯業御獎勵ノ
思召ヲ以テ御内帑ヨリ御下賜アラセラル、
モノデアリマシテ、拜受者ハ恐懼感激致シ
テ居ルノデアリマス、拜受團體ニ於テハ之
ヲ積立テマシテ記念基金トスルモノ、或ハ
之ニ依リ記念建築物ヲ設クルモノ、モア
リ、只管聖恩ノ萬一ニ報イ奉ラムコトヲ期
シテ居ルノデアリマス、政府ノ獎勵助成ハ
最初大體宮内省ノ御下賜金ト同一歩調ヲ取
テ來タノデアリマスガ、昭和五六年頃ニハ一
般經費ト同様ニ緊縮減少セラレタノデアリ
マス、社會救濟ノ必要ガ甚ダ切ナルモノガ
アツタ時機ニ於テ却テ著イシ減少ヲ見タコ
トハ、當時宮内省ニ於テ年々御下賜金ヲ御
増額ナサレタニ比シ、意外千萬ニシテ、政
府ノ認識又ハ識見ヲ疑フ者モ少ナクナカ
タノデアリマス、幸ニ數年前ヨリ稍、増加シ
昨年ハ前述ノ額ニナツテ居リマス、ソレニ致
シマシテモ經常費五千萬圓ニ對シ僅ニ二十
數萬圓ト云フ少額デアリマス、是ダケノコ
トヲ申上ゲマシテモ、私ノ此處ニ立チマシ

タ目的ノ一斑ハ御了解下サルコト存ズル
ノデアリマス、併シ尙申上ゲベキ更ニ重要
ナル問題ガアリマス、ソレハ低金利ト物價
騰貴ノ社會事業施設ニ及ス影響デアリマ
ス、社會事業團體ノ保有スル利子ヲ生ズル
資產ハ約二億五千萬圓ト推定セラレマス、
昭和五六年頃有價證券ノ利廻リ約六分ノ時
代ニハ年收約一千五百萬圓デアリマシタモ
ノガ、現在利廻リ四分ト見テ約一千萬圓即
チ五百萬圓ノ減少デアリマス、又他面物價
騰貴ヲ假ニ二割ト致シマスレバ、經常費五
千萬圓ニ對シ一千萬圓ノ減額トナリマシ
テ、一ハ收入減トナリ他ハ支出増トナツテ居
ルノデアリマスガ、兎ニ角經常費ニ於テ併
セテ一千五百萬圓ノ打撃ヲ被ツテ居ルト云
フ勘定デアリマス、殊ニ篤志家ノ寄附モ増
稅、低金利、物價騰貴等ノ爲ニ、漸次手控
ヘセラレヤウナ傾向ガ近來顯著デアリマ
シテ、社會事業經營ノ困難ハ當然増大セラ
レ、前途頗ル寒心ニ堪ヘナイモノガアルノ
デアリマス、斯クノ如キ次第デアリマスガ
ラ、政府ハ是非至急是等ノ施設ニ對シ、何
等カノ對策ヲ講ゼナケレバナラヌト云フ狀
態ニアルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアリ
マス、低金利ト物價騰貴ト稅制ノ問題ハ、二重
モ三重ニモ、公益團體ニ影響スルコトハ、獨リ
社會事業施設ニ關スルノミナラズ、教化、育
英、學術獎勵等、其ノ他公益ヲ目的トスル諸團
體ニ對シテモ同様デアリマスルガ、是等ノ
諸團體ハ社會事業トハ自ら多少異ナル所モ
アリマシテ、今日ハ國民生活安定ト云フ立
場カラ、特ニ社會事業施設ニ對シテノミ御
話ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、廣ク
一般公益團體ニ付キマシテハ申述ベナイノ
デアリマスガ、其ノ影響ヲ受クル點ニ於テ
ハ略、同様ナルモノガアルト存ジマシテ、此
ノ際特ニ政府ノ御注意ヲ促シテ置キタイト
存ジマス、社會事業施設ハ全國ニ於テ約一

萬二千、其ノ三分ノ二ハ民間ノ事業デア
ルコト云フコトハ前ニ申上ゲマシタガ、ザツ
ト種類ヲ申シマスレバ、病人ノ爲ニ施藥救
療ヲ致シテ居ルモノ、老人ノ世話其ノ他色
色ト困ツテ居ル人々ノ救護ヲ行ツテ居ルモ
ノ、子供ノ保護ヲ致シテ居ルモノ、刑務所
ヨリ釋放セラレタ人々ヲ保護指導シテ居ル
モノ、其ノ他救貧、防貧、教化ノ爲メ、諸
施設ガ色々アリマスルガ、是等ハ何レモ國
家公共團體ニ代ツテ、國民ノ救護ヲ盡シ、其
ノ福祉ノ増進ニ顯著ナル實績ヲ示シテ居
ルノデアリマス、是等社會事業施設ノ經營ノ
中ニハ、名譽トカ地位トカ榮達ヲ願ミズ、
中ニハ自己ノ財產ヲ傾ケ盡シ、其ノ全生涯
ヲモ此ノ事業ノ爲ニ捧ゲテ居ル人モ少クナ
イノデアリマス、又自分自身ノミナラズ、
一家總掛リデニ當ツテ居ル者モアルノデ
アリマス、中ニハ親子二代、或ハ更ニ父祖三代
ニモ互リ、而モ七十、八十ノ高齡ヲモ顧ミズ、
致々波々トシテ數十年一日ノ如ク働イテ下
サル方モ今日尙存スルノデアリマス、此處
デ其ノ方々ノ御名前ヲ申上ゲルコトハ差控
ヘマスガ、是等ノ方々ニ對シテハ我々唯々
感謝致ス外ハアリマセス、而モ是等ノ尊敬
スベキ人々ハ、單ニ我々同胞ノ中ニアルノ
ミナラズ、我が國ニ多年在留スル外國人ノ
中ニモ少クナイノデアリマス、近時社會政
策的施設ノ實施ニ伴ヒマシテ、漸ク公營社
會事業ノ勃興ヲ見ルノデアリマスガ、斯カ
ル趨勢ノ中ニアリマシテモ、前述ノ如ク民
間社會事業家ガ不遇者ニ對スル情熱ト奉仕
ノ至誠、更ニ斯業經營ニ關スル不斷ノ努力
ト不撓ノ精神トハ何等變ル所ガナイノデ
アリマス、今現ニ是等ノ人々ニ依ツテ十萬ノ
兒童ガ保護サレ、五萬ノ老人ガ養ハレ、刑餘
ノ人ハ一萬ガ輔導ヲ受ケ、約百八十萬ノ病者
ガ醫療ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此ノ目
立タナイ、又目立タセヤウトモシナイ民間

社會事業從事者ノ奉仕ニ對シテハ、誠ニ感激ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマス、彼等ノ中ニハ觀櫻、觀菊ノ御宴ニ召サレ、地方行幸ノ際ニハ拜謁、御陪食ノ光榮ニ浴シ、或ハ恭クモ位勳其ノ他ノ恩賞ヲ拜戴シ、又國家其ノ他ヨリノ表彰ヲ受ケ、感激ニ咽シテ涕勵ノ誠ヲ誓ヒ、只管奮勵努力致シテ居ル者モ少クアリマセス、併シナガラ諸君、彼等ノ奉仕的行爲ガ榮譽ノ冠ニ依ッテ報イラレ、又獎勵慰安ニ依ッテ力付ケラレテ居リマスルコトハ有難イ極ミデアリマスガ、彼等ノ前ニハ荊棘ノ難路ガ次カラ次ヘト續クノデアリマス、斯クノ如クシテ民間社會事業從事者ハ今日此ノ非常ノ時局ニ際會シ、彼等ノ目前ニ不遇ナル同胞ガ日夜ニ激増スルヲ見テ、更ニ感奮ヲ新クシテ、一層活動力ヲ擴充強化シ、全幅ノ機能ヲ發揮シ、其ノ重大ナル使命ヲ全ウセムコトヲ期シテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク民間社會事業ノ經費ハ御下賜金、政府及公共團體ノ補助金、民間助成團體及篤志家ノ寄付金、基本財産ヨリノ收入、會員ノ離出金、經營者自ラノ支出等ニ依ッテ支辨スルモノデ、助成團體及篤志家ノ寄付金ハ頗ル有力ナル財源デアリマス、中央地方幾多ノ助成團體及篤志家ニ對シテハ、社會事業關係者ハ滿腔ノ謝意ヲ表シテ居ル次第デアリマス、然ルニ民間社會事業家ハ前ニ申上ガマシタ通り、最近低金利ト物價騰貴ノ挾ミ撃チニ遭ヒマシテ、甚ダシキ經營難ニ當面シテ苦戰シテ居ルノデアリマス、從ッテ民間社會事業家ハ四苦八苦ノ餘リ涙ヲ揮ッテ、被保護者ノ衣食ヲ節約シナケレバナラナイ悲境ニ陥リツ、モ、尙有ラヌル努力ヲ拂ッテ其ノ事業ノ維持ニ苦闘致シテ居ルノデアリマス、諸君、社會事業ノ活動ヲ要望スルコト最モ切ナル今日ニ於テ、貧苦、病魔及罪惡ヲ敵トシテ戰ッテ居ル民間社會事業家ハ、軍資金ノ

缺乏ニ正ニ刀折レ矢盡キムトスル窮狀ニアルノデアリマス、諸君、今日我が國ニ於ケル保護ヲ要シマスル窮民ノ數ハ、實ニ二百萬ヲ數ヘ、不良兒童ノ數ハ十萬ニ上リ、刑務所ヨリノ釋放者ハ十五萬ニ上ッテ居リマス、然ルニ是等ノ中社會立法ニ依リ、又ハ官公設ノ社會事業ニ依リ保護セラレマスル者ハ、其ノ一部ニシカ過ギナイノデアリマシテ、從ッテ其ノ大部分ハ民間社會事業ニ依ッテ保護指導スルト云フ實情ニアルノデアリマス、加之民間社會事業者ハ稀薄ナル待遇ニ甘ンジ、不遇者ニ對スル情熱ト忘私奉公、私ヲ忘レテ公ニ奉ズルノ至誠ヲ以テ其ノ事ニ當ッテ居ルノミナラズ、比較的ニ少イ經費ヲ以テ、多クノ效果ヲ舉グル特色ヲモ持ッテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ際何故政府ハ積極的ニ是等ノ民間社會事業家ヲ助成シテ、其ノ機能ヲ十分ニ活動セシムルノ途ヲ講ゼザルカラ怪シム者デアリマス、最近政府ハ議會閉會間際ニ迫ッテ、司法保護事業獎勵ニ關スル經費ノ増加十萬圓ヲ十二年度追加豫算トシテ提出セラレマシタ、是レ固ヨリ司法保護事業促進ノ爲メ喜ブベキ次第デアリマスルガ、犯罪ノ増加殊ニ再犯激増ノ情勢ニ鑑ミ、又司法保護事業ノ至難ナルコトヲ思ヒマスレバ、右經費ノ増加ノミヲ以テ満足スルコトハ出來マセス、思想犯ニ付キマシテハ、保護觀察ノ制度モ實現致シマシタコトデアリマスルカラ、是等ノ實績ヲモ十分御研究ニナリ、我々ノ同僚ヨリモ既ニ御注意申上ゲテ居リマスルガ如クニ、司法保護事業全般ニ互リ、適切有效ナル施設ヲ速カニ實行セラレムコトヲ庶幾ヒマス、之ヲ要シマスルニ、政府ガ是等民間社會事業團體ニ相當ノ助成金ヲ交付セラレ、其ノ活動ヲ十分出來得ルヤウニサレムコトガ、國家ノ現狀ニ即シテ極メテ緊急適切ナル方策デアルト信ズルノデアリマス、即チ

之ニ依ッテ比較的僅少ノ經費ヲ以テ社會事業ヲ最モ能率的ニ活躍セシメ、我が國民生活ノ安定ニ資スルト云フコトハ、適切賢明ニシテ且緊急ナルコトト確信スル者デアリマス、仍テ私ハ政府ガ現下ノ世態ニ於ケル民間社會事業ノ擔ヘル使命ノ重要ナルコトヲ認識セラレ、速カニ之ヲ助成スルノ制度ヲ確立セムコトヲ要望スル者デアリマス、而シテ政府ガ之ヲ助成スルニ付キマシテハ、經費ノ助成ハ勿論、施設經營ニ便宜ヲ與ヘ從業員ノ優遇ヲ講ズルコトモ當然考慮サレナケレバナラナイノデアリマス、併シナガラ私ハ無條件ニ社會事業ヲ謳歌シ、又ハ盲目的ニ社會事業家ヲ禮讃スルモノデハアリマセス、多數ノ社會事業ノ中ニハ、效果ノ甚ダ學ヲナイモノモアリマセウ、動モスレバ其ノ目的ト背馳スルガ如キ結果ヲ生ズルモノモ絶無トハ申サレマス、或ハ其ノ經營方法ノ誤レルモノ、或ハ經費ヲ集メルニ急ニシテ、其ノ手段ノ穩當ヲ缺キ、一般公衆ニ迷惑ヲ及シ、甚シキハ好意ヲ寄スル篤志家ニサヘ嫌厭ノ情ヲ抱カシムル者モナイトハ限リマセス、社會事業家其ノ人ガ世間ノ指揮ヲ被ル場合モ折々ハ耳ニスルノデアリマス、是等ハ累ヲ社會事業ニ及スモ意致シ、深ク戒メナケレバナラス所ト考ヘマシテ、故ニ政府ハ之ヲ助成スルニ當リマシテハ、民間施設ノ濫設ヲ戒メ、其ノ内容ノ向上ヲ圖リ其ノ經營方法ニ弊害ヲ生ゼザルヤウ指導スルコトガ必要デアルト思ヒマス、一面之ヲ助成シ其ノ振興ヲ助クルト共ニ、他面ニハ之ニ適當ナル指導監督ヲ加ヘテ、其ノ改善向上ヲ圖リ、之ニ依リテ救済防貧教化ノ徹底ヲ期セシムルヤウ措置セラレムコトヲ衷心ヨリ望ムデ止マナイモノデアリマス、之ニ對スル内務大臣、司法大臣、外務大臣ハ拓務大臣ハ勿論デアリマスルガ、

併セテ總理大臣、大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス
〔國務大臣河原田稼吉君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(河原田稼吉君) 只今關屋サンカラ適切ナル御言葉ガ數々アリマシタ、私設社會事業團體ノ助成ニ付キマシテハ、從來モ可及的其ノ助成ヲ致シテ參ッタノデアリマス、昭和十二年度ニ於キマシテモ、若干ノ國費ノ増額ヲ致シタヤウナ次第デアリマスガ、併シ何ト云ッテモダ不十分ノ嫌ヲ免レマセヌノデアリマス、社會事業ノ普及發達ニ付キマシテハ、現今ノ社會情勢ニ照ラシマシテ誠ニ緊要ナルコトト考ヘマスルノデ、今後十分ニ此ノ點ニ付キマシテ考究ヲ重ネテ、根本對策ノ樹立ト云フコトニ付キマシテ十分ニ努力ヲ致シタイト思ヒマス
〔國務大臣鹽野季彦君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(鹽野季彦君) 關屋サンノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御承知ノヤウニ司法保護事業ハ是迄私設ノ團體ノミニ委セテアリマシテ、是等ノ團體ハ甚ダ實力ガ薄弱ノモノデアリマス、御質問ノヤウニ最近ニ至リマシテ篤志家ノ寄付モ激減致スヤウナ狀態デアリマス、甚ダ其ノ事業ガ必要ナルニ拘ラズ、其ノ活動モ萎微スルヤウナ狀態デゴザイマスルノデ、今回取念ギ追加豫算ノ上ニ於キマシテ、十萬圓ノ計上ヲ致シタヤウナ次第デアリマスルガ、政府ト致シマシテハ此ノ方面ニ十分ナル力ヲ用ヒマシテ、來年度ニ於キマシテハ相當ノ計畫ヲ立デマシテ、此ノ最モ社會事業ノ中デモ困難デゴザイマスル犯罪者ニ對スル保護指導ノ問題ヲ十分ニ發展ヲ致サセタイト計畫ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、御答ヲ致シマス
〔國務大臣結城豊太郎君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(結城豊太郎君) 關屋君ノ御心配ニナッテ居リマス低金利ト物價騰貴ハ個人經濟ニ於キマシテモ、國家ノ財政ニ於キ

マシテモ色々ナ影響ヲ來シテ居ルノデアリ

午後一時四十四分開議

○副議長(伯爵松平賴壽) 休憩前ニ引續

キマシテ開會致シマス、豫算案ニ對スル質

疑ヲ御許シ致シマス、佐々木八十八君

マシテ、之ガ對策ト致シマシテハ、低金利ハ

○佐々木八十八君 數年來ノ懸案ニナッテ

居リマシタル國立工藝指導所増設ニ關シ商

工當局ニ一言質問申上ゲマス、第七十議會

マシテ、逆轉スルコトハ困ルノデアリマス、

○國務大臣(林銑十郎君) 只今閣下君カラ

社會事業團體ノ活動ヲ促進シマスコトニ付

キマシテ諸種ノ御意見ガアリマシタガ、至

物價騰貴ニ付キマシテハ其ノ急騰スルコト

○閣屋貞三郎君 簡單デゴザイマスカ

ラ……

○議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイマ

マシテ、是等ノ關係カラ種々ナル社會事業ノ

○閣屋貞三郎君 只今總理大臣ヲ首メ各大

臣ヨリ御懇切ナル御答辯ヲ賜ハリマシテ、

深ク感謝致シマス、是ハ獨リ質問者タル私

シテ居ル次第デアリマスルガ、其ノ爲ニ十

二年度ノ豫算ニ於キマシテモ、一部サウ云

フコトヲ考慮致シマシテ増加致シマシタモ

ノモアルノデアリマス、今後ノコトニ付キ

マシテハ財政上ノ關係ヲ考慮致シマシテ、

○議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイマ

ラ……

○議長(公爵近衛文麿君) 休憩ヲ致シマス、

其ノ邊ノコトニ付テ十分ニ心配ヲ致シタイ

ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(林銑十郎君) 只今閣下君カラ

社會事業團體ノ活動ヲ促進シマスコトニ付

極御同感ニ存ズルノデアリマス、政府ハ今

日ノ社會情勢ニ鑑ミマシテ只今御話ノ御意

見中ノ諸點ニ付キマシテ、今後十分ニ研究

ヲシ、實施ヲ致シタイト存ズル次第デアリ

○閣屋貞三郎君 簡單デゴザイマスカ

ラ……

○議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイマ

ス

○閣屋貞三郎君 只今總理大臣ヲ首メ各大

臣ヨリ御懇切ナル御答辯ヲ賜ハリマシテ、

深ク感謝致シマス、是ハ獨リ質問者タル私

ノミナラズ、社會事業關係者ハ一同御答辯

ニ對シテ感謝シテ居ル次第ト思ヒマス、ド

ウカ出來ルダケ速カニ御實現アラムコトラ

切ニ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○議長(公爵近衛文麿君) 休憩ヲ致シマス、

品ヲ以テ一時ヲ糊塗シテ居ルカノヤウニ思ハレルノデアリマス、斯カル狀態ハ何時マデ續ケ得ラレルモノデアラウカ、今ニシテ之ガ救済ノ途ヲ講ゼズンバ、其ノ行詰リハ目前ニ迫ッテ居ルカニ思ハレルノデアリマス、茲ニ於テカ我々國輸出雜貨ノ工藝化、意匠化ノ指導ハ、實ニ中小工業者ヲ裨益シ、輸出貿易ノ振興上極メテ緊要ノコトト謂フベキデゴザイマス、是レ私共ガ是等輸出工藝雜貨生産最高ノ地位ヲ占ムル所ノ大阪ノ地ニ、國立工藝指導所設置ノ急務ナルコトヲ絶叫スル所以デアリマス、現時我々國ニ於ケル工藝指導機關ハ、仙臺ニモ國立工藝指導所ガ設置サレタルノデアリマスガ、其ノ位置ガ東北ニ偏シマスガ故ニ、全國的ニ利用セラレル便ヲ缺キマシテ、所謂其ノ目的ヲ達成シ難イノミナラズ、我々國輸出雜貨ノ生産地デアル所ノ中心點タル阪神地方カラ利用シタクテモ、何分八百「キロ」ノ遠隔地デアリマスガ故ニ、容易ニ利用シ能ハザル等、遺憾ノ點ガ尠クナイノデアリマス、ソコデ設置地ハ何レノ地方ガ適當デアルカト申シマスルト云フト、之ニ付テハ一言其ノ理由ヲ申上ゲナケレバナラナイト思フノデアリマス、抑、本問題ノ工藝指導事業ト云フノハ、古キ傳統ヲ有シ、百世ニ愛好セラレベキ美術工藝品、又ハ美術染織物等デハナイノデアリマス、是等所謂美術工藝品ハ作家ノ個性ニ俟ツベキモノデアリマシテ、事業上容易ニ指導シ得ベキモノデハナイノデアリマス、茲ニ本問題ノ工藝雜貨トハ如何ナル種類ノモノデアルカト申シマスルト云フト、現ニ輸出サレツ、アル所ノ工藝雜貨デアリマシテ、國際市場ニ於テ外國製品ト角逐スベキ硝子製品、時計、玩具、磁器製品、化粧品、綿絲布加工品、靴、裝身具、蓄音器、木竹製家具、セルロイド製品、各種攜帶品、革製品、

金屬器具、漆器等デアリマシテ、工藝指導事業トシテハ是等雜貨ノ工業化、意匠化ノ指導ヲ謂フノデアリマス、是等ノ輸出工藝雜貨ノ大阪府ニ於ケル最近ノ年産額ハ二億圓ヲ算シマシテ、無論全國ノ首位ヲ占メテ居ルノデアリマス、嘗テ東京工藝學校ノ調査ニ依リマスと云フト、之ガ製産高ハ大阪、東京、愛知、兵庫、京都ノ順位ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ大阪ニアリサヘスレバ、全國的ニ利用スル上ニ於テ甚ダ便利便益ヲ蒙ルノデアリマスガ故ニ、大阪ニ設置セラレルコト云フコトハ全國ニ於ケル貿易業者、生産業者ノ總意デアルト言ッテ毫モ憚ラナイノデアリマス、而モ既設大阪府立工業獎勵館ハ、最近百萬圓ノ豫算ヲ以テ現在ノ建物ヲ改築スルコトニ決定シタノデアリマス、愈、工藝指導所ガ大阪ニ設置セラ、ニ至ラバ、事業ノ性質上相互緊密ナル連絡ヲ保タナケレバナラナイコトハ勿論デアリマスルガ、從ッテ差當リ事務室其ノ他ヲ賃與シ得ラレルノミナラズ、工藝指導所新築ノ場合ニハ、構内ノ地所ヲモ提供スルノ意圖ガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス第六十七議會ノ貴族院ニ於テ町田商相ハ大阪ノ如キ所ニ是様ナモノガアルコトハ最モ宜シト考ヘテ居リマストノ仰セガアリ、又第六十七議會ノ衆議院ニ於テ、青田代議士ノ建議案ニ對シテ高橋政府委員ガ「大阪ニ國立工藝指導所ノ設置ハ御尤モト存ジマス」ト申サレタコトガアルノデアリマス、ドウゾ此ノ際、速カニ國立工藝指導所ヲ大阪ニ御設置下サイマシテ、將ニ行詰ラムトシテ居ル所ノ輸出工藝品界ニ、一條ノ活路ヲ御與ヘ下サイマシヤウニ切望シテ已マナイノデアリマス、之ニ對シテ商工次官ノ御所見ヲ拜承シタイノデアリマス、次ニ文相閣下ニ申上ゲマス、只今商工次官ニ申上ゲマシタ通り、現時ニ於ケル我々國貿易ノ狀

態ニ鑑ミ、工藝指導機關擴充ノ急務ナルコトハ縷々申上ゲタノデアリマスルガ、之ニ關聯シテ工藝教育ノ振興ト普及トガ、極メテ緊要ナルコトト申上ゲタイト存ジマス、近來著シク産業工藝振興ノ輿論ガ朝野斯界ニ高マリマシテ、國內ニ於テハ産業工藝博覽會、輸出工藝博覽會等ノ開催ニ依リマシテ、サウシテ工藝技術ノ研鑽ト、之ガ工業界ヘノ活用ヲ獎勵致シテ居リマス、又外ニ向ッテハ歐米ノ各地ニ巡廻ノ、我々國工藝美術品又ハ工藝雜貨ノ見本市ヲ開設致シマシテ、之ヲ海外人ニ紹介シ、輸出伸張ノ應急方策ニ相當ノ努力ヲ拂ヘルヤウニナツタノハ、誠ニ喜ブベキ現象ト存ジマスル、併シナガラ其ノ根本ヲ培養スル工藝教育ノ重要性ニ對スル關心ハ、未ダ十分デハナイヤウニ思ハレルノデアリマス、從ッテ之ガ振興ノ急務ヲ高唱スル權威者ノ少ナイノヲ大イニ心細ク思フテ居ルノデアリマス、抑、我々國ハ天與ノ資源ニ乏シイコトハ御承知ノ通りデアリマス、カルガ故ニ工藝材料ノ大部分ハ海外ニ仰イデ、之ニ加工シテ海外ニ輸出スルコトコロノ所謂加工工業國トデモ謂フベキデアリマス、可及的高價ナ商品トシテ輸出スルコトガ理想デアリマス、然ルニ半製品デ輸出シ、又先刻モ商工次官ニ申上ゲマシタ通り、安價品デ以テ海外ノ市場ヲ開拓シテ居ルト云フ現狀デハ、甚ダ心許ナイノデアリマス、我々國數十年來ノ努力ニ依リマシテ、國民ニ科學知識ヲ普及シ、以テ優秀ナル技術者ヲ偉大ナル發明家ヲモ多數ニ輩出致シマシテ、以テ今日ノヤウナ強大ナル工業ノ能力ヲ備フルニ至リマシタコトハ、大イニ慶スベキコトデアリマス、將來ニ於テ之ニ加フルニ、古來ニ對スル研究及之ヲ表現スル工藝技術ニ秀デタ傳統ノ我々國民性ヲ啓發シテ、我々工業技術ノ飛躍ノ向上進歩ヲ圖リ、大イ

ニ我々工業品ニ優秀ナル工藝美術ヲ發揮セシメ、以テ品質ト品位トノ向上ヲ期シ、益、海外ノ進出性ヲ増大シ、且ツ海外ノ日本製產品ニ對シ愛好心ヲ高メ、彼等ノ購買力ヲ把握スルコトガ最良ノ方策デアルマイカト思ハレルノデアリマス、更ニ方面ヲ轉ジテ見マサルニ、科學的文化ノ隆盛ニ心醉シテ、精神文化ノ向上ヲ怠リ、或ハ美的情操ノ涵養ヲ看過スレバ、人間生活ハ餘リニ機械的デアリ、無味乾燥ニ陥ラザルヲ得ナイデアラウガ、今ヤ全世界ヲ舉ゲテ斯カル趨勢ニアリノデアアルマイカ、果シテ然リトスレバ美ヲ要求スル人間ノ本能ニ覺醒ヲ促シ、多種多樣ナル其ノ趣味性ヲ満足セシムベク、努メテ文化的精神生活ノ向上ヲ圖ルベキデアリマシテ、此處ニモ亦尙健全ナル工藝ノ振興ヲ企圖スルコトノ緊要ナルコトヲ、強調セザルヲ得ナイト云フコトヲ大イニ痛感スルノデアリマス、斯クテ吾人ガ我々國工藝及工藝教育振興並ニ普及ノ重要性ヲ強調スル所以ノモノハ、我々傳統ノ國民的性能力ヲ啓發培養シテ、其ノ優秀ナル技術ヲ翳ギ、以テ國富ノ増進ヲ圖リ、工藝奉仕ヲ期セムトスル念願ニ外ナラナイノデアリマス、之ニ對シテ文相閣下ノ御所見ヲ拜承シタイノデアリマス

○政府委員(村瀬直義君) 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、工藝ヲ振興致シ、貿易ノ伸張ヲ圖リマスルコトハ、極メテ肝要ノコトト考ヘマス、之ガ爲ニ從來モ施設スル所ガゴザイマシタガ、今般更ニ工藝技術ノ研究、指導機關ノ整備擴充ヲ圖リマスコトハ最モ緊要デアルト認メマシテ、新タニ東京及關西地方ニ工藝指導所ヲ設置スルコトト致シマシテ、本豫算ニ其ノ經費ヲ計上致シテ居リマスル次第デゴザイマス、而シテ其ノ設置場所ニ付キマシテハ未ダ決定致シテ居リマセスガ、本豫算ノ執行ニ當リマシテ

ハ、工藝指導所ノ新設ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、篤ト考究ノ上遺漏ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマスル次第アリマス

（國務大臣林銑十郎君演壇ニ登ル）

○國務大臣林銑十郎君 只今佐々木君ノ私ニ對シテ御質疑ノ第一點デアリマスル我が國ノ工藝教育ガマダ不十分デアッテ、此點ニ付テハ十分ニ我が國ノ傳統的ノ工業美ヲ發揮シテ、所謂海外ニ向ッテ之ヲ出シタ場合ニ、十分外邦ノ愛好心ヲ高メルト云フヤウナ點ニ付テノ教育ガ、不十分デハナイカト云フ御質疑デアリマス、此ノ事ハ全ク御同感デアリマシテ、尙今後此ノ科學的知識技能ノ練磨ト相俟チマシテ、只今御話ノヤウナ點ニ十分注意ヲ拂ッテ、工藝教育ノ基礎ヲ培ヒタイト存ジテ居リマス、又ソレニ伴ヒマシテ殊ニ此ノ我が國ノ獨特ナル精神文化ヲ發揮シテ、美的情操ヲ養フト云フ點ニ付テモ御意見ガアリマシタガ、是等ノ點ニ付キマシテモ將來此ノ教育方面ト産業方面ト、十分ニ提携スルコトニ努メマシテ、此ノ工藝ノ教育ニ付キマシテハ獨創的ノ工夫考案ヲ凝ラスト云フコトニ努力致シタイト存ズル次第デアリマス

○佐々木八十八君 簡單デアリマスカラ自

席カラ、……只今ハ商工次官及文部大臣ヨリ御理解アル御答辯ヲ忝ク致シマシテ感謝ノ意ヲ表シマス、尙商工次官ニ一言申上ゲタイノハ、是非明年度ニハ之ガ設置地ヲ御極メ下サイマシテ、是非施設ノ實現ヲ見ルヤウニ御圖リヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシテ私ノ發言ハ了ッテ置キマス

○副議長（伯爵松平賴壽君） 柳原伯爵

（伯爵柳原義光君演壇ニ登ル）

○伯爵柳原義光君 本會議ノ本議場ニ於キマシテ、豫算委員長タル伯爵カラ豫算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ細カク承リマシテ拜承致シマシタ、其ノ御報告ノ中ニ私ガ是カ

ラ質疑致サムト欲スルコトガゴザイマシタナラバ、即チ豫算委員會ニ於テ私ガ是カラ質疑ヲ致サムト欲スルコトノ質疑ガゴザイマシタナラバ、此ノ壇上ニ立ッテ私ハ是カラノ質問ヲ致ス積リハナイノデアリマサガ、何等此ノ點ニ觸レテ質問ガナカッタサウデアリマスカラ、暫クノ間此ノ壇上ニ立ッテ私ガ質疑ヲ試ミタイト存ジマス、唯ソレノミナラズ衆議院ニ於テモ私ガ是カラ質疑致サムトスル事柄ニ付テハ何等質問ガナカッタサウデアリマスカラ、尙更其ノ意味ヲ以テ私ガ暫クノ間質問ヲ致シタイト存ジマス、其ノ質疑ハ格別長イ質疑デハナイノデアリマスガ、其ノ内容ハ誠ニ慎重ナル意味ヲ含ンダルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレハ皆様ノ御存ジノ如ク、本年ノ目度度キ國家ノ佳節タル紀元節ニ於キマシテ、優渥ナル御聖旨ニ依リマシテ、文化勳章ナルモノヲ御制定御發布ヲ見タノデアリマス、私共ハ深く此ノ深遠ナル聖旨ニ對シ奉リテハ、感激ノ至リニ堪ヘヌノデアリマス、而シテ此ノ文化勳章ヲ如何ナル資格ノ者ニ授與セラレラルカト申シマス、即チ科學、學問ノ方面、即チ學術、ソレカラ藝術ノ方面ニ於テ、文化ノ進歩發達ニ貢獻シタル者ニ對シテ特ニ賜ハルト云フ特殊ノ勳章ナノデアリマス、而シテ其ノ勳章タルヤ、一般ノ勳章ノ如ク差等ガナクシテ、階級ガナクシテ、二階級デアリマシテ、唯一階級ノ文化勳章ヲ賜ハルト云フ制度ノ下ニ出來タ所ノ勳章デアリマス、誠ニ結構ナコトト考ヘルノデアリマス、武勳ノ赫赫タル軍人ニ勳章ヲ授與セラレル如ク、文勳ノ方面ニ於テ國家ニ貢獻シタル者ニ對シテ、斯ノ如キ文化的ノ御表彰ノ意味ヲ以テ文化勳章ヲ賜ハルト云フコトハ、眞ニ結構ノコトト深く感激感佩スルノデアリマス、申ス迄モナク日本ノ文化ハ建國以來ノ我が

皇道ノ精神ニ依リマシテ、而シテ其ノ皇道精神ニ基礎ヲ置イテ、其ノ後ニ傳ヘテ參リマシタ所ノ漢籍、即チ儒道、更ニ後ニ參リマシタル所ノ佛教、或ハ又西洋ノ文明、其ノ中ニハ基督教モ含ンデ宜カラウト思ヒマスガ、要スルニ儒道、佛道、西洋ノ文明、是等ノモノヲ健全ナル日本精神ヲ以テ之ヲ消化シテ、サウシテ自家藥籠中ノモノト致シテ、立派ニ日本ノ文化燦然タル效果ヲ見テ、他國ノ追隨スルコトヲ許サザル立派ナ文化ガ日本ニ出タノデアリマス、眞ニ是ハ貴イ文化デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、文化ノ高キ國民ハ必ズ一方ニ於テハ武勇ニ秀デタル國民デアルト云フコトハ、是ハ古今東西ノ歴史ガ證明スル所デアリマス、即チ文化ニ秀デタル國民ハ戰爭ニモ強イノデアリマス、發シテハ萬葉ノ櫻トナリ、凝ッテハ百鍊ノ鐵トナルト云フノハ、全ク此ノ意味ニ基クモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、而シテ此ノ勳章ヲ授與セラレル者ノ範圍ト云フコトニ付テ、私ハ質疑ヲ致シタイノデアリマス、第一ニハ此ノ科學、即チ學問ヲ以テ我が國ノ文化ニ貢獻シタル者ニ賜ハルト云フコトデアリマス、此ノ科學ノ範圍ト云フモノヲ、ドノ邊ノ程度ニマデ及ブモノデアルト云フコトヲ、先ヅ以テ承リタイノデアリマス、勿論是ハ獨創的ノモノデナケレバナラスト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、又勳章ノ制度ガ公布セラレタ時ニ獨創的ノ貢獻ノアル者云々ト云フコトガ書イテゴザイマシタカラシテ、勿論是ハ附焼又ニ非ズシテ、全ク自己ノ獨創的ノ知識ヲ以テ科學的ニ國家ニ貢獻シタル大發明、大發見ヲシタト云フ者ニ限ルト云フノハ、是ハ承ラヌノデ一應了解致シテ居ルノデアリマス、其ノ科學ナルモノノ範圍ガ、ドノ程度ニマデ及ブノデアリマス、是ガ私自ラハ誠ニ分ラナイノ

デアリマス、勿論其ノ獨創的ノ科學ノ發明發見ヲシタ者ノ結果ハ、國家ノ利益、人類ノ福利ニ多大ナル貢獻ヲシタ者デナケレバナラスト云フコトハ、是ハ明カニ分ッテ居ルノデアリマス、其ノ根本ノ科學ト云フモノノ範圍ト云フモノハ、ナカク之ヲ捉フルノニムヅカシイモノデアラウト存ジマス、其ノ範圍如何ト云フコトニ付テ承リタイノデアリマス、更ニ他ノ方面ニ於テハ、藝術ノ範圍ト云フコトニ付テモ一應承リタイト存ズルノデアリマス、勿論藝術ニ依ッテ我が國ノ國民性ヲ發揚セル者ヲ表彰セラル、ト云フコトハ、是ハ分ルノデアリマス、藝術ト云フモノハ極メテ範圍ガ廣イモノデアリマス、其ノ範圍ヲドレ程ノ程度マデ及ブノデアリカ、承リタイト思フノデアリマス、勿論一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、繪畫、建築、彫刻、音樂、陶器、漆器、織物、高級ナル演藝ニ携ヘル者、或ハ文藝ノ作家ト云フヤウナ如キ者ハ、何レモ藝術家ノ範圍ニ入ルノデアリマス、先ヅ此處ヲ目シテ、此處ヲ人々ガ、其ノ自己ノ作品ナリ藝術ノ製作品ニ依ッテ、國家ニ貢獻シタル者ニ對シテ表彰セラル、モノト存ジマス、アラ方ノ範圍ヲ私ハ承リタイト考ヘルノデアリマス、而シテ此ノ功勞ノアル者ヲ表彰セラル、場合ニ、是ハ當然私ガ同ハナクテモサウナサル、トハ存ズルノデアリマス、人格ノ嚴選ト云フコトヲ私ハ是非トモ其ノ資格ノ中ニ加ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、兎角藝術ニ携ヘル者ハ、所謂一種ノ藝術家ニ通有ノ性質ガアリマシテ、不羈、獨立、磊落……不羈、獨立、磊落マデハ宜イノデアリマス、或ハ其ノ域ヲ脱出シテ、往々常識以外、即チ非常識ノコトヲシテ、誠ニ不體裁ノ者モアルノデアリ、或ハ藝術家ノ兎モスト免ルベカラザル所ノ通弊デア

ノデアリマス、仍テ如何ニ藝術ニ卓越シタル手腕アル者ト雖モ、相當ノ人格ヲ保ツ者ニ非ズンバ、決シテ斯クノ如キ名譽アル表彰ヲ與ヘルモノデナカラウト私ハ信ジマス、是ハ政府當局ニ於テモ勿論御同感ト存ジマスルガ、此ノ意味ヲ明カニ伺ヒタイト存ジマスル、一タビ藝術ニ卓越シタル者デアリカヲト云ウテ名譽アル勳章ヲ授ケラレ、而シテ後ニ其ノ人ノ人格ニ兎角ノ非難ガアツテ、極端ノ場合ヲ豫想シタ譯デアリマスルガ、此ノ名譽アル勳章ヲ褫奪セラル、ト云フコトノ如キコトガアリトセバ、萬々一ニモアリトセバ、誠ニ優渥ナル聖旨ニ悖ッテ不都合千萬ナルコト存ジマスルカラ、豫メ先ヅ此ノ授與ノ前ニ當ッテ、斯クノ如キ點ニ向ウテハ深甚ナル御注意ヲ願ヒタイト私ハ考ヘルノデアリマス、恐ラク滿堂ノ皆様モ御同感デアラセラル、ト私ハ考ヘマス、尙又私ハ此ノ藝術ノ範圍ニ於テ、殊ニ我が皇國日本デアリガ故ニ、一ツノ新シキ新鮮、味ヒアルモノヲ加ヘテ戴キタイト存ズルノデアリマス、ソレハ何カト申スト、文ノ方面ニ於テハ我が國特有デアリ書道ト云フコトニ對シテ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、勿論我が國ノ書ハ支那カラ傳來致シマシタ所ノ形象ノ文字デアリマスルケレドモ、既ニ日本化シテ、立派ニ日本ノ文字トナッテ居ルノデアリマスル、否管ニサルノミナラズ、我が平假名ノ如キハ日本ニ於テハ巧ミニ拵ヘタル所ノ假名文字デアリマスル、此ノ假名文字ハ申スマデモナク、支那カラ渡來シタル所ノ固イ字ヲ、日本のニ拵ヘタツノ我が日本民族ノ創造品デアリマス、此ノ平假名ノ如キハ誠ニ優美ナモノデアリマシテ、平假名ガ巧ミニ書イテアル掛物トカ、書類ヲ見マスルト、下手ナ繪ヲ見ルヨリハ假名ノ美ハシイ筆ノ跡ヲ見タガ美的觀念、美事ナメハシイ所ノ情操ヲ味ヒ得ルノデア

リマスカラシテ、是非トモ日本ノ書ト云フモノハ、是ハ外國ノ「アルファベット」トハ全ク譯ガ違フノデアリマシテ、一ツノ立派ナ美術品デアリマスガ故ニ、書道ト云フコトニ付テモ此ノ中ニ加ヘルト云フコトニ對シテ、深甚ノ御考慮ヲ願ヒタイト私ハ考ヘルノデアリマスル、文ノ方ニ於テハ是非トモ此ノ書道、書ト云フモノニ對シテ國家ニ貢獻シタル者ヲ表彰シテ戴キタイ、ト同時ニ武ノ方ニ於テハ、日本精神ノ範タ所ノ刀劍、是ハ或ハ工藝美術デアルトカナイトカ、刀劍ガ純粹ナル工藝美術品デアルトカナイトカ云フ輩ガアルノデアリマスルガ、私ハ此ノ日本ノ刀劍ト云フモノハ、即チ我が皇國精神ノ發露シタモノデアッテ、大和魂ノ凝ッテ固ッタモノト存ズルノデアリマス、故ニ私ハ此ノ刀劍ニ對シテモ深甚ナル御考慮ヲ願ッテ、是非此ノ文化勳章ヲ賜ヘル資格ノ中ニ、刀劍ノ製作者ノ優良ナル者ハ加ヘテ戴キタイト切ニ私ハ考ヘルノデアリマス、即チ文ニ於テハ筆道ノ大家、武ニ於テハ刀劍製作者ノ大家ヲ加ヘテ戴キタイト云フコトハ、我が日本デアリガ故ニ、斯クアラネバナラスト信ズルノデアリマス、大體質問ヲ致スコトハ是レダケデアリマスルガ、更ニ質問ヲ致シタイコトハ、此ノ文化勳章ヲ賜ヘルノニ、之ヲ銓衡スル方法ハ如何ニナサル、カト云フコトニ付テ承リタイノデアリマス、而シテ其ノ方法ト、及ビ此ノ銓衡ヲスル機關ガドウ云フモノデアリカト云フコトニ付テ承リタイノデアリマス、私ハ局外者デゴザイマスルケレドモ、此ノ勳章ヲ授與セラレル所ノ銓衡ノ方法及機關ト云フモノハ、頗ルムヅカシイモノダト存ズルノデアリマス、普通一般ニ賜ハリマスル所ノ勳章ハ、諸君モ御存ジノ如ク、議定官ト云フ勳章ヲ賜ハル時ニ御諮詢ニナル一ツノ機關ガゴザイマス、併シ此ノ文化勳章ニ對シテハ、

何等御諮詢ノ機關及ビ銓衡ノ方法ガマダ表向キニ相成ジテ居ラスノデアリマス、是ハドウナサル御積リデアリマス、之ヲ承リタイト思フノデアリマス、私ハ是ハ學士會員ノスル事業デモナシ、勿論樞密院ノスル事デモナシ、貴衆兩院議員ニ御相談ニ相成ルベキモノデモナシ、サレバト云ッテ商工會議所ニ御諮詢ナサルモノデモナカラウト思フ、何カ是ハ特別ノ之ヲ審議スル所ノ機關ガ國家トシテナケレバ相成ラスト思フノデアリマスルガ、先ヅ以テ之ヲドウナサル、御積リデアリマス、之ヲ承リタイト思ヒマス、私ノ常識デ考ヘマスルト、先ヅ差當ッテハ總理大臣、文部大臣、內務大臣ノ邊リガ、之ニ付テ御相談ト申シマセウカ、御協議デモナサルコトト存ジマスルガ、ナカ／＼此ノ科學及廣汎ニ互ル所ノ藝術ニ對シテノ審查、考査ヲスルト云フコトハ、誠ニ失禮ナ申分デアリマスルケレドモ、總理大臣ト雖モ將又其ノ他ノ諸大臣ト雖モ、ソレ等ノ御方々ニ此ノ適當ナル結果ヲ見ルコトヲ願ヒタイト云フ註文ヲ申スコトハ蓋シ無理ノコトト存ジマス、是ハ特殊ノ知識ノ、特殊ノ頭腦ガナケレバ、完全ニ此ノ銓衡ヲスルコトハ出來ナイト私ハ存ジマス、誰ガ見テモ尤モデ、誰ガ見テモ無理ナイト云フ所ノ人々ニ此ノ勳章ハ賜ハラナケレバ相成ラストデアリマス、之ヲ銓衡スル方法如何、機關ト云フモノガ如何ニ相成ッテ居ルノデアリマスルカ、誠ニ此ノ銓衡ノ方法及此ノ機關ガ不完全デアッタラバ、其ノ現レテ來ル結果タルヤ誠ニ由々シキコトニ相成ルト存ジマスルカラ、此ノ點ニ付テモ私ハ一點危惧ノ念ナキ能ハズデアリマス、更ニ之ヲ授與セラル、方針ニ付テ、政府當局ノ御所見ヲ承ッテ見タイト思フノデアリマス

ル、大體此ノ科學者ト云フモノハ、兎モスレバ唯我獨尊ノ性癖アルコトハ免レスノデアリマス、併シナガラ科學者ハ兎モ角モ、科學的ニ效果ノアルモノハ、相當ノ人ガ見レバ分リマスルカラ、科學上、學問上、國家ニ貢獻シタル者ヲ調ベルト云フコトハ、是ハ左程ムヅカシイコトデハナカラウト存ズルノデアリマスルガ、他ノ一方即チ此ノ藝術文藝ノ方面ニ對シテ、國家ニ功勞ノアル者ヲ公平ニ調ベルト云フコトハ、相當私ハムヅカシイコトデアラウト存ズルノデアリマスル、唯過去ノ功勞功績ヲ錄スルト云フコトデアリマスレバ、是ハ格別ムヅカシイコトデモナイト存ジマス、ソレハ繪畫ノ方ニ譬ヘテ申シマスレバ、帝展トカ、院展ノ審查員ヲ長クシテ、相當ナ作品ヲシタル所ノ繪畫ノ大先生ヲ其ノ儘推薦スレバ、先ヅ穩當ガラウト思ヒマスルケレドモ、マア繪畫位ノモノデアレバ、是位ノコトハ分ルト存ジマスルケレドモ、其ノ他一般ノ廣イ藝術家、廣イ藝術ニ携ヘル者ニ對シテ公平ナル審查ヲスルト云フコトハ、ナカ／＼是ハ神ナラス人間トシテハ、ムヅカシイコトデアラウト私ハ存ズルノデアリマス、而シテ此ノ文化勳章ト云フモノハ、唯過去ノ功勞ヲ表彰スルバカリデナクシテ、否過去ノ表彰ハ……過去ニ於テハ此ノ人ハ相當ナル功績ノアルト云フコトハ分ルノデアリマスルカラ、私等ノ希望スル所ハ、將來ニ向ッテ新鮮味ノアル發展味ノアル、將來ニ對シテ國家ニ多大ナル貢獻ヲスル見込ノアルベキ人ヲコソ、私ハ此ノ名譽アル勳章ヲ授與セラルベキ資格ノアル者デアラウカト私ハ密カニ思フノデアリマス、其ノ他一般ノ藝術家ニ對シテモ、將來ノ指導ノ價值ノアル者ニ對シテ、十分ノ御考慮ヲ爲サル、必要ガアルト私ハ思フノデアリマシテ、唯只今ニ於テハ行詰ッテ居ル所ノ過去ノモノヲ、徒

ニ表彰ヲ爲サル、ト云フコトハ、格別意義ノナイコトデアッテ、要スルニ將來ノ發展性ノアル、將來ニ對シテノ新シキ新鮮味ノアルモノガ、此ノ恩典ニ浴スルノガ私ハ國家トシテ當然ノコトデアラネバ相成ラスト存ズルノデアリマス、只今申上ゲマシタル如ク、ナカ／＼此ノ銓衡ヲ公平ニスルト云フコトハ、人間業トシテハムヅカシイコトデアリヤウニ思フノデアリマス、何卒此ノ銓衡ハ十分ニ公平無私、誰ガ見テモ尤モ千萬デアルト云フ風ニアリタイト考ヘルノデアリマス、而シテ此ノ銓衡ノムヅカシイ餘リニ、或ハ總花主義ニ陷ッテ、先ヅ此ノ人ニモ之ヲ授與セラレタカラ、此ノ人ニモ鈞合上斯ウセケレバナラスト云フヤウニ鈞合主義、更ニ言葉ヲ惡ク申セバ、總花主義ニ相成リマシテハ、折角ノ恩召ニ依ッテ出來マシタル所ノ、新シキ此ノ有意義ノ勳章御制定ノ御精神ヲ汚スモノト存ジマスルカラ、何卒是ハ矢鱈ニ濫授ニナラナイヤウニ、十分嚴選ヲシテ戴キタイモノデアルト私ハ深く考ヘルノデアリマス、恐ラク滿堂ノ諸君ニ於テモ、私ト御同感デアラセラル、コトト存ジマス、私ノ質疑ノ要點ハ、先ヅソレダケデアリマスルガ、而シテ既ニ此ノ制度ガ御發布ニナツタ以上ハ、何時カラ之ヲ奏請シテ授與セラ

ラ此ノ勳章ヲ授ケラレルト云フコトヲ承リタイモノト存ジマスル、ソレカラ又之ヲ奏請シテ授與發表セラル、人間ノ種類、人間ノ數ハ凡ソドレ程デアアルカト云フコトガ御分リデアリマスレバ、是モ承リタイト存ジマス、而シテ其ノ數ノ中ニ假ニ十人ナラ其ノ中ノドレダケハ、所謂科學學問ノ方面ノ功績ニ依ッテ授與セラル、方々デアッテ、而シテ他ノドレダケハ文藝、藝術ノ方面ニ對シテ功績ノアルモノデアアル、ドウ云フ風ニ何名ガ科學方面デアッテ、何名ガ文藝、藝術ニ關スル功績者デアルト云フ風ナ、其ノ數マデ御分リニナリマスレバ、誠ニ私ハ結構ト存ジマス、大體私ガ御質疑申上ゲマシタ所ノ概略ハ只今申述ベマシタ通りデゴザイマスカラ、私ノ質問ニ對シテ御深切ニ御答辯ヲ賜ハレバ、誠ニ有リ難ク存ズル次第デアリマス、之ヲ以テ質問ヲ終リマス

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔國務大臣林銑十郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(林銑十郎君) 柳原伯ノ只今ノ文化勳章ニ關スル御質疑ニ御答ヲ致シマス、第一ハ此ノ恩典ニ浴スル範圍、學術、藝術ト云フコトノ範圍ニ付テ御質疑ガアリマシタ、此ノ科學ノ範圍ト申シマス點ニ付キマシテハ、廣ク科學ト認メラレテ居ルモノノ全體ヲ含ム考ヘデアリマシテ、所謂精神科學モ物質科學モ、總テ是等ヲ網羅シテ考ヘル積リデアリマス、藝術ノ範圍ニ於キマシテモ文藝繪畫、彫刻、建築、音樂其ノ他一般ニ藝術ト認メラレルモノヲ廣ク解釋スル考デアリマス、第二ニハ、其ノ技術ノミナラズ人格ト云フ點ニ付テノ嚴選ト云フコトニ付テ御意見ガアリマシタガ、是ハ全ク私共モ御同感デアリマシテ、其ノ學術、藝術ト共ニ其ノ人ノ人格ト云フ所ニ十分ノ力ヲ用フベキダト考ヘテ居リマス、次ニハ書道、刀劍ト云フヤウナ點ニ付テモ及ブカ

ト云フ御質疑デアリマシタガ、是等ノ點ニ付キマシテモ十分研究考慮ヲ致シタイト存ジテ居リマス、次ニハ銓衡ノ方法ニ付テ御質疑デアリマスガ、此ノ點ニ付テ特別ナル機關ヲ設ケルト云フヤウナコトハ只今デハ考ヘテ居リマセス、普通ノ勳章ノ場合ニ同ジク賞勳局議定官ノ審議、是ガ最終決定ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、或ハソレ迄ニ何カ特別ノ機關ヲ作ルト云フヤウナ必要ヲ、今後ニ於テ感ズルカドウカハマダ審議中デアリマスガ、只今ノ所デハサウ云フ機關ヲ設ケル運ビニハナツテ居リマセス、ソレカラ其ノ次ニハ大體銓衡ノ方針ニ付キマシテ、單ニ過去ノ功績ノ表彰ニ止マラズ、將來ニ向ッテ指導的ノ價值ノアルモノデアルト云フヤウナ點ニ考慮スルノ必要、ソレカラ濫授ハ宜シクナイト云フ御意見、是等ノ點ニ付テモ御尤モト考ヘマスノデ、將來十分ニ研究致ス積リデアリマス、次ニハ其ノ發表ノ時期ニ付テ御質疑ガアリマシタガ、是ハ成ベク速クニ奏請ノ手續ヲ執ル考ヘデハ居リマスガ、只今ノ所デハ豫定ノ時日ヲ申上ゲルヤウナ立場ニハ立ツテ居リマセス、ソレカラ人數ノ點ニ付テ御質疑ガアリマシタガ、此ノ點モ努メテ嚴選ヲ致シテ、少數ニ止ムル考ヘデアリマスルガ、人名トカ豫定ノ員數ト云フヤウナ點ニ付キマシテモ、何分マダ時日ガ短クテ十分ニ研究ヲ致シテ居リマセヌノデ、今日只今此處デ申上ゲル都合ニハ參ッテ居リマセス、此ノ點ハ御諒承ヲ御願ヒ致シマス

○伯爵柳原義光君 只今ノ總理大臣及文部大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、私ノ質疑ノ大體ハ窺ヒ得マシテ、誠ニ本懷ノ至ト存ジマス、申ス迄モナク最モ此ノ名譽アル勳章ヲ授與セラル、ニ際シマシテハ、人格ヲ尊ビ、嚴選ナル御詮議ノ下ニ濫授ニ互ラザルヤウ、慎重ナル御詮議ノ上デ授與セラル、ヤウニ、

御盡力相成ラムコトヲ切ニ希望致シマシテ、本員ノ質問ヲ打切りマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 土方君

○土方寧君 我先刻ノ柳原伯爵ノ御質問ニ蛇足ヲ加フル意味デアアリマセヌガ、其ノ一部ニ付テ僅カニ數語デアリマス、此ノ席デ述べルコトヲ御許シテ願ヒタイ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○土方寧君 伯爵ノ御質問ノ中ニモ、此ノ文化勳章ヲ授與セラルベキ者ハ人格者デナクレバナラス、只今ノ總理大臣……文部大臣ノ御答辯ニモサウ仰シヤイマシタ、私共ノ方カラ人格者ト云フ言葉ハ全ク不明瞭デアリマス、私共法律屋カラ見レバ、誰デモ皆人格ヲ持ッテ居ル、人格者ト云フダケデハ能ク分リマセヌガ、學術ヨリ寧ロ技藝ニ長ジタ人、天才ニハ動モレバ奇行ガ多イ、英語デ言フト「モノマニア」ガ多イ、サウ云フ人ハドウモ身ガ修ッテ居ラナイ、一人前ノ人間トシテ一技ニハ長ジテ居リマスガ、外ノコトニ付テハ誠ニドウモ厄介ナ人ガ隨分アリマス、斯ウ云フヤウナ者ニハ行カスダラウト思ヒマスガ、ソレデモ宜イト云フコトナラ技術ヲ賞揚スル、技術ヲ持ッテ居ル人ヲ賞揚スルノデハナイカ、此ノ點ニ付キマシテハ唯人格者ト云フダケデハ行キマセヌ、サウカト云ッテ完全ヲ望ム譯ニハ行キマセヌシ、聖人君子人ト云フヤウナ立派ナ學德ヲ具ヘテ居ル者デナクレバナラスト云フコトハムヅカシイ、程度ノ話デアリマスガ、唯御質問ノ中ニモ、文部大臣ノ御答ノ中ニモ人格者ト仰シヤツケレドモ、私共法律屋ニ言ハセレバ皆人格ヲ持ッテ居ル、餘リ漠然トシテ居リマスカラ、サウ云フヤウナ點ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイ、人格者ト云フコトニ付テ、何カ別ニ文部大臣ノ御考ガアレバ伺ヒタイ、斯ウ云フコトヲ附加ヘテ置キマス

○伯爵柳原義光君 只今ノ私ノ足ラザル所ヲ此ノ席ニ於テ補足致シタイト存ジマスガ、宜シウゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○伯爵柳原義光君 私ノ人格ト申シタノハ法律上ノ人格ニ非ズシテ、社會通念デ申ス人格、即チ道德上缺クル所ナキ圓滿ナル人格ヲ持ッテ居ル者、斯ウ云フ意味デアリマス、法律上カラ見レバ誰デモ人格ヲ持ッテ居リマス、私ノ申スノハ、社會通念カラ見マシタル道德上何等批議スル所ナキ、圓滿ナル人格ヲ具ヘタ者、斯ウ云フ意味デアルト云フコトヲ補ッテ置キタイト存ジマス

(國務大臣林銑十郎君演壇ニ登ル)

○國務大臣(林銑十郎君) 只今ノ土方君ノ御質疑ニ御答ヘ致シマス、私ハ先程ノ御答ノ中ニ人格者トハ申サナカッタヤウニ思ッテ居ルノデアリマスガ、若シ申シテ居レバ、少シ私ノ考ガ違ッテ居ルノデ、人格ノ點ニ於テモ十分考慮スル、斯ウ云フ風ニ申シタ積リデアリマス、所謂道德上非常ナ缺陷デモアルト云フコト、普通其ノ人格上面白クナイト云フヤウナ、サウ云フヤウナ問題モ併セテ考ヘルト云フ意味デアリマス

○土方寧君 能ク分リマシタ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ討論ニ移リマス、子爵前田利定君演壇ニ登ル

(子爵前田利定君演壇ニ登ル)

○子爵前田利定君 諸君ノ御記憶ニマダ生シト御想ヒ御起シニナルデアラウト思ヒマスガ、昨年ノ二月二十六日ノ雪ノ晩ニ起リマシタル所謂二・二六事件ノ突發ハ、サラデダニ五・一五事件ニ依リマシテ、社會ノ各方面ニ大ナル「ショック」ヲ受ケマシタ人々ノ上ニハ、層一層軍部ニ對シマス非常ナル戰慄ト恐怖ノ念ヲ高メタノデアリマシタ、自分ノ思フコトヲ率直ニ申スコトハ避ケ

マシテ他聞ヲ憚リ、私語スル場合ニ於キマシテモ、成ルベク聲音ヲ低ウシテ語り合フト云フヤウナ、誠ニ言論ノ極メテ不自由ナル世ノ様ガ現出シタノデアリマシタ、敬愛スベキ皇軍ニ對シ、信頼スベキ軍部ニ對シマシテ、其ノ武力ト威服ニ憚リマシテ、之ヲ敬遠シ、國民、人皆石ノ如クニ沈黙ヲ守リ、憂鬱ナル空氣ノ下ニ快々トシテ眉ヲ蹙メ、不安ノ念ニ驅ラレタノデアリマシタ、韓詩外傳ニ、有聲ノ聲ハ百里ニ至ラズ、無聲ノ聲ハ延延トシテ四海ニ及ブト云フコトガアルサウデアリマス、吾輩ヲ以テ人ノ耳ニ入レマス其ノ聲ヨリモ、此ノ無聲ノ聲、所謂人ト人トノ間ニ以心傳心的ニ傳ハリ擴ガルト云フ方ノ聲ガ幅廣ノモノデアリマス、所謂無聲ノ國論、無聲ノ世論ト申シマスモノガ凝リ固マリマシテ鬱積シ、勢ノ激スル所此ノ沈黙ヲ破リマシタ場合ニ於キマシテハ、有聲ノ害ヨリモ一層恐ロシキモノガアルト私ハ思フノデアリマス、此ノ無聲ノ國論、世論ガ、遂ニ反軍ノ思想ヲ作り出シマシテ、軍民隔離ノ途ヲ辿リヤウナコトガアリハセスカト云フ點ニ付キマシテ、私ハ國家ノ爲ニモ、軍部ノ爲ニモ、國民ノ爲ニモ大イニ憂ヘテアッタノデアリマス、想フニ皆様方ニ於カセラレマシテモ御同感デアラセラレタラウト拜察スルノデアリマス

(議長公爵近衛文麿君議長席ニ著ク)

然ルニ幸ニ廣田内閣ガ出來マシテ、當時ノ陸相寺內伯ハ、肅軍ノ工作ニ從來ヨリモ一層ノ拍車ヲ掛ケラレマシテ、所謂涙ヲ揮ッテ馬謖ヲ斬ル底ノ大勇斷ヲ以テセラレマシテ、武勳赫々タル攻城、野戰或ハ帷帳ニ參畫スル所ノ、國家トシテハナクテハナラナイ宿將、名將トモ申サレルベキ方々ヲ、肅軍工作ノ途上ニ於キマシテ犧牲ニ迄供セラレマシタノデゴザイマシタ、此ノ誠意アル肅軍工作ノ後ヲ承ケラレマシテ、現内閣ノ

陸相モ其ノ工作ヲ續ケラレテ居ラレルノデアリマス、想フニ其ノ肅軍モモウ大詰メニ近クナッテ居ルノデアラウト思ハレルノデアリマス、本議會ニ於キマシテ、議員ガ議場ニ於キ、又委員會ニ於テ陸相トノ質疑應答ノ間ニ、陸相ノ肅軍ニ關スル答辯、例ヘバ軍人ノ政治干與、軍部ノ政治的聲明、陸軍ノ諸學校ノ生徒ノ教育指導ノ改善、軍部各其ノ本分ヲ恪履スル、又部内ノ統制ト云フヤウナコトニ對シマス御答辯ガ、誠ニ誠意ガ溢ルルバカリデアリマシテ、而モ其ノ肅軍ノ著々トシテ進捗致シテ居リマス所ノ實情ヲモ微スルコトガ出來タノデアリマシテ、我々ト致シマシテハ、此ノ誠意アル陸軍自身ノ肅正ガ、誠ニ我々ニ於キマシテハ多トスル次第デアアルノデアリマス、是ハ獨リ我々ノミナラズ、一般ノ所謂無聲ノ國論ニ於テモ、左様ニ相成ッタノデアラウト思ヒマスコトハ、皇軍ニ對シ、軍部ニ對スル敬愛信頼ノ念ガ、昔日ノ如クニ澎湃トシテ昂マッテ來テ居ルノヲ覺エルノデアリマス、長イ間軍民ノ間ヲ覆フテ居ッタ所ノ惡氣流ガ追々ト晴レテ行キマシテ、好晴ノ秋ノ空ヲ望ムガ如キ、誠ニ氣持ノ好イ心持ヲ以テマシテ、議員ト軍部大臣トノ質疑應答ガ交換ヲ致サレマシタ、從來ニナク其ノ信ズル所、言ハムトスル所ノモノヲ遠慮ナク、忌憚ナク披瀝致シマシテ、前ノヤウナ奧齒ニ物ヲ挾マッタヤウナ遠廻シデ申スヤウナ問答デハナク、障壁ヲ撤シテノ赤裸々ノ問答ニ依リマシテ、如何ニモ現下ノ國際時局ノ重大ナルコトヲバ我々ハ深く認識スルコトヲ得タノデアリマス、而シテ軍民一致シテ、此ノ時艱ヲ克服突破シナケレバナラナイト云フコトモ深く覺悟ガ出來タノデアリマス、而シテソレニ善處スベキ所ノ國防充實ヲ基幹ト致シマシタル所ノ、此ノ大豫算ニ對シマシテモ、我々ハ之ヲ承認シ、

尙又臨時増徴ニ依リマスル所ノ二億五千萬圓、之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比較致シテ見マスルト云フト、五億八百萬圓ノ大増加ニナッテ居リマスモノヲ含シデ居リマスル二十八億ノ大豫算ヲバ、我々共ハ之ヲ容認ヲ致シタノデアリマス、而シテ容認シタバカリデナク、此ノ大豫算ガ恙ナク議場ヲ通過スルヤウニ、ソレニ向ッテ忠ナラムト欲シテ居ルヤウナ次第デアリマス、嘗テ故大養毅翁ガ遭難セラレマシタ際ニ、其ノ終焉ノ直前ニ申サレマシタ、話セバ分ル、誠ニ此ノ、話セバ分ル、ト云フコトハ眞理デアリマシテ、議員ト軍部トガ晴ヤカナ氣持デ、腹藏ナク意見ヲ交換致シマシタト云フコトガ、斯様ナ結果ニナッタノデアリマシテ、實ニ我ハ話シテ分ッタノデアリマス、國防充實ガ此ノ時局ニ對シマシテ必要デアリ、且ツ急務デアルト云フコトヲ確認ガ出來マスル以上ハ、尤モ世間多クノ方々ノ中ニハ、斯様ニ重大時局ニ接スルヤウニ、國ガ今日マデ進ンデ來タ所ノ、過去ノ歩ミ方ノ善惡ニ付キマシテ論議スルヤウナ方モアルカモ知レスト思フノデアリマスルガ、私ハ左様ナ方ニ向ヒマシテハ、ソレハ死シタ兒ノ齡ヲ御數ヘニナルヤウナモノデアアル、一晚中議論ヲ續ケテ見タ所デ覺モ著カズ、何ノ役ニモ立タナイモノデアアル、トモアレ國家ガ其ノ地點迄乘リ出シ、押シ進ンデ來タ今日、假令其ノ歩ミ方ガ善キニセヨ惡シキニセヨ、今更廻レ右ハ出來ナイノデアリマス、直面シマシタル所ノ時局ニ對スル善處ノ法ヲ講ズベキデアリマス、即チ備ナキハ補ヒ、備ノ薄キハ厚ウスル、石垣ヲ高クシ、濠ヲ深ウスルト云フコトガ現下ニ於キマシテハ肝要事デアリマス、サレバトテ是ハ決シテ侵略セムトスルノ意味合デハ毛頭ナイノデアリマシテ、自己保存ノ爲デアリマス、國家存立ノ必要條件デアアルノデアリ

尙又臨時増徴ニ依リマスル所ノ二億五千萬圓、之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比較致シテ見マスルト云フト、五億八百萬圓ノ大増加ニナッテ居リマスモノヲ含シデ居リマスル二十八億ノ大豫算ヲバ、我々共ハ之ヲ容認ヲ致シタノデアリマス、而シテ容認シタバカリデナク、此ノ大豫算ガ恙ナク議場ヲ通過スルヤウニ、ソレニ向ッテ忠ナラムト欲シテ居ルヤウナ次第デアリマス、嘗テ故大養毅翁ガ遭難セラレマシタ際ニ、其ノ終焉ノ直前ニ申サレマシタ、話セバ分ル、誠ニ此ノ、話セバ分ル、ト云フコトハ眞理デアリマシテ、議員ト軍部トガ晴ヤカナ氣持デ、腹藏ナク意見ヲ交換致シマシタト云フコトガ、斯様ナ結果ニナッタノデアリマシテ、實ニ我ハ話シテ分ッタノデアリマス、國防充實ガ此ノ時局ニ對シマシテ必要デアリ、且ツ急務デアルト云フコトヲ確認ガ出來マスル以上ハ、尤モ世間多クノ方々ノ中ニハ、斯様ニ重大時局ニ接スルヤウニ、國ガ今日マデ進ンデ來タ所ノ、過去ノ歩ミ方ノ善惡ニ付キマシテ論議スルヤウナ方モアルカモ知レスト思フノデアリマスルガ、私ハ左様ナ方ニ向ヒマシテハ、ソレハ死シタ兒ノ齡ヲ御數ヘニナルヤウナモノデアアル、一晚中議論ヲ續ケテ見タ所デ覺モ著カズ、何ノ役ニモ立タナイモノデアアル、トモアレ國家ガ其ノ地點迄乘リ出シ、押シ進ンデ來タ今日、假令其ノ歩ミ方ガ善キニセヨ惡シキニセヨ、今更廻レ右ハ出來ナイノデアリマス、直面シマシタル所ノ時局ニ對スル善處ノ法ヲ講ズベキデアリマス、即チ備ナキハ補ヒ、備ノ薄キハ厚ウスル、石垣ヲ高クシ、濠ヲ深ウスルト云フコトガ現下ニ於キマシテハ肝要事デアリマス、サレバトテ是ハ決シテ侵略セムトスルノ意味合デハ毛頭ナイノデアリマシテ、自己保存ノ爲デアリマス、國家存立ノ必要條件デアアルノデアリ

マス、孫子ニ、兵ハ國家ノ大事ニシテ死生ノ地、存亡ノ道、察セザル可カラザルナリト申サレテ居リマス、此ノ言葉ハ孫子全卷ヲ通シタル所ノ、孫子ノ大神術デアリマシテ、如何ニモ兵變ト云フコトガ重要性ヲ帶ビタモノデアリカト云フコトヲ、至レリ盡セリニ言ヒ盡シテ居ルモノト思フノデアリマス、固ヨリ兵ハ濫リニ動スモノデアリマセス、去リナガラ降り掛テ來ル所ノ火ノ粉ハ之ヲ拂ハナケレバナリマセス、寄セ來ル敵ガアリマシタ場合ニハ、之ヲ防ガナケレバナリマセス、備ヲ立テルノハ敵ヲ攻メル具デハナクシテ、自軍ヲ守ルノ道具デアリマス、治ニ居テ亂ヲ忘レズデ、一旦緩急ノアツタ場合ニ對スル處置ヲ平生ノ時カラ心構ヲシテ置クコト云フコトハ、何ヨリモ是ハ大切ノコトデアリト思フノデアリマス、斯ク國家ノ防備ガ現下ニ對シマシテ必要デアルト、斯ウ確認ヲ致シマシタ以上ニハ、國民ハ又國民トシテノ覺悟ヲセンケレバナラスト思フノデアリマス、申上ゲル迄モナク國家アツテノ國民デアリマス、國家ナクシテ國民ノアルベキ筈デアリマセス、國家亡ビマスレバ國民又亡ブノデアリマス、國民ノ生活安定ト云フモノモ、國家アツテノ國民ノ生活安定デアリマス、廣義ノ國民生活ノ安定ノ爲ニ、是非共ナサネバナライナリ經費デアリマスタラバ、是ハ忍ブベカラザルヲ忍ンデモ、耐ヘザルモノヲ耐ヘマシテデモ、之ヲ國家ノ爲ニ奉仕ヲシナケレバナライト思フノデアリマス、已ムニ已マレナイ經費デアル以上ニハ、我々國民ハ所謂緊揮一番ドコロデハナイ、大肌脱ギニナリマシテ、サウシテ犠牲心ヲ發揮シテ、公ニ奉ズルノ覺悟ト決心ヲ持タナケレバナライナト思フノデアリマス、我々議員ト致シマシテモ、國民ノ一人ト致シマシテ、其ノ職責本分ニ恪循致シマシテ、奉公ノ至誠ヲ效ス

上ニ於テ、私心ヲ去リ、公利ヲ尊ビ、自ラ戒メ自ラ慎ミ、此ノ時艱ヲ克服突破スルガ爲ニ、所謂政府ト抱キ合フテ行カナケレバナライト我々ハ決心ヲ致シタノデアリマス、サレバコソ十四億ノ陸海軍費ヲ合ミマス所ノ、此ノ二十八億ノ豫算ヲ敢然トシテ協賛ヲ致シマシタ一人デアアルノデアリマス、衆議院ニ於キマシテハ、本豫算ノ審議ニ當リマシテ、所謂陸海軍ノ本年度見合セ額四千六百萬圓ニ對シマシテ、遠慮ノ聲ガ揚タノデアリマス、結局衆議院ヲ通過スル際ニ惡例封ジノ一札トシテ、希望決議ガ附帶サレタノデアリマス、確カニ大イナル釘ヲ打ダカレマシテモ、先程皆様委員長ヨリノ報告ヲ御聽取リニナリマシタ通りニ、略、同様に希望決議ガ附帶サレテ居リマシテ、矢張り今後斯様ナコトヲ例トスベカラズト云フ釘ヲ打ッタノデアリマス、皆様方ニ於カレマシテモ、遠イ記憶ヲ御喚起ニ相成ルデアリマセウ、若シ斯ウ云フヤウナ豫算ノ提出形式ノ上ニ於キマシテ憲法上、會計法上ニ關シマスル問題ガアツタト致シマシタラバ、是ガ十五年、二十五年ノ昔デアリマシタナラバ如何デアリマセウ、ソレコソ其ノ内閣ハ非常ナ大地震ニ揺ラレナケレバナライノデアリマス、併シ現下ニ於キマシテハ左様ナコトヲ論ズルヨリモ、此ノ大切ナル時局ニ善處スベキ此ノ大豫算ヲ、何トカシテ早ク通過セシメテ、國家ノ急ニ副ハナケレバナライト云フ、此ノ至誠ノ精神ガ充チ満チテ居リマシタガ故ニ、大切ナル問題デアリマスルケレドモ、希望決議ノ形ニ於テ戒シメルニ止ッタト云フヤウナ次第デアアルデアリマス、是モ議員我々ガ時局ノ如何ニモ重大ナルコトヲバ認識シ、同時ニ又軍部ニ於ケル自己肅正ノ如何ニモ誠意アラレル所ノ工作ヲ認メタカラデアアルノデアリマ

ス、尙言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、軍民一致ノ氣持ヲ以テ之ニ臨ンダカラデアリマス、申上モナク誠ニ現下ハ重大ナル場合デアリマシテ、朝トナク野トナク、政黨モ議會モ、官僚モ軍部モ、農民モ財界人モ、國民總テノ者ガ協力致シマシテ、所謂打ッテ一丸ト成ル底ノ氣持ヲ以チマシテ國民ガ總掛リ、國民の精神力ノ總動員ヲ行フヤウナ心持ヲ以チマシテ、具ニ與ニ手ヲシカリト握ッテ、此ノ時難ヲ克服シナケレバナライナリ時機デアルト思フノデアリマス、ソレガ故ニ本員モ此ノ大豫算ニ對シマシテハ、進ンデ賛成ヲ表シタ一人デアアルデアリマス、併シナガラ豫算自體ヲ顧ミテ見マス、論議スベキ餘地ハ尠クナイヤウニ思フノデアリマス、先ヅ豫算ノ提出ノ形式竝ニ貴衆兩院ニ於テ問題ニナリマシタ陸海軍費四千六百萬圓、之ノ取扱振リニ付キマシテハ、私モ憲法上、會計法妥當ニアラズト存ジテ居リマス者ノ一人デアリマス、貴族院ニ於カレマシテハ去ル三月三日ニ大河内子爵ガ此ノ問題ニ付キマシテ、政府ニ對シテ質問サレタデアリマシテ、ソレニ對スル結城藏相ノ御答辯ニハ、嚴格ニ申シタナラバ、嚴正ニ申シタナラバ成程議論ハアルデアラウト云フコトヲバ、大藏大臣自ラモ之ヲ認メラレテ居ラレルノデアリマス、併シナガラ私ハ今更此ノ問題ヲ此ノ壇上デ繰リ返スコトヲ差控ヘタイト思フノデアリマス、此ノ内閣ノ成立當時ノ模様ニ付キマシテモ諒トスベキモノデアリマス共ニ、所謂武士ハ相ミ互ト云フコトガアリマスガ、矢張り政治家同志ノ間ニ於キマシテモ矢張り相ミ互デ、同情味、人情味ヲ持チマシテ、既ニ其ノ非ナルコトヲ悟ッテ居ラレマスル以上ハ、敢テ徒ラニ追及スルト云フコトハ私ハ控ヘマシテ、唯、今後左様ナコトヲナサラナイヤウニト云フ強イ警告ニ止メテ置

キタイト思フノデアリマス、更ニ方面ヲ變ヘマシテ、此ノ大豫算ノ生ジテ參リマスル源ニナッテ居リマスル現内閣ノ政策、施設或ハ方針等ニ付キマシテ議員トノ質疑應答ノ間ニ現レテ居リマスルモノニ付キマシテ、政府ノ所見ガ、各問題、各政策ニ付テノ御答辯御説明ヲ拜聽致シマス云フ、個々ト致シマシテハ承服ノ出來ルモノモアリ、又心強クモ感ゼラレルモノモアルノデアリマス、サリナガラ是等ノ各政策、施設ガ所謂國家財政ト云フ上ニ於キマシテ運営サレマシタ場合ノコトヲ考ヘテ見マス云フト、私ハナカク政府ノ説明、答辯、個々ニ於ケル所ノ問題、政策ノ説明、御答辯ニ依テ安心ヲ致シテ居リマスル譯ニハ參ラナイ節ガ多クアルノデアリマス、ソレハ各政策ノ間ニ於キマシテ、或ハ矛盾ヲシ或ハ相剋ヲシ、或ハ撞著ヲシテ居リマスモノガ尠クナイノデアリマシテ、ソレガ因トナリ果トナリ、果ガ又因トナリ、因果關係ガ走馬燈ノ廻グルガ如ク循環ヲサレテ參リマスル間ニ、矛盾ガ更ニ矛盾ヲ重ネ、撞著ハ更ニ撞著ヲ重ネ、相剋ハ更ニ相剋ヲ加ヘルト云フコトニナッテ參リマシタナラバ、循環途上ニ於キマシテ如何ナル羽目ガ生ズルヤト云フコトニ付テ憂慮少クナイモノガアルノデアリマス、之ヲ具體的ニ二三ノコトヲ申シマシテ御參考ニ供シマスレバ、先ヅ第一ニ金ノ現送、金保有ノ問題デアリマス、大藏大臣ハ之ニ對サレマシテ、毎年金ノ産額ガ一億二三千萬圓モアルノデアリマスカラ、其ノ範圍内ニ於テノ金ノ現送、例ヘバ先般實施シタ所ノ、五千四百萬圓ト記憶シテ居リマスガ、五千四百萬圓ノ金ヲ三回ニ互テ送り出シタ、先ヅ當分ハ是デ形勢ノ推移ヲ見テ居ラウ、兎ニ角モ産金額ノ範圍内ニ於テノ金ノ輸送デアラナラバ、在外爲替ノ「シリリング」ニ「ペン」ノ建値ヲ維持スル

コトモ出来、又日本銀行ノ正貨準備ノ上ニ於テモ何等ノ支障ヲ來スコトハナイノデアアル、斯様ナ御説明ヲ承ッテ見マス、ト云フ、誠ニ是ハサウナラ、ソナニ心配スル迄ノコトハナイト斯ウ當初ハ思フノデアリマス、又公債ノ消化ニ付キマシテハ、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、公債ノ消化ニ付テハ、公債ノ價值ガ下ガラスヤウニシテ置カナケレバナライ、モット深ク言ヘバ、國家財政ノ信賴ト云フコトニ歸著スルノダ、金融機關ノ投資機關ガ當ニ利廻ノ算盤ヲ彈カナイデ、成ル程今日ノ時局ニ於テハ、是ダケノ國トシテハ歳出ヲ要スルデアアルンダラウ、是ダケノ公債ハ出サズニ居ラレマイ、公債ヲ持ッテモ別ニ不安全デナイ以上ハ、多少ノ利廻ハ國ノ爲ニ忍ンデ、サウシテ之ヲ保有スルヤウニシヨウト云フヤウナ、國ニ對シマス所ノ奉公ノ考ヲ持ッテ貫クナラバ、日本ノ經濟力ニ於テ今少シ多クノ公債ノ消化モ出来ルデアラウト思フ、又富ノ蓄積モ年々増加シテ行クシ、産業ガ繁榮ニナレバ、一時ハ其ノ方ニ金ガ取ラレルケレドモ、利潤サハ上ッテ來レバ、其ノ利潤ハ銀行ニ收納サレテ來テ、公債保有ノ力ガ附イテ來ルノデアアルカラ、是ノ循環ガウマク參レバ、マダノ日本ノ經濟力ハモット大キナ公債ヲコナスコトガ出来ルト思フ、而モ其ノ消化ノ強マッテ行クコトハ、毎年幾分ツツデモ増シテ行クノデアルト云フヤウナ御説明ヲ承リマス、ト云フ、公債消化ニ付テモソナニ心配スルコトハ要サヌヤウニ思ハレノデアリマス、又本議場ニ於テ大藏大臣ハ、國防ノ充實ト云フコトト、民間ノ經濟力ト云フモノハ車ノ兩輪ノ如キモノデアアル、デアアルカラ民間ノ産業ヲ發達、助成ヲシテ、サウシテ生産力ノ擴充ヲ圖ルト云フコトガ急務デアアル、是ガ爲ニハ金融機關ノ躍動ヲ切ニ望ム所デアルト云フコトヲ申

サレテ居ルノデアリマス、是モソレダケ伺ヘバ誠ニ御尤千萬デアリマシテ、厖大ナル所ノ此ノ陸軍費ノ中ニハ多クノ軍事上ノ、所謂軍需工業品ヲ含シテ居ルノデアリマスカラ、民間ノ生産力ノ擴充ガ急速ニ進展シテ參リマセヌケレバ、此ノ多分ノ豫算ヲコナスコトガ出来ナイ、ノミナラズ計畫サレタル所ノ軍器ニシロ、兵器ニシロ揃ハナイト云フコトニナリマス、國防充實ハナカノ完成ハ出来ナイト云フコトニナリマスカラ、成ル程國防ノ充實ニ對シテハ、民間ノ生産力ノ擴充ト云フコトハ車ノ兩輪、鳥ノ兩翼ノ如キモノデアルト云フ御説明ハ誠ニ御尤デアアルデアリマス、又ソレニ付テ生産力ノ擴充ヲ圖ラウト云フ御趣旨ニ於テモ誠ニ御同感デアアルデアリマス、併シソレハ其ノ問題ニ付テノミノ同感デアアルデアリマス、ト申シマスモノハ、皆様ニ斯様ナコトヲ申上ゲルコトハ釋迦ニ說法スルヤウナモノデ、自分ナガラカシク感ズルノデアリマスガ、併シ演述ノ順序トシテ申上ゲザルヲ得ヌノデアリマスカラ御許ヲ願ヒマスガ、民間ノ生産力ノ擴充ヲ圖ルト云フコトハ、詰リハ多クノ軍需品製作ヲシナケレバナライ、然ルニソレ等ノ軍需品ノ原料ハ皆外國ニ仰ガナケレバナラス、皆デモアリマスマイガ大部分外國ニ仰ガナケレバナライ、民間ノ生産力ノ擴充ヲ圖レバ圖ル程、原料ノ輸入ト云フモノハ激増シテ來ベキコトハ明白ナコトデアリマス、シテ見マスレバ、サラダニ國際勘定ガ借勘定ニナリツ、アル、ソレニ拍車ヲ掛ケルト云フコトニナリマスカラ、結局スルニ爲替相場ノ建値ト云フモノヲ維持スルコトガナカナ困難ニナッテ來マシテ、年産金額ノ範圍デ以テソレガ賄ヘルカドウカ、サレバト云ッテ建値ヲ維持セント欲セバ金ノ現送ヲモット多クシナケレバナライト云フコ

トニナル、又金ノ保有高ヲバ産金額ノ範圍内ニ留メテ置カウトスルノニハ、輸入ノ激増ヲ何トカシテ抑制シナケレバナライ、輸入管理令ト云フヤウナ法律ノ働キモアリマス、併シ大藏大臣ハ成ルベクサウ云フヤウナ官憲ノ力ヲ以テヤルヤウナコトハ、成ルベク致シタナイト云フコトヲ仰セニナッテ居ル、ガ輸入ノ管理令デモ敢行ヲシテ、サウシテ洪水ノ如ク入ッテ來ル所ノ、外國カラ來ル原料ヲ何トカ抑制デモシナケレバ、ナカノ此ノ建値ノ維持ト云フコトハムツカシクナル、サレバト云ッテ日本國ヲ空シウシテ金ヲ向フニ持出スト云フ譯デハ無論ナイノデアリマスカラ、生産力擴充ノ方ニ於テ少シク我慢ヲシテ貫フツ云フヤウナコトニセヌ限リニ於キマシテハ、ナカノ金ノ保有ノ上ニ於テモ、建値維持ト云フコトニ於テ困難ガ來ルト思フノデアリマス、政府ニ於テハ一體何處ニ力點ヲ置イテ居ラレノデアアルカ、何ハ捉措イテモ生産力ノ擴充ヲ圖ルト云フコトヲ第一義トセラレノデアアルカ、或ハ金ノ保有ト云フコトヲ第一義トセラレノデアアルカ、或ハ建値維持ト云フモノヲ第一義トセラレテ居ラレノデアアルカ、其ノ邊ノコトハ伺ヒマセヌデアリマシタガ、何レヲ第一義ト致シマシテモ、ソレガ爲ニ後ノ二ツト云フモノハ惡影響ヲ蒙ッテ來ルノデアリマシテ、コナラ立テレバアテラガ立タズ、アテラ立テレバコナラガ立タナイト云フ情景ニナルノデアリマス、一ツ一ツノ財政經濟政策ノ御説明ヲ承リマスレバ、眞ニ安心ガ出来マスケレドモ、包括致シマシタル國家財政ニ一齊ニ是ガ働クナサレノデアアルカ、此ノ因果關係ヲバドウ云フ風ニ離脱サレテ行カレルノデアアルカ、私ハ其ノ點ニ付テ了解ニ苦シムノデアリマス、先ヅ第一ニ在外爲替ノ「シリリング」

二「ベンス」ノ建値、之ヲ金科玉條ノ如ク支持シヨウト云フヤウナ御口吻ノ如クデアアルガ、抑、此ノ「シリリング」ニ「ベンス」ト云フ建値維持ノ率ガ、何處カラ割出サレテ來タノデアアルカ、思フニ私ハ確タル根據ガナイノデアアルマイカ、要スルニ一方ニ於テ公債ノ消化アリ、生産力ノ擴充モ圖ラネバナラス、物價ノ騰貴ヲ抑制シナケレバナライ、三方四目ヲ配ッテ、先ヅ此ノ邊ナラバ何トカ四方八方釣合ガ取レテ行クト云フ所ニ此ノ「シリリング」ニ「ベンス」ノ建値ヲ置カレタノデアアルカ、謂ハバ是ガ勘定コロデアアルノデアアルマイカト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、勘定コロデモ宜イ、此ノ勘定コロヲ永久不變ニ過チラ仕出カシマセヌデ、三方四方ニ大事ナ財政政策ガ蹟カズニ、破綻ヲ起サズニ、何トカ廻ッテ參リマスルナラバ、之ハソレデモ宜シイカ知レマセヌケレドモ、是ハ私ハ直ニ心強ク安心出來兼ネルノデアリマス、假リニ又此ノ勘定コロニ依リマシテ、三方四方ガソレノ相見合ッテ或程度ノ調和ガ執レルトシマシテモ、斯カル工合デアリマシタナラバ、何レノモノモ皆好良ナ成績ヲ擧ゲル譯ニ參ラヌダラウト思フノデアリマス、生産力擴充ノ方ニ於テモ聊カ歩減リヲセズ、又金ノ保有ノ上ニ於テモ聊カ我慢ヲシテ多ク出ストカ、或ハ又公債ノ消化ノ方ニ於テモ少シソレハ控目ニスルトカ、國防ノ充實ノ豫算ノ方ニ於テモソレハ後年度ニ不使用トシテ繰越ストカ何トカ致シマセヌケレバ收ラヌデアラウト思ヒマスガ、私ハ此ノ勘定コロハサウ永久ニ防止ハ出来ナイト思ヒマス、甚ダ卑近ノ例ヲ申上ゲテ相濟ミマセヌガ、民間ニアリマス曲藝ヲスル藝當デモ、謂ハバ七分三分ノ兼合ト云フ此ノ釣合ヲ、中心ヲ取ッタ藝當モ上手ノ手カラ水ガ漏リマシテ、ヤリ損ジルト云フコトガアルノデアリ

マス、私ハ此ノ矛盾セル相撞著シ合フ、此ノ各政策ヲ如何ニシテ調節サレ、何レノ政策ガソレノ使命ヲ達スルヤウニ動イテ行ケルモノデアルカドウカ、此ノ點ニ付テ非常ニ寒心ヲスル者デアリマス、結城藏相ニ切ニ望ミマス所ハ、アナタノ御持合ノ智慧ヲ傾キ盡サレマシテ、財政ノ前途ニ雲ノ影ヲ見マセヌヤウナ明朗ナ確實味ノアルシカトシテ財政政策ヲ御樹立ヲ願ハザルヲ得ヌト思フデアリマス、ドウカ一面ニ於キマシテハ、此ノ龐大ナル所ノ豫算ガ圓滑ニコナサレテ参リマシテ、サウシテ國防充實ノ大使命ニ副フヤウニ、遂行ガ出來マスヤウニ、他面ニ於キマシテハ、國家ノ財政ノ前途ガ行詰リニナリマセヌヤウニ、切ニ此點ニ付キマシテハ、政府ノ猛省ヲ請フ所以デアリマス、之デ私ノ贊成要旨ヲ終リマス

〔拍手スル者アリ〕

〔竹越與三郎君演壇ニ登ル〕

○竹越與三郎君 我ハ豫算委員長ノ報告ヲ支持スル者デアリマス、但シ批評ガナイデハナイ、又削除ヲ試ミタイト思フコトガナカッタデモナイ、又頗ル疑ヲ懷ク點ガナイデモナカッタノデスガ、現内閣成立ノ事情ニ鑑ミマシテ、修正批評ヲスル時機デナイト云フコトデ、之ニ贊成致スノデアリマス、定メテ現内閣ノ方々モ、私ト同感デアラウト思フト云フノハ、此ノ豫算ハ前内閣ノ豫算ヲ一夜濱ニ御直シニナッタモノデアル、定メテ平常ノ抱負トカ經綸トカ云フモノヲ顧ミル暇ナク、唯議會ニ間ニ合セル爲ニ御拵ヘニナッタモノデアラウト思フ、而シテソレニ付テ責任ヲ取ラレルコトハ、誠ニ御氣ノ毒ト思フノデアル、第一、前内閣ノ豫算ハ準戰時豫算ト云フヤウナコトヲ言ハレタ、準戰時トハ何デアルカ、戰爭ヲセムトスル豫算ト云フコトデアル、何處ノ國ニ斯カル豫

算ヲ唱ヘル人ガアルカ、如何ナル國デモ開戰ノ前夜迄ハ平和ニ寢タトシ、平和ヲ求メ平和ヲ唱ヘナケレバナラナイ、然ルニ準戰時豫算ト云フヤウナ文字ヲ掲ゲ、鉦ヲ太鼓ノ國民ヲ煽テ上ゲオウトスル、我が國民ハ左様ナ幼稚ナ國民デハナイ、或國々ノヤウニ威シタリ賤シタリシナケレバ、國家ノ情態ガ分ラヌト云フヤウナ低級ナ國民デハナイ、我が國情ハ能ク分ッテ居ル、國家ガ已ムヲ得ズンバ増税ニ甘シズルト云フ覺悟ハ持ッテ居ルノデアル、然ルニ斯カル兒戲ニ類シタル標榜ヲ掲ゲテ出來上ツタノガ前内閣ノ豫算デアル、之ニ付テ只今ノ政府ハ定メテ急場ニ御直シニナルノ御苦心ガアッタラウト思フ、其ノ御苦心ヲ察シテ私ハ贊成ヲスルノデアリマス、但シ我々ハ批評ナシニハ贊成シタノデハナイ、或軍事ニ精通シタ人ノ説ニ依レバ、今日ノ軍事豫算ハ結局ハ出サネバナラヌガ、併シ急イデ出サヌデモ、今年ハ先ヅ六七千萬圓差控ヘテモ出來ルコトデアラウト云フ説モアル、併シ是ハ私ハ素人デアアルカラ分ラヌ、又繰延カラ言ヘバ昭和八年ニハ陸軍ニ於テ千五百萬、海軍ニ於テ百九十萬、昭和九年ニハ陸軍ニ於テ千九百萬、昭和十一年ニハ二千萬ノ繰延ガアル、是ハ工業能力ガ計畫ニ應ジナイカラ、自然ニ剩リタノデアリマス、此ノ大豫算ヲ呑込ムダケノ工業能力ハ日本ニアルト云フコトナラバ誠ニ仕合セデアルガ、恐ラクハアルマイト思フ、今、前田子爵ノ言ハレタ如ク、此ノ豫算ヲ消化スル爲ニ工業能力ヲ急速ニ擴張シタナラバ、輸出輸入ノ危變ガ來ル、之ヲ擴張シナケレバナラヌノデアアルカラ是非シタイノデアアルガ、恐ラクハ工業能力ノ擴張ハ、サウ急速ニ行クモノデナイト思フ、工業能力ノ最モ基本ナルモノハ鐵デアル、今日ハ鐵鐵鐵ト云ッテ居ル、鐵ガ教倍ノ値ガ出テ、鐵ヲ買フコトハ出來ナ

イ、恐ラクハ是ハ商工省ノ管轄デセウガ、石油ヲ石油會社ニ貯藏サセル義務ヲ命ジテアル、ソレハ大キナ「タンク」ヲ以テ貯ヘネバナラス、其ノ「タンク」ヲ拵ヘル鐵ガ今日無イノデ、石油貯藏ノ義務ヲ果スコトハ出來ヌト云フ狀態デアル、又小サイ事ヲ言ヘバ此ノ鑄物工場ノアル所ノ川口ノ町ハ、溝板ニ嵌メテアル所ノ鑄鐵ヲ外シテ、材料トシテ尙足ラナイデ、ドウカシテ鐵ヲ得タイト云フコトデ騒イデ居ル、是亦意外ノ變デモ何デモナイ、我が國ニ於テ昭和九年度ニ消費セラレタル鐵鐵ト屑鐵ハ四百七十五萬噸デアアル、然ルニ之ニ對シテ内地滿洲ニ於テ產出シタル鐵鐵ト屑鐵ハ三百一十一萬噸ニ過ギス、故ニ不足ハ百六十四萬噸デアアル、是ハ皆外國カラ屑鐵ヲ輸入シテ居ル、爾後毎年足リナイ、今年ノ推測ハ定メテ二百二十二萬噸ノ不足ニナルデアラウト云フ統計デアリマス、斯カル不足ハ現實ニ統計表ニ現レテ居ル時、政府ノ官吏ハ何ト云フカト言ヘバ、鐵ノ鐵鐵ハ思惑カラ來テ居ル、思惑カラト云フコトハ定メテ値ガ騰ルコトノ原因ヲ言フモノデアラウガ、現ニ二百二十餘萬噸足リナイノデアアル、屑鐵ハ何處カラ來ルカト云ヘバ、多ク「アメリカ」デアアル、此ノ「アメリカ」ハ「イギリス」ニ今賣ッテ居ッテ、日本ニハ賣ルコトノ出來ナイ狀態デアアル、若シ或國ガ日本ノ軍備擴張ヲ氣ニ病ンデ屑鐵ノ輸出ヲ禁止セザルモ、手心ヲスレバ、全ク屑鐵ハ來ナクナルノデアアル、故ニ我々ノ必要トスル所ノ鐵ハ鐵鐵ヲ造ルコトニアアル、此ノ鐵鐵ニ全力ヲ盡サネバナラヌノデアアルガ、政府ハ今迄ドウシタカト云フト、斯クノ如ク軍備ヲ擴張スル計畫ヲ持チナガラ、鉄鐵ノ製造ヲ邪魔シテ居ッタノデアアル、或會社ハ鑄鐵爐ノ新設ヲ願ヒ出タナラバ、十ハ箇月間調査ト稱シテ之ヲ許サナカッタ、而シテ政黨大臣ガ出テ初メテ之ヲ許シタ、鑄

鐵爐ハ拵ヘテ二年、二年目ニ初メテ鐵ガ出ルノデアアルガ、此ノ十八箇月ト云フコトヲ、モット早ク許シテ居ッタナラバ、鐵ハモット出テ居ル、今、政府ハ朝鮮ノ茂山ニ於テ鐵ヲ出スト云ッテ居ラレルガ、誠ニ結構デ、サウシナケレバナラヌノデアアル、此ノ茂山ノ鐵ガ何時出ルカト云フト昭和十七年デナケレバ出ナイ、現在我々ハ二百二十餘萬噸ノ不足ヲ持ッテ居ッテ、是カラ造ルコトハ勿論宜シイノデアアルガ、此ノ不足ヲ以テ、鐵ヲ基礎トスル軍備ガドノ位擴張ガ出來ルカト云フコトヲ私ハ頗ル疑フノデアリマス、私ハ誠ニ素人デアアッテ分リマセヌガ、外國ノ本デ讀ンダ所ニ依ルト、歐洲大戰ノ時「イーブル」ノ戰線ダケデ三箇月間ニ射出シタ大砲ノ高ガ、十一萬噸、彈ダケデ射ッテ居リマス、三箇月間デ、歐洲全線ニ互ッテ定メシ數百萬噸ノ鐵ガ土ノ中ニ打込ンデアルダラウト思フ、鐵ナクシテ戰爭ハ出來ナイ、鐵ナクシテ軍備擴張ハ出來ナイノデアアル、故ニ今日ノ軍備擴張ハ本筋ヲ言ヘバ先ヅ鐵ノ產出ヲ促シ、屑鐵ノ輸入ニ仰ガズ、足リナカッタナラバ滿洲、朝鮮ニ於ケル貧鐵ノ處理マデ手續ヲシテ、而シテ此ノ準備ノ上ニ軍備擴張ヲシナケレバナラナカッタノデアラウト思フノデアリマス、併シ今日之ヲ言ッテモ仕方ガナイノデアアルガ、先ヅ是デヤッテ戴クノ外ハナイ、唯私ガ果シテ是ダケノ金デ、陸海軍ノ希望セラル、目的程ノ品物ガ出來ルヤ否ヤヲ疑フノデアアル、ト云フコトハ鐵鐵鐵デ物價ガ騰ル、其ノ物價ハ總テノモノニ波及シテ來ル、是ガ豫算執行ノ上ニ於テ非常ナ困難デアルト思フ、故ニ私ハ疑ナシニ此ノ豫算ヲ協賛シタノデハナイガ、唯此ノ上ハドウゾ先ヅ宜シクヤッテ御覽下サイ、成ルベク所期ノ目的ヲ達スルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト云フノ外ハナイノデアリマス、今日ニ於テ斯クノ如キ鐵ノ不

足ヲ來シタコトハ、我が工業家ガ力ガ足リナカッタカラト云フコトモ原因デアルガ、政府ガ怠慢ニシテ需要供給ノ現在ガ分ラズ、唯机上ノ空論カラ官吏ノ鞭一本デ工業ヲ統制シヤウトシタト云フコトガ原因デアルカラ、商工大臣ハ宜シク其ノ部下ニ小兒病ノ統制經濟ナント云フコトヲ止メサシテ、ドノノ鐵ヲ自由ニ造ラセルコトヲ御命令ニナルコトヲ希望致シマス、序ナガラ私ハ陸軍ニ御願ヒガアリマス、我々ハ此ノ豫算ヲ協賛スルニ付テハ、此ノ豫算ニ依ッテドウ云フモノガ出來ルノカ知リタイト云フ希望ガアツテ質問スル人モアルガ、其ノ質問タルヤ内容ト云フ程ノコトデハナク殆ド外貌デス、其ノ外貌サヘ知リタイノデアアルガ、ソレヲ知ルコトガ出來ナイ、是ハ軍事上ノ機密ト云フコトデアアル、御尤モノコトデアアル、機密ヲ維持シタイト云フコトハ御尤モノコトデアアル、併シナガラドウモ陸軍ハ機密ガ多クハナイカト思フ、我々ハ梅津何應欽協約ト云フモノハ、ドウ云フモノカサヘモ知ルコトガ出來ナイ、滿洲ニ付テ書クコトモ自由デナイヤウニ思ハレルシ、言フコトモ自由デナイヤウニ思ハレル、是ハ定メシ色々ノ御都合ガアルコトデアラウガ、併シ批評ノナイ所ニ進歩ガナイ、進歩ノナイ所ニ停滯ガアル、軍事ニ於テハ停滯ト云フコトハ即チ他國ニ比シテ退歩デアアル、是ハ餘程注意シナケレバナラスコトデアルト思フ、今日ハ誰モ我が軍隊ノ忠勇無雙ヲ疑フ者ハナイガ、併シ今日ハ歐洲列國競ウテ軍隊ヲ機械化、科學化ト云フコトニ全力ヲ盡シテ居ル、「タンク」ノ普通ノ力デナク一人「タンク」ヲ理想トスル時代ニナッテ來テ居ル、此ノ時ニアツテ定メシ我々ノ信頼スル陸軍ハ科學化、理學化ヲ努メテ居ラレテ、完全ニ行ッテ居ララウ、此ノ上トモ此ノ事ニ付テ全力ヲ盡シテ戴キタイ、フ

ンス「ガ」プロシヤ「ト」戰フ時、軍器ハ宜イカト云フ議論ガ出タラバ、軍器ハ「ナボレオン」三世自ラ造ッタ皇帝砲ト云フモノガアル、之ヲ一發スレバ「プロシヤ」兵ハ禽獸散スト云フコトデアアル、皆喜ンデ然ラバト云フノデ「ベルリン」ヘ「ベルリン」ヘト皆叫ンダノデアアル、其ノ結果ヲ見レバ軍器ハ意外ニ劣弱デアッタ、我々ハ歴史ニ鑑ミテ陸軍ガ全能ヲ盡シ、精魂ヲ盡シテ此ノ科學化ト機械化ニ努メテ戴キタイト思フノデアアリマス、我々ガ初メテ「ロシヤ」ト南山デ出會シタ時ハ可ナリ苦シクノデアアル、歐洲ニ於テハ爾後非常ニ變遷ガ來テ居ル、是ハ我々素人サヘモ分ルノデアアルカラ、定メテ當局ハ御苦心デアラウト思ヒマス、ドウカ其ノ苦心ヲ救フノニ全能、全力ヲ盡シテ戴キタイ、之ニ力ヲ盡セバ是レ日モ足リナイ筈デアアル、電力國營ニ軍人ガ尻押ヲスルトカ、統制經濟ヲ立テ、經濟機構ヲ直スナント云フコトヲ言ッテ居ル暇ガナイ筈デアアル、サウ云フコトハ一切「シヴィル」ノ人ニ任セテ、軍人ハドウカ全國民ガ希望ヲ集メテ居ル、其ノ希望ヲ達スルヤウニ機械化ト科學化ニ盡力セラレルヤウニ、陸軍大臣ハ御誘導ナサラムコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（公爵近衛文磨君） 安保男爵

（男爵安保清種君演壇ニ登ル）

○男爵安保清種君 我々只今議題ニナッテ居リマス此ノ總豫算案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、此ノ總豫算案ハ誠ニ空前ノ龐大豫算デアリ、又劃期的ノ増稅計畫ヲ含ンデ居リマスノデアアツテ、其ノ内容ノ一ツ々ニ付キマシテハソレノ議論、論議サルベキ點ガ多クアルト思ハレルノデアリマスルケレドモ、現下ニ於キマシテ此ノ國際情勢ヤ、又我が國ニ於キマシテノ實情ヲ考查致シマスレバ我々國民ハ何ト致シマシテモ舉國總掛リデ以テ所謂軍民一致、朝野協力、

我が國ノ直面シテ居リマスル所ノ此ノ時難ヲ克服シテ行カケレバナラナイノデアアリマス、思フニ此ノ病人ヲ收容治療シマスル爲ニ、病院ノ必要デアリマスルコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、ソレヨリモ其ノ病氣ノ起ラナイヤウニ衛生ノ設備ヲ致シマスト云フコトガ、國家社會ニ取ッテ更ニ重要デアリマスルト同様ニ、國防ニ於キマシテモ國家萬一ノ場合ニ御役ニ立タナケレバナラスコトハ申スニ及ビマセスト同時ニ、充實サレタ軍備ノ所謂「サイレント・ブレッシア」、不言ノ威力ニ物ヲ言ハセテ、平和ノ中ニ我が國家國民ノ繁榮、發展ヲ招來スルト云フコトガ何ヨリモ大切デアアルノデアリマシテ、本格的ノ國防充實ト云フコトモ、蓋シ其ノ本旨ハ此處ニアルト考ヘルノデアリマス、即チ我々ハ此ノ豫算案ヲ成立致サセマシテ、最モ有意義ニ之ヲ實行シテ、我が國家ノ繁榮、生存、發展ニ資セナケレバナラナイト云フ立場ニアルト信ズルノデアリマス、サウシテ此ノ大豫算ガ成立實行ト云フコトニ相成リマスレバ、國民ノ負擔ガ非常ニ増加スルコトハ申スニ及バズ、國防ノ充實又産業ノ開發、増進、其ノ他有ラユ施設ヤ作業ノ上ニ、此ノ國民ノ、國民全體ノ非常ナル努力、所謂舉國一致ノ努力ヲ必要ト致シマスノデアアリマス、申ス迄モナク國民ノ一致團結ノ力ハ強ケレバ強イダケ國家社會ハ其ノ大ヲ成スノデアリマシテ、能ク申シマスル五指交々彈カハ一拳ニ如カズ、五本ノ指ガ一ツノ働キヲ致スヨリ、之ヲ打ッテ一丸トシタ鐵拳、其ノ鐵拳ノ非常ナル威力發揮ヲ要求シテ居ルノガ、今日ノ日本ノ實情デアルト思フノデアリマス、今此ノ國家非常時ニ際シマシテ、此ノ時艱ヲ、國難ト申シマスヨリ時艱ト申シタ方宜イト思ヒマスルガ、是ハ一體誰ガ救フノデアリマスルカ、是ハ國民銘々ガ相寄ッテ救ハナケ

レバナラナイノデアリマス、即チ國民銘々ハ我が國ノ今日ノ實情ヲ能ク吞ミ込ンデ、サウシテ其ノ立場々々ニ在ッテ、官吏ハ官吏、軍人ハ軍人、會社員ハ會社員、又商人ハ商人、實業從業員ハ從業員、婦人ハ婦人ト云フヤウニ、ソレノ銘々自分ノ立場々々ニ在ッテ最善ヲ盡シ、以テ國家ニ奉仕シ、國家ヲ救ハナケレバナラナイノデアリマス、要スルニ國家ハ國民、此ノ自分ガ支ヘテ居ル、斯ウ云フ自覺ヲ國民全體ガ持ッテ居ラレルコトガ切要デアリマシテ、一人々々是レ皆國家ノ柱デアリマス、從ッテ非常時日本ヲ救フト云フモノハ此ノ自分ノ力デアアル、斯ウ云フ大自覺ヲ國民全體ガ持ッテ居ラレルコトガ、何ヨリモ大切デアアルノデアリマシテ、此ノ國民銘々ノ大自覺ト云フ事柄ガ、實ハ舉國一致團結ノ基調デアリ、又國ヲ救フ本當ノ原動力デアアルノデアリマス、斯様ニシテ出來上リマシタ此ノ國民ノ偉大ナル團結ノ力コソ、取リモ直サズ國防其ノモノデアリマシテ、意義ノ有ル本當ノ國防ト云フノハ即チ是デアルト思フノデアリマス、戰爭ガ起ルトカ或ハ起ラナイトカ云フコトハ、別ノ問題ト致シマシテ、此ノ眞ノ國防ガアリサヘ致シマシタナラバ、今日ノ我が國ノ時艱ト云フモノハ、必ズヤ救ハレルノデアリマシテ、前途ノ光明ハ自ラ輝キ到ルト思フノデアリマス、此ノ點ハ政府當局ニ於テ十分留意ラサル必要ガアリ、又留意ヲサレテ居ラレルコトト考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ私ハ軍民一致、朝野協力、有ラユ苦痛ヲ忍ビ、困難ヲ克服シテ、此ノ大豫算ヲ有意義ニ實行致シ、サウシテ我が國ノ國防ノ安固ト國家ノ隆昌發展ニ邁進スルノガ、我が國現下ノ急務ト確信ヲ致ス者デアリマス、以上ノ趣旨ニ依リマシテ、私ハ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス（拍手）

○議長（公爵近衛文磨君） 一條公爵

(公爵一條實孝君演壇ニ登ル)

○公爵一條實孝君 本員も亦本豫算案各案ノ成立ニ賛意ヲ表スル者デアリマス、本豫算ハ御承知ノ如ク、實ニ我が國未曾有ノ龐大豫算デアリマシテ、其ノ一部ヲ租税ノ増徴ニ依リ、其ノ一部ヲ赤字公債ニ依リマシテ、辛ウジテ其ノ支出ヲ賄フモノデアリマス、從ツテ各方面ニ對シ隨分無理ガ出來テ居ルノデアリマス、即チ從來ヨリシテ其ノ生活ニ惠マレザル者ハ、一層其ノ困難ヲ加ヘ、又負擔ヲ分擔致シテ居リマスル者モ愈々負擔ノ増加ニ苦シミ、國民一般困難ヲ感ズルノデアリマス、併シナガラ國家ノ非常時ニ對應シ、帝國ノ立場ヲ保チマスル爲ニハ、本豫算ハ絕對ノ必要デアリマス、就中豫算ノ約半分ヲ占メマスル所ノ陸海軍豫算ハ、眞ニ必要缺クベカラザルモノデアリマシテ、苟モ帝國臣民トシテ生ヲ享ケタル者ハ、諒解致シテ居ル管ト存ズルノデアリマス、從ツテ其ノ他ノ緊要ナル諸經費、例ヘバ地方財政補助金ノ如キ、或限度ニ留ムルノ已ムナキモノデアリマス、或ハ幾多ノ大衆課税モ、是モ忍バネバナラスノデアリマス、以上ノ實情ニ鑑ミマシテ、本員ハ茲ニ政府ニ對シマシテ、本豫算ノ實施ニ當リマシテハ、苟モ冗費ニ涉ルガ如キ使途ヲ慎ミ、眞ニ適切有效ナル使用ヲ望ムト同時ニ、徵稅等ニ當リマシテハ、所謂苛斂誅求ノ譏リヲ受ケザルヤウ、至誠奉公、其ノ本分ヲ竭サレムコトヲ望ム次第デアリマス、凡ソ權力ノ地位ニ在ル者ハ動モスレバ其ノ權力ヲ濫用シ、爲ニ忠良ナル臣民ニ怨嗟ノ聲ヲ放タシムル場合ガアルノデアリマシテ、其ノ例ハ尠クナイト存ズルノデアリマス、本豫算ノ實施ニ當リマシテハ、官吏ハ率先シテ自肅自省ノ範ヲ示シ、上御一人ノ思召……、奉公ノ任ニ當ルノ實ヲ舉ゲラレムコトヲ望ムデ已マナイ者デアリマス、又臣民ノ立場ト

致シマシテハ、此ノ非常時局克服ノ責任ヲ分擔シ、忍ビ難キヲ忍ビ、以テ官民一致、奉公ノ誠ヲ竭シ、上聖慮ヲ安シ奉リ、外ハ諸外國ニ對シ、皇國ノ光輝ヲ發揚シ、帝國ノ眞ノ姿ヲ示スコトニ努力セネバナラスト存ズルノデアリマス、斯クノ如クニ致シマスレバ、現下帝國ニ對スル列國ノ誤解ハ一掃セラレ、總テハ眞ニ我が帝國ヲ認識敬慕スルニ至リマセウ、國際親善、福祉ノ増進、期シテ待ツベキデアルト存ズルノデアリマス、以上ノ見地ヨリシテ本員ハ、本豫算各案ノ成立ニ賛意ヲ表スル者デアリマス(拍手)

○議長(公爵近衛文麿君) 大河内子爵

(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)

○子爵大河内輝耕君 委員長ノ詳細ナル御報告並ニ皆様ノ熱誠ナル賛成ノ御趣旨ヲ伺ヒマシテ、決シテ私ハ其ノ補足ヲスルコトモ何モ必要ハナイ、アノ通りデゴザイマス、併シサウ云フ補足トカ何トカ云フ意味デハゴザイマセウガ、豫算委員會ノ中ニ於キマシテ、私ハ甚ダ喜ブベキ事實ヲ發見致シマシタ、此ノコトヲ此處ニ述ベマシテ贊成ノ趣旨ニ代ヘタイト存ジマス、即チソレハ澤山ゴザイマス、澤山ゴザイマスガ、最モ喜ブベキ事ノ一ツトシテハ林内閣ガ全力ヲ舉ゲテ此ノ國際關係ノ打開ニ努力シヨウ、斯ウ言明サレタ一事デアリマス、サウシテ段段國際情勢ノ認識ニ付テ伺ッテ見マスルト、我々ノ心配ハ漸次解ケテ來タ、即チ日本ハドウ云フ態度カ、申ス迄モナク各方面カラ伺ッテ見マス、不脅威不侵略、此ノ方法ヲ行クノダト云フコトガ、軍部當局ノミナラズ總テノ方カラ明言サレタ、ソレデヤ外國ハドウカ、外國ノ情勢ヲ伺ッテ見マス、是ハ此處デハ具體的ニ申サレマセウガ、外國ト雖モ決シテ日本ニ好シンデ挑戰スルモノハナイ、日本ガ相當ノ力ヲ備ヘ、相當ナ方式ヲ以テ出ルナラバ、外國ガ決シテ好シンデ日

本ニ挑戰スルモノハナイト云フ狀態モ判明致シマシタ、尙次ニ喜ブベキコトハ外交ノ刷新、殊ニ其ノ一元化デアリマス、今日斯様ニ國際關係ガ惡クナッタノハ何カ、其ノ一ツノ原因ハ支那外交ノ多元デアアル、即チ外務當局ヲシテ思フ存分手腕ヲ振ヘセナカッタト云フコトガ、支那ニ於テ振ヘセナカッタ云フコトガ、今日此ノ狀態ヲ招來シテシマッタ、現内閣ハ此ノコトニ氣付カレテ、併シ實際ノ事情ガアルカラ急ニハ行カナイ、急ニハ行カナイガ、漸次此ノ打開ハ試ミテ行カウト云フ決心ヲ表明サレタ、斯ウ云フ狀態デ行ケバ此ノ所謂暗黒ナ國際情勢モ日ナラズシテ明朗ニナツテ來ヨウト存ジマス、是ハ外務大臣ガ仰シヤッタカ何カ存ジマセウガ、仰シヤッタモノデナイト存ジマスガ、世間誤リ傳ヘテ居ル所ニ依レバ、外務大臣ハ、軍部ノ力ナシゾガナクテモ、此ノ情勢ハ必ズ打開ガ出來ルト言ハレタ誤リ傳ヘテ居リマス、誤リ傳ヘテ居リマスガ、私ハ此ノ位ノ意氣込ナル所ノ外務大臣ガナケレバ、此ノ今日ノ國際間ノ暗雲ハ拂ヒ切れルモノデナイト思フ、ドウカサウ云フ意氣込デ以テ、外務大臣閣下ニ於テハ今後ノ外交ニ當ラレムコトヲ希望致シマス、尙ソレノミナラズ、此ノ豫算ノ施行ニ付キマシテハ、幾多ノ難問ノアルト云フコトハ度々繰返シ繰返シ主張サレマシタ、ソレデドウスルカト云フ、詰リ根本ノ所ハ外交ノ打開、國際關係ノ整備、從ツテソレヨリ生ジテ來ル所ノ軍備ノ縮小、縮小ト云フ言葉ガ惡イガ、餘リ軍備ヲ急遽ニ増サナイ、詰リ國力ニ相應シテ軍備ヲヤツテ行クト云フコトニ歸シテ來ヨウト思フ、一體増稅ガアリマス時ニ國民ハ何ト思フ、成ルホド火事ガアル時ニハ消サナケレバナラス、併シ火事ハ自分ガ起シタ火事デナイ、何處カ何ダカラナイモノガ來テ火事ヲ起シテ、我々國民ハ何

等責任ナキニ拘ラズ、三億ノ増稅ヲ負擔シテ、此ノ火事ヲ消サナケレバナラス、誠ニ其ノ必要デアルト云フコトハ、是ハ今日自覺シテ居リマスガ其ノ必要ノ原因ニ至ッテハ承服スルコトハ出來ス、又今後之ヲ如何ニシテ拂ハレデシマフドラウカ、折角三億ノ増稅ハシタガ、又何處カラ火事ガ來テ滅茶滅茶ナコトニナツデシマヒヤシナイカ、シマヒヤシナイカデヤナイ、サウナツテシマフノダトマデ言ツテ居ル、コンナヤケ氣分モアル、此ノコトモ私ハ當局ニ對シテヨク意見ヲ述べタ、當局モヨク此ノ點ハ諒察サレテ、國際關係ヲ打開スルナリ、其ノ他有ラユル方法ヲ執ツテ、サウシテ此ノ増稅ヲ快ク國民ガ負擔ヲシテ行クヤウニ、此ノ増稅ハ主トシテ理想トシテハ國利民福ノ増進ニ使ハレバ將來モツテ行カウ、若シ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居ラレルト云フコトモ判明致シマシタ、マダ澤山ゴザイマス、是等質問應答ニ依ツテ得タル事項ハ、誠ニ國家ノ爲ニ喜ブベキコトト私ハ考ヘ、私ハ此ノ際ニ林内閣ノ健在ヲ祈リ、且今聲明サレタヤウナ政策ガ著々具體的ニ行ハレルトコトヲ希望シテ此ノ壇ヲ降りマス

○議長(公爵近衛文麿君) 是ニテ討論ヲ終リマス、御異議ガナケレバ、以上五案ヲ一括シテ採決ヲ致シマス、五案全部ヲ問題ニ供シマス、五案全部ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(議員起立)
○議長(公爵近衛文麿君) 全會一致ト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第六、昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第七、昭和七年法律第一號中改正法律案、日程第八、昭和

七年法律第十二號中改正法律案、日程第九、日本銀行條例中改正法律案、日程第十、日本銀行參與會法廢止法律案、日程第十一、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、日程第十二、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ七案ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、委員長、小村侯爵

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第一號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第十二號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

日本銀行條例中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

日本銀行參與會法廢止法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十七日
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

貴族院議長公爵近衛文麿殿
委員長 侯爵小村 捷治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

既ニ大藏大臣ヨリ本議場ニ於テ御説明ガゴザリマシタノデ、此ノ際ハ省略サセテ戴キマス、直ニ委員會ノ審議ノ情況ニ付テ申上ゲルコトニ致シマス、委員會ハ二十五、二十六、二十七、ノ三日間ニ互リ會議ヲ開キマシテ、慎重審議ノ結果可決致シマシタルデゴザイマスルガ、先ツ各法案ニ付テ其ノ質疑應答ノ極ク概略ダケヲ申述ベタイト存ジマス、先ツ七億五千萬圓餘ニ上リマスル赤字公債關係ノ二法案ニ付キマシテハ、既ニ増税モ行ハレムトシテ居ルガ、同時ニ赤字公債何時マデ賄ッテ行クノカ、現下ノ情勢ヨリ見テ、是モ已ムヲ得ナイガ、前途ノ收支ノ均衡ヲ目標トシテ、根本的ノ財政計畫ヲ次年度カラハ立テテ貫ヒタイ、其ノ計畫ハ如何ト云フ委員ヨリノ熱心ナル質疑ニ對シマシテ、大藏大臣ヨリハ増税ニ依ルカ、赤字公債ニ依ルカノ問題ニ付テ、自分ノ意見トシテハ、出來ルダケ普通ノ歲入ヲ賄ッテ行キタイ、但シ目今ノ國際情勢上ヨリ、軍備ノ充實ハ已ムヲ得ヌ所デ、既ニ前內閣ハ、其ノ財政計畫ニ依リ財界ニ相當ナ衝動ヲ與ヘタ、其ノ後幸ニ財界ノ情勢ハ落付イテ來テ、今日殆ド不安ハナイ、サリトテ來年度カラ豫算ガ減ルト云フ見込モ付カナイガ、財界ノ趨勢ニシテ順調ナラバ、年々十億圓位ノ公債發行ハ、サシテ困難デモアルマイ、併シ赤字財政ニ依ル歲出ノ膨脹ハ、出來得ル限リ阻止セネバナラスガ、是ニハ國際關係ノ好轉ヲ期セネバナラス、日本トシテハ他國ニ比シテ、國力カラ見テ多過ギルト云フ程ノコトハナイ、公債ハ能ク消化サレテ居ル、更ニ減債基金其ノ他ノ方法ヲ講ズレバ、公債ノ信用モ高マッテ行クコトデアラウ、此ノ邊ハ運用ノ如何ニ依ッテ散布サレタ國庫金ヲ工合好ク吸ヒ上ゲテ行クト共ニ、國民ノ貯蓄心ヲ涵養シテ、經濟

界ヲ培ヒ育テ上ゲテ行クコトヲ心掛ケレバ、有ラユル金融機關モソレノ公ケノ一個ノ機關ヲ經營シテ居ル一員ダト云フ觀念ヲ懷クヤウニナリ、少シ位算盤ニ合ハナイ場合ニモ公債ヲ持ツヤウニナッテ來ルト思フ、公債市價ノ維持ニハ十分努力スル、税制モ來年度マデニハ確立シタイ旨ノ懇切ナル答辯ガゴザイマシタ、次ニ日本銀行條例改正、即チ從來ノ參與會ヲ廢シテ、新クニ參與理事ヲ設ケル、此ノ二ツノ法案ニ關シマシテハ、參與理事ノ設置ノ意義、其ノ權能乃至ハ弊害ノ有無等ニ付テノ質疑ニ對シ、從來ノ參與會ハ諮問機關ニ過ギズ、十分ナル效果ヲ舉ゲ得ナカッタガ、參與理事トスレバ、日本銀行ノ業務ニモ或程度ノ責任ヲ有ツコトニナリ、日銀ノ理事會ニモ緊張味ヲ與ヘルコトニナル、又特殊銀行ノ首腦者乃至金融界以外ノ實業家中ヨリモ練達堪能ノ士ヲ加ヘル爲メ、各種金融機關其ノ他外部トノ連絡協調ニ便利トナリ、株主總會ガ選舉スル關係上、必ズシモ正副總裁ノ方針ニ盲從スル必要ハナイ、又參與理事ハ政策ニ參與シテ業務ニハ與ラス、但シ金融、通貨、公債爲替等ノ政策ノ實行方法ニハ參畫スルコトモアル、日銀ノ秘密事項ニ付テハ金利政策等ノ意見ヲ徵セラル、コトハアルガ、決定ハ總裁ト内部理事トノ合議ニ依リ、成立シテ決定發表ト云フ順序ヲ取ルノデ心配ハアルマイ、且其ノ地位ヲ利用シテ特殊銀行首腦者等ガ參與理事トナッテモ、弊害ノ起ルコトハ避ケタイトノ答辯ガ、是亦大藏大臣ヨリ行ハレマシタ、次ニ昭和七年法律第十二號中改正案ニ關聯致シマシテ、資金貸付及回收ノ情況ハドウカトノ質疑ニ對シマシテ、貸付先ハ北京、天津、上海、漢口、其ノ他支那各地ニ於ケル居留民團或ハ債務者團

界ヲ培ヒ育テ上ゲテ行クコトヲ心掛ケレバ、有ラユル金融機關モソレノ公ケノ一個ノ機關ヲ經營シテ居ル一員ダト云フ觀念ヲ懷クヤウニナリ、少シ位算盤ニ合ハナイ場合ニモ公債ヲ持ツヤウニナッテ來ルト思フ、公債市價ノ維持ニハ十分努力スル、税制モ來年度マデニハ確立シタイ旨ノ懇切ナル答辯ガゴザイマシタ、次ニ日本銀行條例改正、即チ從來ノ參與會ヲ廢シテ、新クニ參與理事ヲ設ケル、此ノ二ツノ法案ニ關シマシテハ、參與理事ノ設置ノ意義、其ノ權能乃至ハ弊害ノ有無等ニ付テノ質疑ニ對シ、從來ノ參與會ハ諮問機關ニ過ギズ、十分ナル效果ヲ舉ゲ得ナカッタガ、參與理事トスレバ、日本銀行ノ業務ニモ或程度ノ責任ヲ有ツコトニナリ、日銀ノ理事會ニモ緊張味ヲ與ヘルコトニナル、又特殊銀行ノ首腦者乃至金融界以外ノ實業家中ヨリモ練達堪能ノ士ヲ加ヘル爲メ、各種金融機關其ノ他外部トノ連絡協調ニ便利トナリ、株主總會ガ選舉スル關係上、必ズシモ正副總裁ノ方針ニ盲從スル必要ハナイ、又參與理事ハ政策ニ參與シテ業務ニハ與ラス、但シ金融、通貨、公債爲替等ノ政策ノ實行方法ニハ參畫スルコトモアル、日銀ノ秘密事項ニ付テハ金利政策等ノ意見ヲ徵セラル、コトハアルガ、決定ハ總裁ト内部理事トノ合議ニ依リ、成立シテ決定發表ト云フ順序ヲ取ルノデ心配ハアルマイ、且其ノ地位ヲ利用シテ特殊銀行首腦者等ガ參與理事トナッテモ、弊害ノ起ルコトハ避ケタイトノ答辯ガ、是亦大藏大臣ヨリ行ハレマシタ、次ニ昭和七年法律第十二號中改正案ニ關聯致シマシテ、資金貸付及回收ノ情況ハドウカトノ質疑ニ對シマシテ、貸付先ハ北京、天津、上海、漢口、其ノ他支那各地ニ於ケル居留民團或ハ債務者團

界ヲ培ヒ育テ上ゲテ行クコトヲ心掛ケレバ、有ラユル金融機關モソレノ公ケノ一個ノ機關ヲ經營シテ居ル一員ダト云フ觀念ヲ懷クヤウニナリ、少シ位算盤ニ合ハナイ場合ニモ公債ヲ持ツヤウニナッテ來ルト思フ、公債市價ノ維持ニハ十分努力スル、税制モ來年度マデニハ確立シタイ旨ノ懇切ナル答辯ガゴザイマシタ、次ニ日本銀行條例改正、即チ從來ノ參與會ヲ廢シテ、新クニ參與理事ヲ設ケル、此ノ二ツノ法案ニ關シマシテハ、參與理事ノ設置ノ意義、其ノ權能乃至ハ弊害ノ有無等ニ付テノ質疑ニ對シ、從來ノ參與會ハ諮問機關ニ過ギズ、十分ナル效果ヲ舉ゲ得ナカッタガ、參與理事トスレバ、日本銀行ノ業務ニモ或程度ノ責任ヲ有ツコトニナリ、日銀ノ理事會ニモ緊張味ヲ與ヘルコトニナル、又特殊銀行ノ首腦者乃至金融界以外ノ實業家中ヨリモ練達堪能ノ士ヲ加ヘル爲メ、各種金融機關其ノ他外部トノ連絡協調ニ便利トナリ、株主總會ガ選舉スル關係上、必ズシモ正副總裁ノ方針ニ盲從スル必要ハナイ、又參與理事ハ政策ニ參與シテ業務ニハ與ラス、但シ金融、通貨、公債爲替等ノ政策ノ實行方法ニハ參畫スルコトモアル、日銀ノ秘密事項ニ付テハ金利政策等ノ意見ヲ徵セラル、コトハアルガ、決定ハ總裁ト内部理事トノ合議ニ依リ、成立シテ決定發表ト云フ順序ヲ取ルノデ心配ハアルマイ、且其ノ地位ヲ利用シテ特殊銀行首腦者等ガ參與理事トナッテモ、弊害ノ起ルコトハ避ケタイトノ答辯ガ、是亦大藏大臣ヨリ行ハレマシタ、次ニ昭和七年法律第十二號中改正案ニ關聯致シマシテ、資金貸付及回收ノ情況ハドウカトノ質疑ニ對シマシテ、貸付先ハ北京、天津、上海、漢口、其ノ他支那各地ニ於ケル居留民團或ハ債務者團

界ヲ培ヒ育テ上ゲテ行クコトヲ心掛ケレバ、有ラユル金融機關モソレノ公ケノ一個ノ機關ヲ經營シテ居ル一員ダト云フ觀念ヲ懷クヤウニナリ、少シ位算盤ニ合ハナイ場合ニモ公債ヲ持ツヤウニナッテ來ルト思フ、公債市價ノ維持ニハ十分努力スル、税制モ來年度マデニハ確立シタイ旨ノ懇切ナル答辯ガゴザイマシタ、次ニ日本銀行條例改正、即チ從來ノ參與會ヲ廢シテ、新クニ參與理事ヲ設ケル、此ノ二ツノ法案ニ關シマシテハ、參與理事ノ設置ノ意義、其ノ權能乃至ハ弊害ノ有無等ニ付テノ質疑ニ對シ、從來ノ參與會ハ諮問機關ニ過ギズ、十分ナル效果ヲ舉ゲ得ナカッタガ、參與理事トスレバ、日本銀行ノ業務ニモ或程度ノ責任ヲ有ツコトニナリ、日銀ノ理事會ニモ緊張味ヲ與ヘルコトニナル、又特殊銀行ノ首腦者乃至金融界以外ノ實業家中ヨリモ練達堪能ノ士ヲ加ヘル爲メ、各種金融機關其ノ他外部トノ連絡協調ニ便利トナリ、株主總會ガ選舉スル關係上、必ズシモ正副總裁ノ方針ニ盲從スル必要ハナイ、又參與理事ハ政策ニ參與シテ業務ニハ與ラス、但シ金融、通貨、公債爲替等ノ政策ノ實行方法ニハ參畫スルコトモアル、日銀ノ秘密事項ニ付テハ金利政策等ノ意見ヲ徵セラル、コトハアルガ、決定ハ總裁ト内部理事トノ合議ニ依リ、成立シテ決定發表ト云フ順序ヲ取ルノデ心配ハアルマイ、且其ノ地位ヲ利用シテ特殊銀行首腦者等ガ參與理事トナッテモ、弊害ノ起ルコトハ避ケタイトノ答辯ガ、是亦大藏大臣ヨリ行ハレマシタ、次ニ昭和七年法律第十二號中改正案ニ關聯致シマシテ、資金貸付及回收ノ情況ハドウカトノ質疑ニ對シマシテ、貸付先ハ北京、天津、上海、漢口、其ノ他支那各地ニ於ケル居留民團或ハ債務者團

界ヲ培ヒ育テ上ゲテ行クコトヲ心掛ケレバ、有ラユル金融機關モソレノ公ケノ一個ノ機關ヲ經營シテ居ル一員ダト云フ觀念ヲ懷クヤウニナリ、少シ位算盤ニ合ハナイ場合ニモ公債ヲ持ツヤウニナッテ來ルト思フ、公債市價ノ維持ニハ十分努力スル、税制モ來年度マデニハ確立シタイ旨ノ懇切ナル答辯ガゴザイマシタ、次ニ日本銀行條例改正、即チ從來ノ參與會ヲ廢シテ、新クニ參與理事ヲ設ケル、此ノ二ツノ法案ニ關シマシテハ、參與理事ノ設置ノ意義、其ノ權能乃至ハ弊害ノ有無等ニ付テノ質疑ニ對シ、從來ノ參與會ハ諮問機關ニ過ギズ、十分ナル效果ヲ舉ゲ得ナカッタガ、參與理事トスレバ、日本銀行ノ業務ニモ或程度ノ責任ヲ有ツコトニナリ、日銀ノ理事會ニモ緊張味ヲ與ヘルコトニナル、又特殊銀行ノ首腦者乃至金融界以外ノ實業家中ヨリモ練達堪能ノ士ヲ加ヘル爲メ、各種金融機關其ノ他外部トノ連絡協調ニ便利トナリ、株主總會ガ選舉スル關係上、必ズシモ正副總裁ノ方針ニ盲從スル必要ハナイ、又參與理事ハ政策ニ參與シテ業務ニハ與ラス、但シ金融、通貨、公債爲替等ノ政策ノ實行方法ニハ參畫スルコトモアル、日銀ノ秘密事項ニ付テハ金利政策等ノ意見ヲ徵セラル、コトハアルガ、決定ハ總裁ト内部理事トノ合議ニ依リ、成立シテ決定發表ト云フ順序ヲ取ルノデ心配ハアルマイ、且其ノ地位ヲ利用シテ特殊銀行首腦者等ガ參與理事トナッテモ、弊害ノ起ルコトハ避ケタイトノ答辯ガ、是亦大藏大臣ヨリ行ハレマシタ、次ニ昭和七年法律第十二號中改正案ニ關聯致シマシテ、資金貸付及回收ノ情況ハドウカトノ質疑ニ對シマシテ、貸付先ハ北京、天津、上海、漢口、其ノ他支那各地ニ於ケル居留民團或ハ債務者團

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（公爵近衛文麿君） 御異議ナシト認

ノ日數ハ二十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

キ椒會トシテ政府ニ希望ヲ表シタルヲ以テ
リマス、ソレハ貴族院ハイツモ開會ノ當初ニ
アツテハ、法案ヲ提出僅少ナルガ爲ニ、手ヲ空
シウシ時ヲ餘シテ頗ル不滿ヲ感ズルノデア
リマス、之ニ反シテ會期方末期ニ迫ルニ及
ンデハ、重要ナル法案ガ輻湊シ來ツテ、審査
ニ晝夜兼行日モ亦足ラザルノ苦境ニ陥ルノ
デアリマス、貴族院トシマシテハ會期ヲ最

モ、政府ノ前テ、周旋ヲ固執セムト云フ。從意
嚮デアリマシタ、依ッテ全委員舉ッテ削除ニ
贊意ヲ表セラル、コトニ至リマシタ、採決
ニ至リマシテ本案ハ但書ヲ削除シ、後ハ全
會一致ヲ以テ可決サルベキモノト議決サレ
タノデアリマス、此ノ段御報告申上ゲマス
○副議長(伯耆松平賴壽君) 是ヨリ討論ニ
移リマス、大河内子爵

○子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル

度皆様ヲ御煩シシテ誠ニ恐縮ニ存ジマス、私ハ之ニ對シテ賛成意見ヲ述ベタイ、實ハ此ノ私ノ述ベタイコトハ質問ノ形ニ致サウカト存ジタノデアリマスガ、モウ政府ニ豫算委員會デ質問致シマシテ、政府モ十分ニ其ノ趣旨ヲ諒トシテ居ラル、ノデゴザイマスカラ、賛成演說ニ變ヘマシタ、併シ若シ政府ガ御反對ノヤウナリ、或ハ御分リニナリ惡イ所ガゴザイマシタナラバ、御遠慮ナク御質シテ願ヒタイ、只今松本委員長カラ御報告ノ通り、此ノ案ハ十一月ニ議會ヲ開クコトト相關係シテ出來タモノデアアル、斯ウ云フ御話デアッタ、之ニ付キマシテハ、私ハ議會ヲ早く開クト云フコトハ成ル程理由ハアルデセウ、立派ニ理由ハアリマス、私モ寒イ時分ニ隨分選舉演說ヲ頼マレマシテ方々ニ參ツタコトガアル、信州ノ大町アタリマデ出掛ケマシタ、ナカノ雪ノ中ヲ走り廻ルト云フコトハ勞力モエライバカリデナク、費用モ大變デアアル、ソレデ大町位ナラマダ宜ウゴザイマスガ、アレカラマダ山ノ中、越後境マデ行ツタラ大變ナモノダラウト思フ、信州デスラ其ノ位デアアル、是ガ東北トカ北海道ト云フコトニナリマス、雪ノ中デ選舉ヲヤルト云フコトハ容易デナイコトデアアル、出來ルコトナラハ是ハ避ケタイ、衆議院議員ノ選舉ノ費用ガ多クテ困ル、誠ニ御尤デアアル、此ノ問題ハ決シテ衆議院議員ダケノ問題デナイ、此ノ選舉費ヲ減ラスコトハ、勿論一致シテ各方面カラ努力シナケレバナラス、此ノ點ニ於キマシテ十一月說至極御尤デアアル、御尤デハゴザイマスガ、其ノ點ニ付テハモウ仰シヤル通りデアリマスガ、之ヲヤリマス、豫算ノ編成ノ立場カラ見マシテ、豫算ガ好イ加減ナモノニ

ナツテシマフ虞ガアル、虞ガアルドコロデヤナイ、宜イ加減ナモノニナル、豫算ガ宜イ加減ナモノニナレバ財政ノ基本ト云フモノハ立タナイ、無駄ナ經費モ使ハレル、餘計ナ仕事モ出來ル、一方ニ於テ又必要ナ經費ハナイト云フヤウナコトニナツテ來テ、甚ダ不經濟ナ結果、又非能率ナ結果ヲ起ス譯デアアル、何故カト申シマス、是ハ今日申上ゲル迄モナイコトデスガ、今年ノ豫算ノ例ヲ取ツテ見レバ分ル、今年ノ豫算ニ於キマシテハ大變ニ御急ギニナツタ、其ノ結果藏出ノ内容モ、當局者自身モドウモ不十分ナ所ガ多イカラ、此ノ次ノ豫算ニハ再檢討ヲシヨウ、歳入ノ増加ノ方モ不十分ナ點ガ多イカラ、此ノ次ノ稅制案ヲ出ス時ニモツト能ク檢討ヲシヨウト言ツテ、當局自身御不滿デアアル、是ハ何故カト云フト、急イデ御ヤリニナツタカラデアアル、ソレデアリマスカラ、ソレデヤ十一月ニ繰上ゲルトドウナルカ、サウスルト、今日ノ實情カラ申シマスレバ、四月一日カラ急速ニ變ヘナケレバナラス、連モ間ニ合フモノデヤアリマセス、急速ニヤツタ結果ハドウナルカト云フト、各省デハ詰リ分リ切ツタ豫算シカ出シテ來マセス、各省カラモ分リ切ツタ豫算シカ出シテ來マセスカラ、唯普通ノ「ルーティン・ビジネス」ニ屬スル豫算ダケガ出來上ツテシマフ、併シ問題ニナルベキ豫算ハドウカト云フトナカナカサウ急ニ極ルベキモノデナイ、サウシテ終ヒニハドウシテモ十月カ十一月頃迄ハ極ルモノデハナイ、其ノ結果ドウナルカト云フコト、皆追加豫算ニ廻ツテシマフ、總豫算ト云フモノハ財政ノ政策ヲ其所ニ盛ラナケレバナラスノデ、小サナモノハ追加豫算ニナツテモ仕方ガゴザイマセスガ、大キナ政策ニ屬スルモノハ總豫算ニ盛ルベキモノデアアル、現ニ今年ノ追加豫算ノ如キモ燃料會社

ノ問題ト云ヒ、滿洲植民ノ問題ト云ヒ、或ハ朝鮮ノ林業會社ノ問題ト云ヒ、今年ノ年度ノ金ハ馬鹿ニ少イ、少イガ來年度以降ニナルトズツト殖エテ來ル、斯ウ云フモノハ總豫算ノ中ニ組込シテ財政計畫ノ中ニ包含シテ來ナケレバ我々ハ財政ノ審査ヲスルコトガ出來ナイ、ソレヲ面倒臭イモノハ皆追加豫算ニヤツテシマヘト云フヤウナコトニナリマシテハ、是ハ豫算ノ審議ヲスルコトニ於テ不便ドコロデヤナイ、出來ハシナイ、ソレト今一ツハ急イデヤラセルト云フコトニナルト結局無駄ガ殖エル、早ク提出シロト云フコトニナリマス、各省ハドウスルカ、四月カ五月迄ニ提出スルコト云フコトニナルト、其ノ經費ハ翌年ノ四月カラ翌々年ノ三月デスカラ、二年先ノコトハ分ルモノデヤナイ、宜イ加減ナモノヲ書イテ出スカラ詰リ無駄ガ多クナル、澤山書イテ出スヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フ結果カラシテ單ニ事務上バカリデハナイ、此ノ問題ハ財政上ノ立場カラ非常ナ惡影響ヲ及シテ來ル、ソレデ十一月ニ御ヤリニナルト云フコトモ御尤ナシテ彼此私ハ申シマセスガ、餘リ此ノ點ヲ墨守サレテ、何デモ十一月ニ開カナケレバナラスト云フコトニナルト、財政ノ上ニ非常ナ害惡ヲ來スコトニナルト思ヒマス、殊ニ來年度ノ如キハ歳出ヲスルカ、總豫算ヒラズ、歳入ニ對シテモ總豫算ヒラズ、ソレハ是カラ十月位迄ニヤツテシマヘト言ツタテ言フ方ガ無理ナノデス、是ハ來年度ニ限ツタコトデハアリマセスガ、政府ハ此處デ此ノ豫算ガ通ツタラバ先ツ緩クテ落著イテ此ノ豫算ヲ執行シテ、是ガ果シテ產業界ト調和ヲ得ルカ、金融界ト調和ヲ得ルカ、度々質問應答ガアリマシタヤウニ生産力ガ耐ヘテ

行クカ、金ノ現送ハドンナコトニナルダラウカ、爲替相場ハドウナルダラウカト云フヤウナ點ヲ能ク御考ニナツテ、ジツクリ考ヘタ上ニ來年度ノ豫算ノ編成ニ御著手ニナルガ宜イ、事務的ニ行ケバ宜イト云ツテサウ急イデ御ヤリニナルベキモノデハナイ、是ハ今年ニ限ツタコトデナシニ毎年ノ例デゴザイマス、今回ノ大藏省ニ於ケル豫算編成前ノ狀態ヲ見ルト、連モ十一月ニ議會ヲ開クト云フコトハ思モ依ラスコトデス、落着イテ、良イト云フモノヲヤルナラ出來マス、良イト云フモノヲヤルナラ出來マスガ、時勢ニ即應シテ政策ヲ立テテ、豫算ヲ編成スルニハ、成ルベク年度ニ近イ方ガ宜イ、斯ナコトヲ墨守サレタナラバ、政治上財政上多大ナ弊害ヲ來サウト思ヒマス、單ニ是ハ事務上ダケノ問題デヤアリマセス、私ハ此ノ希望ヲ付シマシテ此ノ修正案ニ賛成ヲ致シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ討論ヲ終リマシタ、別ニ御異議ガゴザイマセスケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問

題ニ供シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案全部委員
長ノ報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀
會ヲ開キマス、本案全部二讀會ノ決議通り

御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十四小
運送業法案、日程第十五日本通運株式會社

法案、政府提出衆議院送付、第一讀會ノ續、
委員長報告、是等ノ二案ヲ一括シテ議題ト
爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス、委員長飯田男爵

小運送業法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十八日

委員長 男爵飯田精太郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

日本通運株式會社法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十二年三月二十八日

委員長 男爵飯田精太郎
貴族院議長公爵近衛文麿殿

○男爵飯田精太郎君 只今上程ニ相成リマ
シタ小運送業法案、日本通運株式會社法案

ノ特別委員會ノ經過結果ヲ簡單ニ御報告
申上ゲマス、兩法案ノ委員會ハ二十七、二

十八ノ兩日ニ互ツテ開キマシテ、兩法案ヲ一
括シテ審議致シマシタ、審議ノ詳細ハ速記

録ニ付キ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、重
要ナ事項ニ付キマシテ、其ノ要領ヲ御報告

申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ政府ノ兩法案
提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、小運

送業ハ國民經濟上極メテ重要ナル意義ヲ有
スルニモ拘ラズ、現行制度ニ於キマシテハ

其ノ營業ガ自由ニ放任セラレ且交互計算等
ノ統轄事務ヲ行フ會社ガ分立致シテ居リマ

スル結果、種々ノ弊害ヲ生ジ、小運送業ノ
健全ナル發達ヲ圖ルト云フコトハ望ミ得ナ

イノデアリマス、仍ツテ小運送業ヲ免許營業
トシテ適當ナル取締監督ヲ行フト共ニ、新

タニ半官半民ノ統轄會社ヲ設ケマシテ、既
存ノ民間統轄會社ノ事業ヲ繼承致サセ、之

ヲシテ小運送業ノ改善助長ヲ圖ラシムルコ
トガ最も有効適切デアルト云フ點ニ存スル

ノデアリマス、先ヅ小運送業法案ニ付テ其
ノ主ナル内容ヲ申上ゲマスレバ、鐵道、軌

道ニ附隨スル運送店ノ營業、即チ運送ノ取
扱、運送ノ代辦等ノ營業ハ免許ヲ要スルコト

ト致シマシテ、其ノ運賃、料金等ハ認可ヲ
受ケタ後、之ヲ公示スルコトトシ、其ノ他

ノ日常事務ニ付キマシテモ、之ヲ監督スルコ
トニナツテ居リマス、又日本通運株式會社法

案ニ付テ申上ゲマスレバ、本會社ハ資本金

ヲ三千五百萬圓トシ、鐵道會計ヨリ、資本

金ノ半額ヲ限度トシテ出資シ得ルコトトナツ
テ居リマスガ、鐵道會計ノ持株ニ對シマシ

テハ、一般ノ配當ガ年六分ニ達スル迄ハ配
當ヲ要セザルコトニナツテ居リマス、特別

委員會ニ於キマシテハ各委員カラ種々重要
ナル質問ガアリマシタガ、之ヲ一々御報告

致シマスト非常ニ時間ヲ要シマスノデ概略
ノ御報告ニ止メサセテ戴キタイト思ヒマス、

先ヅ第一ニ兩法案提出ノ動機及兩法案ノ實
施ニ依ツテ社會ノ受ケル利益ハドウデアラ

ウカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ
政府ヨリ小運送業ヲ改善シテ荷主公衆ノ利便

ヲ圖ル爲メ鐵道省ハ永年ニ互リ色々ナ施設
ヲ行ツタガ、其ノ實驗ニ徴シ、ドウシテモ小

運送業ヲ免許制度トシ、國家ガ其ノ監督取締
ニ當ルト共ニ、統轄會社ヲ統一シテ、之ヲシ

テ運送店ノ指導助成ニ當ラシメルヨリ外ニ
途ガナイ、即チ此ノ兩法案ノ實施ニ依ツテ、

初メテ小運送業ノ改善助長ヲ期シ得ルノデ
アルトノ答辯ガアリマシタ、次ニ免許セラ

レタル小運送業者ノ指導監督ハ、鐵道省ガ
之ニ當ルコトト思フガ、一方新會社モ亦小

運送業者ノ指導ニ當ル必要ガアルト思フ、
此ノ間ノ關係ヲ如何ニ按配スルカト云フ質

問ガアリ、政府ヨリ不正不當ノ取扱ニ關ス
ル取締ナド主トシテ行政的監督ハ鐵道省ガ

之ニ當リ、運搬具ノ改良トカ、業務ノ改
善、業者間ノ連絡等、業務ノ助長改善ニ關

シテハ、日本通運株式會社ガ之ニ當ル旨ノ
説明ガアリマシタ、又日本通運株式會社法

第四條、第三項ニ規定シテアリマスル所
ノ、鐵道會計ノ引受ケタル株式ノ株金拂

込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニ
スルコトヲ得、トノ條項ハ、現ニ鐵道會

道會計ガ引受ケタ株式デアレバ、ソレガ

他ニ移ツタ後ニモ、同様ノ扱ヲ受ケルカド
ウカ、此ノ邊ノコトハ定款ニ明瞭ニ定メ

ル必要ガアルト思フガ如何、トノ質問ガア
リマシテ、之ニ對シテ政府ヨリ、他ノ株金

拂込ト異ニスルコトヲ得ルノハ、鐵道會計
ガ所有シテ居ル株式ニ限ルノデアツテ、是等

ノ點ニ關シ定款ニ規定スルコトニ付テハ、十
分承シタ旨ノ答辯ガアリマシタ、次ニ此

ノ兩法案ハ衆議院デ修正ガアリマシタガ、
此ノ修正ニ對シ政府ハドウ考ヘテ居ルカト

ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ハ、小
運送業法案ノ修正ハ免許ノ取消ニ付テ審查

委員會ノ議ヲ經ベシトノコトデアリ、又日
本通運株式會社法案ノ修正ハ、社長、副社

長理事及監事ガ政府ノ任命トナツテ居ツタ
ヲ、株式總會ノ選任トシ、其ノ任期ヲ短縮

スルコトデアリ、是等ノ修正ハ何レモ立法
ノ趣旨ニハ何等支障ヲ及サナイノデ、政府

トシテハ、兩院ノ意見ガ一致スレバ、之ヲ
尊重致ス意味ノ答辯ガアリマシタ、尙此ノ

外ニ種々ノ質問應答ガアリマシタ後、最後
ニ統制ニ依ツテ獨占の弊害ガ起ラヌヤウ、又

小運送業法案第一條ハ分リニクイノデ、適
當ナ方法ニ依リ明瞭ニスルヤウ、更ニ兩法

案ノ運用ニ付テハ業者ヲ公平ニ扱フヤウナ
ドノ希望ガアリマシタ、以上申上ゲマシタ

ヤウニ、慎重ナル審議ヲ重ネマシタ結果、
特別委員會ニ於キマシテハ、衆議院ヨリ送

付致サレマシタ此ノ兩法案ヲ、全會一致可
決スベキモノト議決致シマシタ次第デゴザ

イマス、右御報告申上ゲマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モ
ゴザイマセヌカレバ、兩案ノ採決ヲ致シマ

ス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハ
ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第二讀
會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問

題ニ供シマス、兩案全部委員長ノ報告通リ
デ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモ
ノト看做シマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモ
ノト看做シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀
會ヲ開キマス、兩案全部第二讀會ノ決議通

リデ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモ
ノト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ日程ハ
全部終了致シマシタ、次會ノ日程ハ決定次

第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是
ニテ散會ヲ致シマス

午後四時六分散會